博物館藏書鈔

丁巳

一

A 10
201

松江版延喜式傍訓

太神宮　オ早ンカンノミヤ

齋宮寮　セイクウレウ　イツヽノミヤノツカセ

齋院司　セイインシ

踐祚　センソ

大嘗祭　オ早ンヘノマツリ

祝祠　ノツト

神名帳　シンミヤウチヤウ

太政官　タイシヤウクワン　オ早ヒマツリコトノツカセ

中務省　ナカツカセシヤウ　ナカノマツリコト不ルカセ

内記　ナイヘ

監物　ケンモツ

主鈴　シユレイ

鷗外藏書

東京帝室博物館

東京帝國大學圖書之印

B 23475

000432008 1

○巻第十三

典鑰 テンヤク カヘノツカヒ
中宮職 チウクウシヘ ヘセイノカヤノツカヒ
大舎人寮 オホトネリ
図書寮 ツショ フンノ
縫殿寮 ヌヒト
内蔵寮 クラ ウチノクラノ
内匠寮 タクカ ウチノタクカ
式部省 シヘフ ノリノ
大学寮 フンヤノ
治部省 チフ
雅楽寮 カカク ウタテヒ
玄蕃寮 ホウシテウトノ
諸陵寮 アヒミヽノ

東京帝室博物館

民部省 タカノ
主計寮 カスヘ カソフル
主税寮 シユセイ チカラ
兵部省 ヒヤウフ
隼人司 ハヤトシ ハイトシツカヒ
刑部省 ヘヤウフ ウタヘヒタムル
判事 ハンシ コトハルツカヒ
囚獄司 シユコク ヒトヤノ
大蔵省 オホクラ オホイクラノ
織部司 ヲリヘ ヲシヘ
宮内省 クナイ ミヤノウチノ
大膳職 タイセン オホカシハテノ
木工寮 モク コタクカノ

東京帝室博物館

大炊寮　オホイ

主殿寮　トノモ　トノモリ

典薬寮　テンヤク　クスリノ

掃部寮　カモン　カニモリ

正親司　オホヘカノ　オホヘンタチノ

内膳司　ナイセン　ウチノカシハテノ

造酒司　セウシユ　セケツノ

主水司　モント　モトリノ

采女司　ウネメ

弾正台　タヾシヤウタイ　タヽシタヽスツカサ

左右京職　セウーヤウ　ヒタリカヘノカセト

東西市司　イチノ

春宮　トウクウ　カコノカヤ

勘解由使　カゲユシ　トクルヨシカンカフルツカサ

左右近衛府　コンヱフ　チカヘノマモリノツカサ

左右兵衛府　ヒヤウヱ

左右馬寮　メ

兵庫寮　ヒヤウコ　ツハモノヽクラノ

雑式　セツシヽ

○

図書寮

元日焼香　大極殿前庭　暴涼仏像経典　七月上旬至八月上旬　斎会

読経　准佛　仏名　仁王会　布施　香花　写経

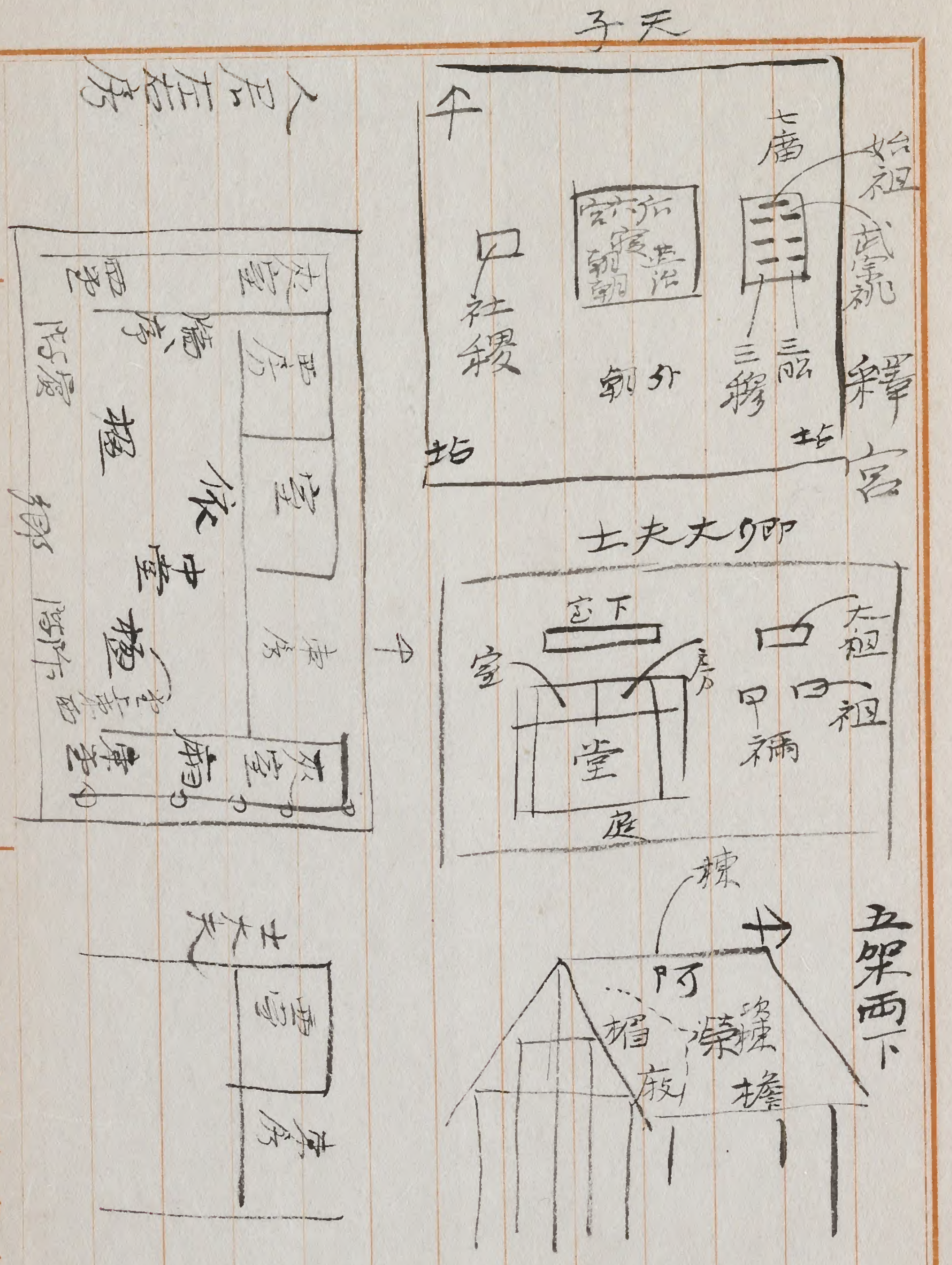
暴涼御書図絵　六年一度　行幸　[illegible]　年料紙　年料墨

装潢料　紙花　筆　功徳写経　紙料　写書

模書　校書　装潢　造紙　造筆　造墨　長期紙　諸司紙筆

東京帝室博物館

東京帝室博物館

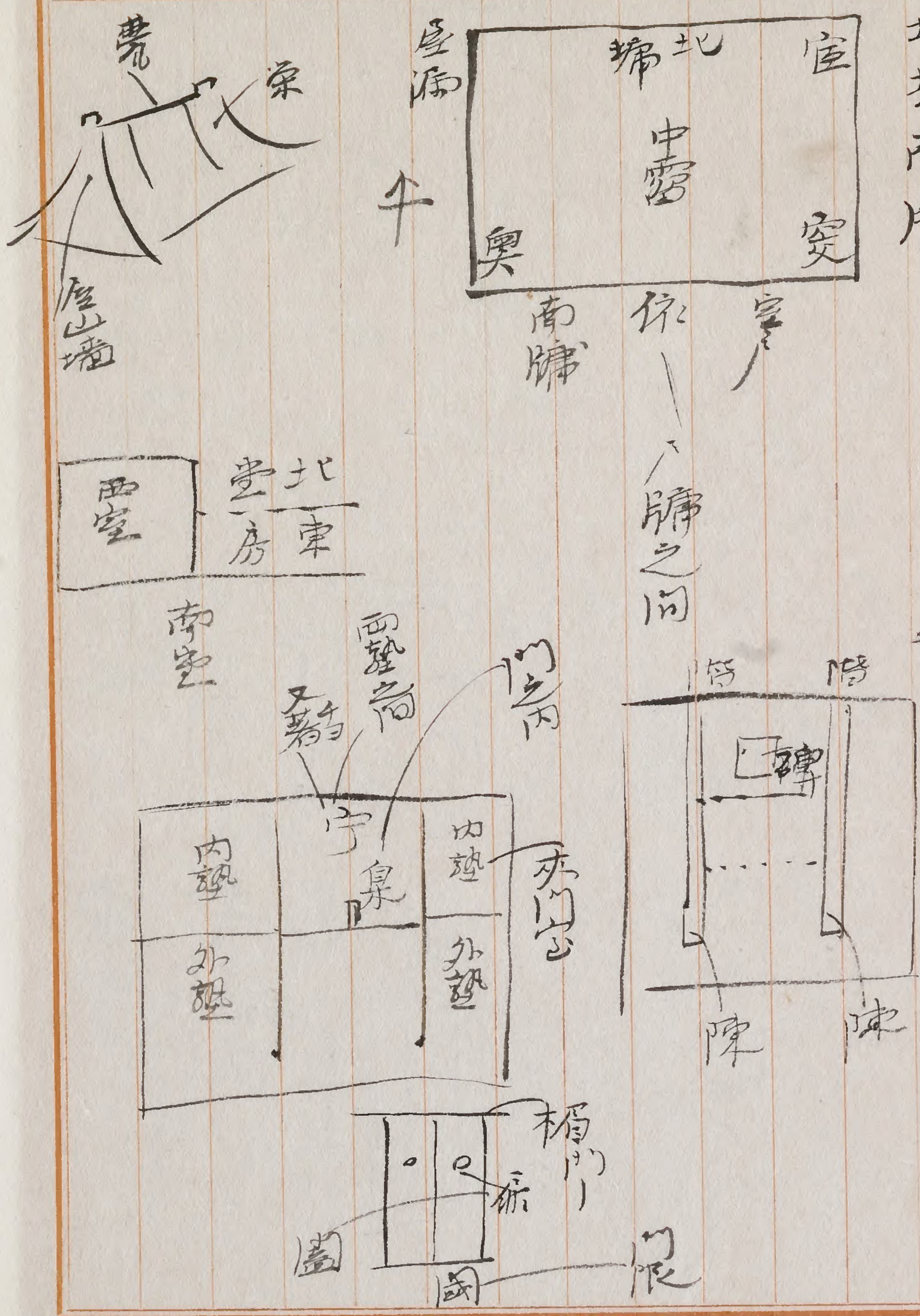


東京帝室博物館

呈

東京帝室博物館

北牖南牖



暘谷訓蒙図彙

木星歳星、火星熒惑、土星鎮星、金星太白、水星辰星

列宿、角、亢、氐、房、心、尾、箕、斗、牛、女、虚、危、室、壁、奎、

婁、胃、昴、畢、觜、参、井、鬼、柳、星、張、翼、軫

晷

上弦 日入 下弦 日出

彗

孛

[illegible]

[illegible]

睦

平曰墓、封曰冢、高曰墳

浮漚

東京帝室博物館

韓（ヰツ）宰（セン）
撻（ツ）
許（イ、レン）
木福
防（ホウ）節
達（エン）處（センセン）門同
檐
橖（ヤ）
椿（キ）
杆（ケイ）
枡（ヒッチキ）
斗（ト）粱構櫨同

轉（セン）
窖（コウ）
藻（サウ）井（テンジヤウ）

蔓
護朽全皆頭也（蟻ハ木ヲ蝕ム）

鋪首（モンノヒキテ）

鍛冶（カタチオモノシ）　塗着（ヌリ）　補匠（ハイ）　歩人（ワタシモリ）　函人（ヨロヒサイクシ）

冕、冕之垂玉曰旒　袞十二章　帨（ゼイ）（タノゴヒ）　帕、幞（ボク）

褒（ホウ）襟同　繸（ズイ）

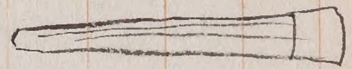
几案 オシマヅキ ツクヱ

磬

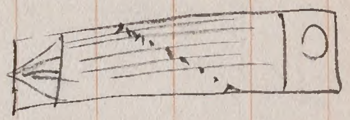
簨(シユン) 簴(キヨ)

磬

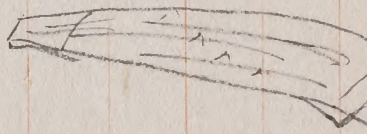
琴(キン)



瑟



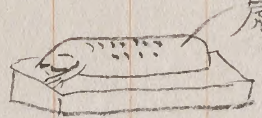
箏



鐃(ダウ) ビヤウシ

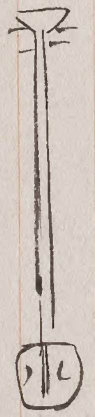
拍板

敔(ギヨ)



虎

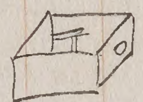
阮



鉦(シヤウ)

有金麻鼓也為鉦

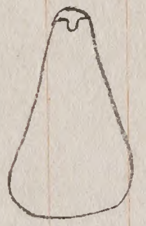
柷(シユク)



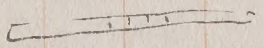
簫(セウ) セウノフエ

笙(シヤウ) シヤウノフエ

塤(ケン)

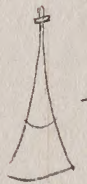


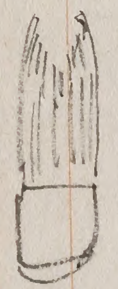
篴(ヤク) コマフエ



鼗(タウ) フリツヾミ

嗩吶(サノウ) 太平簫





枹(フ) 桴同

枰(ヘイ)

撥(ハツ) サイ

傀儡 以架為人形

篳篥(チヨヒヤウ) ヒチリキ

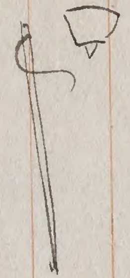
羯鼓 有架

腰鼓 コシツヾミ

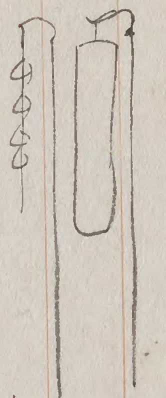
揩鼓 以指鼓也 コツヽミ スリツヾミ

空鐘 コマ

包罩 ブンヤウゴマ



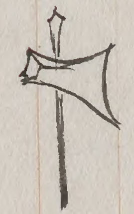
幢



幡

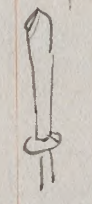
纛(タウ) 旄ー

鈇

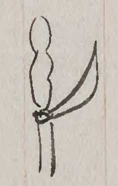


鉞

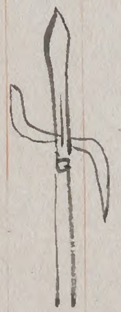
鉾



戈



戟



鐟 鐵 鐏同 イシヅキ

靫(サ) ウツボ

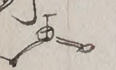
韘(セフ) ユガケ（手袋ニ似タリ）

韝 ユゴテ

鞦 シリガヒ

鞿 カヒ

銜 クツワ

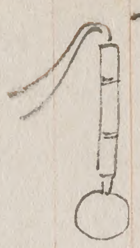


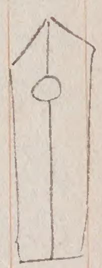
鑣(セウ) ウマノカヾミ

東京帝室博物館

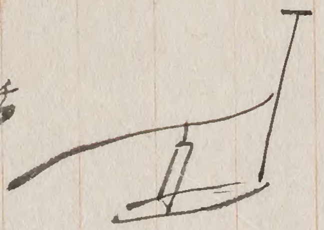
東京帝室博物館

鉗枷（クビガネ クビカセ）

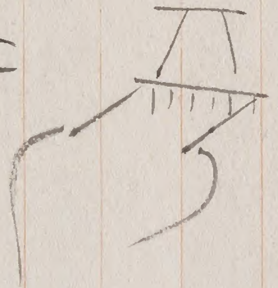




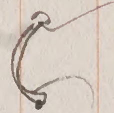
犂



耙（ヱグレ）



軛（ヤク クビキ）



綣（ケン クビキ）

钁（カク クハ）

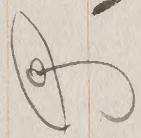
鍤（サウ スキ）

鎛（ハク コクハ）

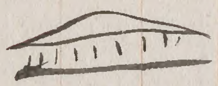
鏟（コスキ）

畚（ホン）

杼（ヒ）



筬（オサ）



綜（ヘ）

纋（ワリ）

規（ブンマハシ）

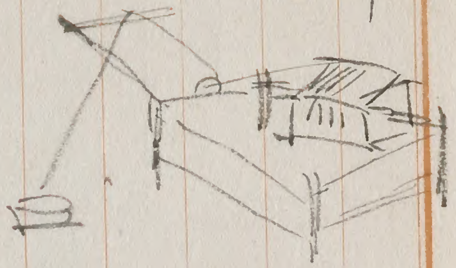
矩（マガリガネ）

準（サゲスミ）

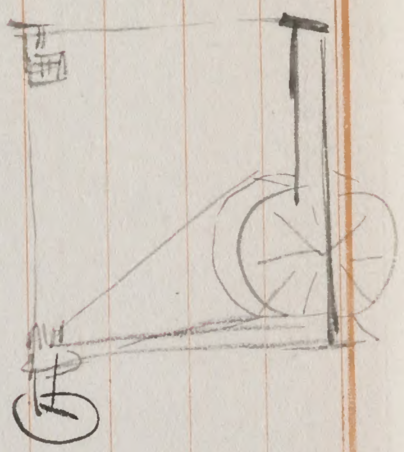
縄（スミツボ）

東京帝室博物館

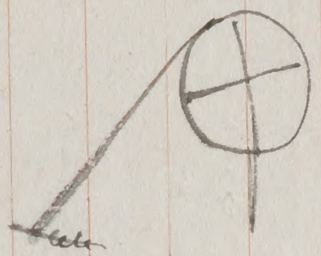
繰車（オカリ）



緯車（ヌキカブリ）



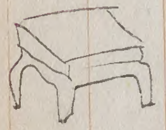
紡車（イトヨリクルマ）



撥柎（マヒバ）

床 Sofa

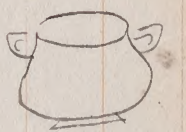
杌（ゴツ）



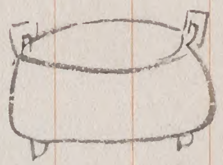
墩（坐ー也）

東京帝室博物館

匜 イ ハンザフ
盥 タラヒ
彝同
匜盤 ミヽタラヒ
角盤 ツノタラヒ
櫑 ライ 瓶モタヒ

卮


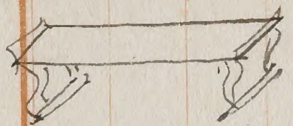
爵

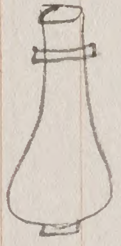
鬲

匕 ヒシ
筯 チヨ 箸同

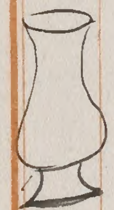
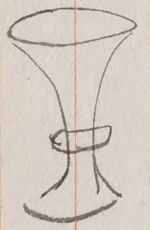
甀 アフ モタヒ ミカ

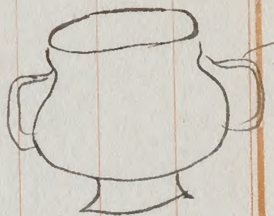
碾 ヤゲン
篩 サイ
櫥 チウ ズシ
橐 フクロ
鎖 ヂヤウマヘ
鑰 カギ
椸 イ 衣桁也

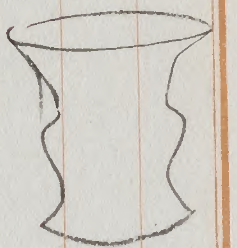
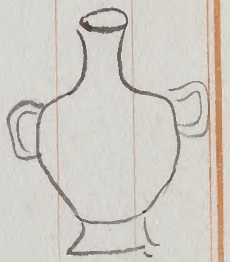
凳 ベンチ也
標榜 榜示也
署 扁 扁額也

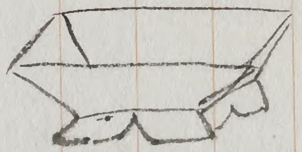
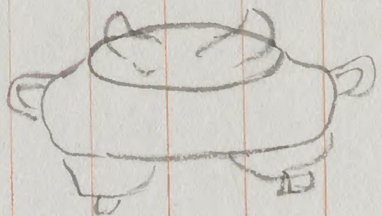
俎

豆

耳壺


觶 シ

觚 コ


彝 イ


尊

罍


簠

簋 キ

鍑 釜也
鐺 サシナベ
銅銚 テウシ
銅提 ヒサゲ

薑擦 ワサビオロシ
鈴杵 獨鈷 二鈷 等
錫杖 隙童羅 キクヂヤラ

稲 禾、稈、秧
穂 ホ
簪 タフ 木豆也
蕣 アサガホ カキツバタ
穇 ヒエ
飴 餡 ブト
蒜 サン ニンニク
韮 ニラ
薤 ニラ

東京帝室博物館
東京帝室博物館

東京帝室博物館

蒟蒻
柰 ダイ カラナシ
來禽 リンゴ
葧臍 クロクワイ
慈姑 オモダカ
燕覆 アケビ
楮 ショ

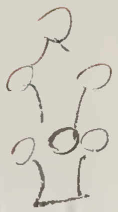
朮 オケラ
榾柮 コツトツ
篾 タケノカハ
角楸 カハラヒサギ、アカガシ
薜荔 マサキノカヅラ
茜 セン
萍 ヘイ
箛 ミヅブキ

鴨跖
石龍芮
蛇床 ヒルムシロ、ヤブレガサ
虎杖 イタドリ、サイタヅマ
馬勃 オニフスベ

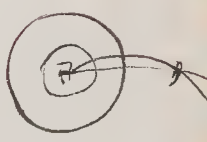
東京帝室博物館

夔匜蓋

半字鈴



舡華帶鐙



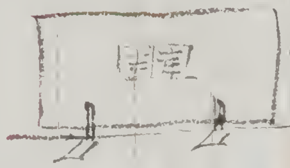
鑾鑅佐鐸

東京帝室博物館

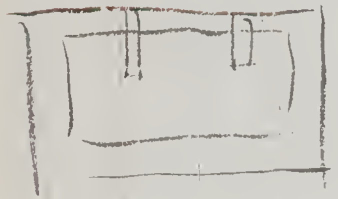
徴古図録

榺（タタリ）

通障子（ツウシヤウジ）（トホリシヤウジ）



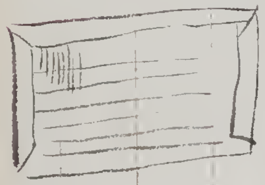
軟障



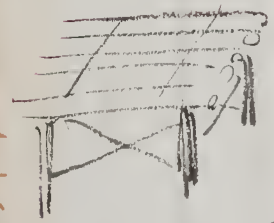
加世比

帳臺

簀薦（スコモ）

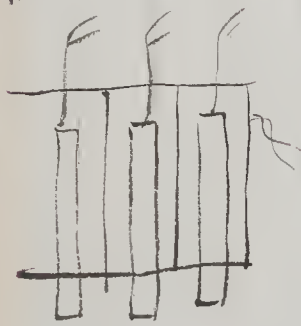


桾臺

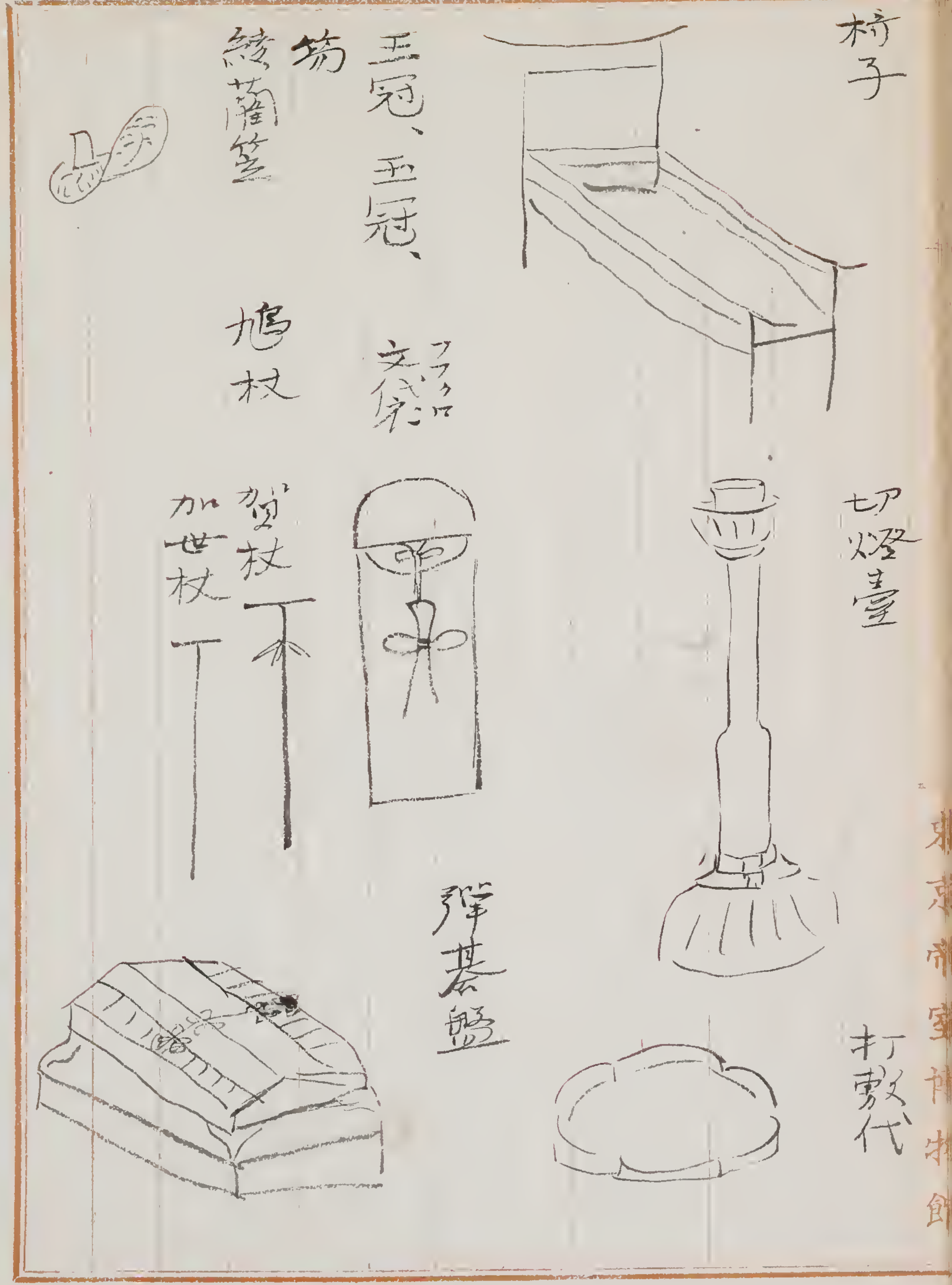


麻笥（ヲケ）

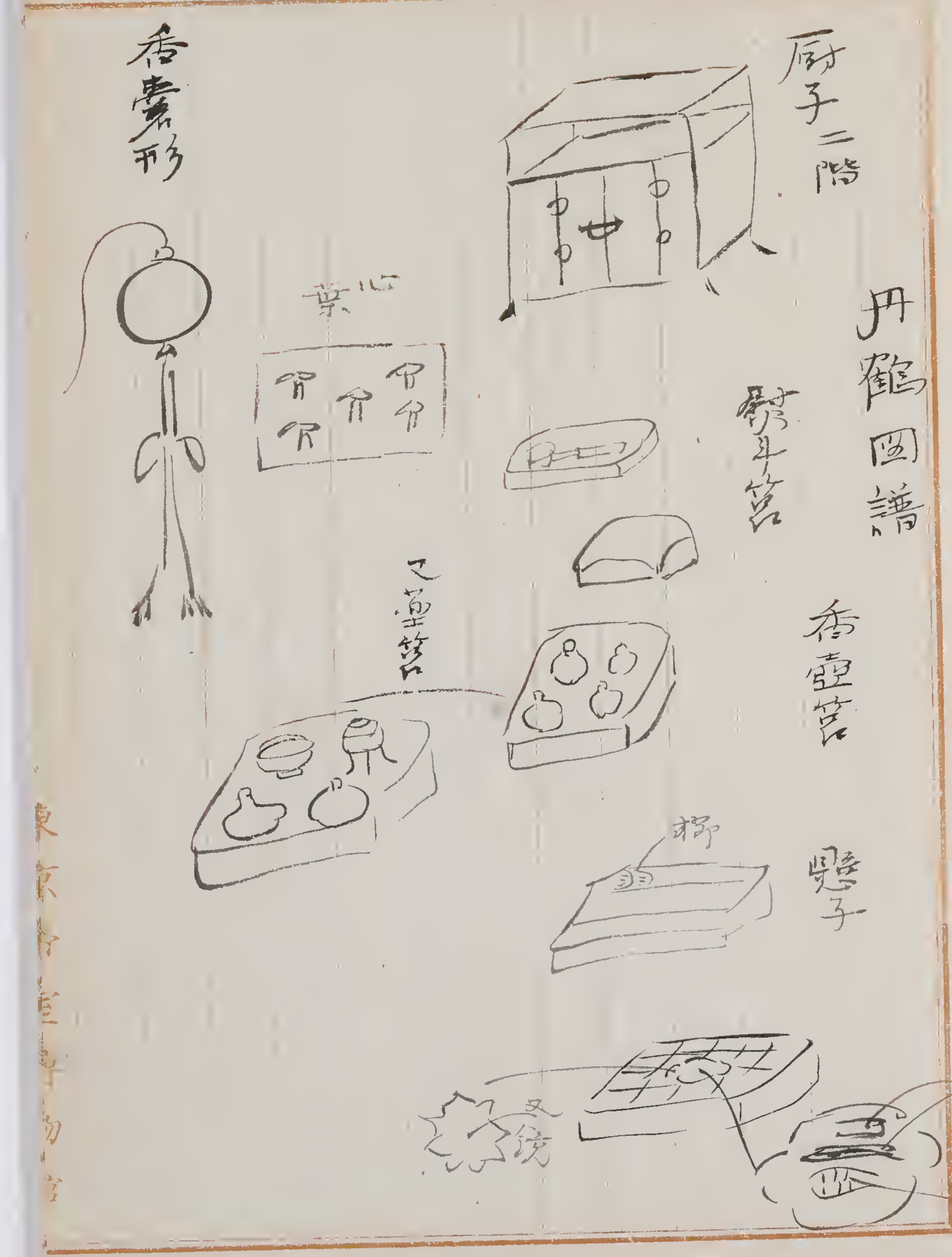
壁代



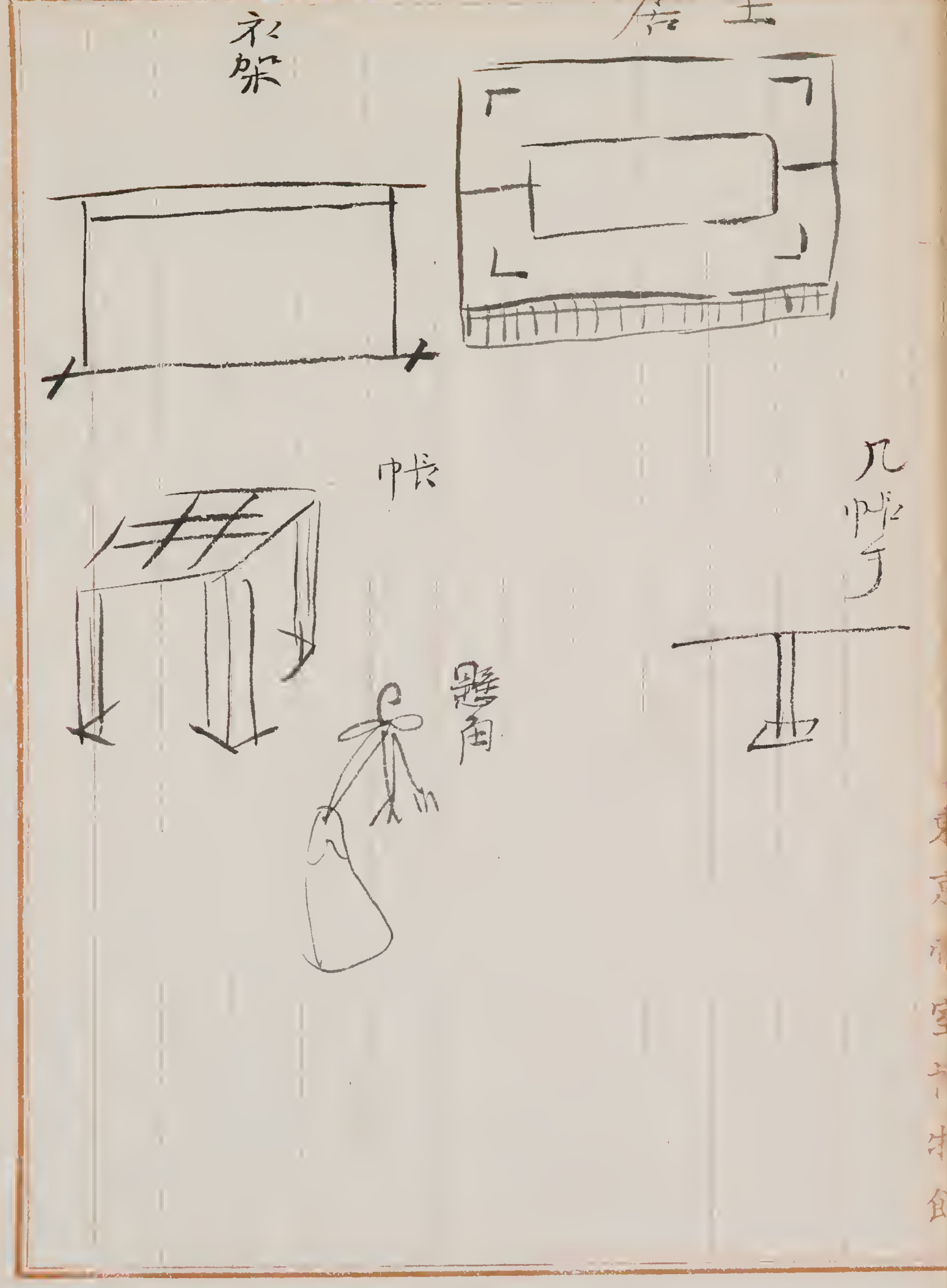
東京帝室博物館



丹鶴図譜



東京帝室博物館



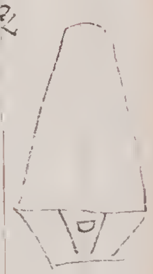
東京帝室博物館

本朝軍器考圖式

東京帝室博物館

鳴鏑

蟇目



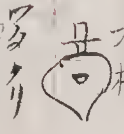
鏃

鴈股

烏舌

蜓尾

丸根



鑿根

韘 ユミカケ 手袋

楡割

腸 ワタクリ 鷹

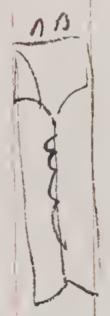
平箙

羽 箙

靭

胡竹籙

射韝 小手



行縢

太刀

韠鞻 オヒトリ

鎬 ヤキ

縵理、尾文

東京帝室博物館

鐙

栴檀板 センダンノイタ

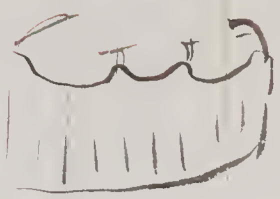
鳩尾板 ワタガミノヨコイタ ワキガツキ

射向板左脇

草摺前、後、射向三枚

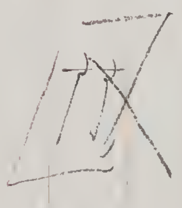
袖

腹巻

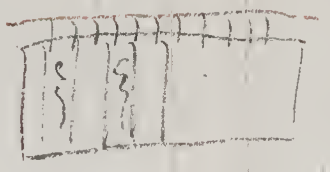


毛背

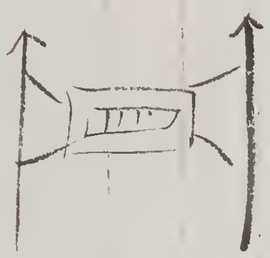
歩摘 サゲテ



幔



幄



胡床 アグラ

鞍 シタクラ

鞍ノ紐

鞦 シリガイ

韉 ミヅヲ

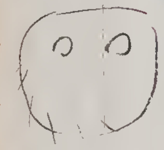
鞖 タテキ

胸懸杏葉

鑣 クツバミ

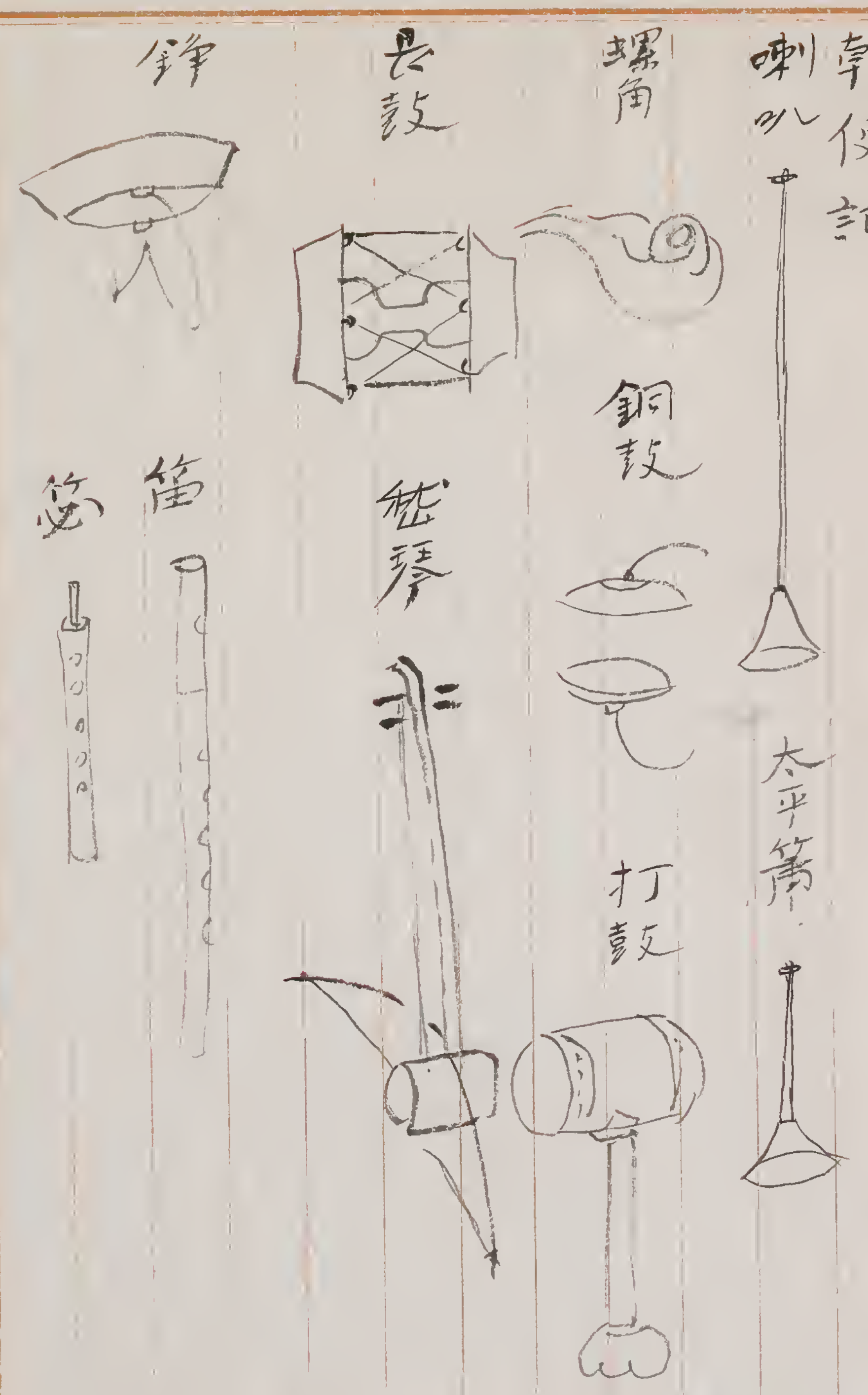
轡

障泥 アフリ



東京帝室博物館

韓使記



東京帝室博物館

菊桐御章考

葉室大納言頼親卿記、文応元年八月新院太上天皇石清水御幸記云、「赤色御袍窠文中菊八葉、蘇芳御下襲」新院ハ後深草天皇ナリ 退先是後鳥羽天皇水無瀬殿ニオハシ〳〵シテ刀劔ノ莖ニ菊花文ヲ彫ツケサセ給ヒシコトモアリ

半井家圖傳来 明親ノ條「慈照院菊ノ紋ヲ給フ」廿六葉 實ハ後花園天皇賜ヘルナリ

餝抄上巻云、「文竹桐鳳凰」紀略弘仁十一年ノ條「用黄櫨染衣」トアリ 其文ナリ 嵯峨天皇弘仁十一年二月ナリ

半井系図傳ト江就記トニヨルニ後花園天皇ノ時桐ノ紋アリテ人ニモ賜ヒシナリ

織文図會

黄櫨染　黄ニ少シ緑ヲ帯ブ
花田　アサギ
蘇芳　紅唐紙ノ色ノ朱ニ近キモノ
麹塵　緑ニ黄ヲ帯ブ
山鳩色　同上
黄丹　褐色
深緑　アサギノ濃キナリ
浅緑　ハナダヨリ薄シ
藍　アサギニ赤ヲ帯ブ
青朽葉　黄ニ少シ赤ヲ帯ブ又緑ツヨキアリ
萌黄　緑ニ黄ヲ帯ブ麹塵ヨリ緑勝テリ
青　緑ナリ

東京帝室博物館

紅 朱ナリ

濃紫 今ノ薄紫し

中紫又薄紫 薄紫ニ灰色ヲ帯ブ

濃縹 アサギヨリ濃シ

薄縹

浅黄 アサギ

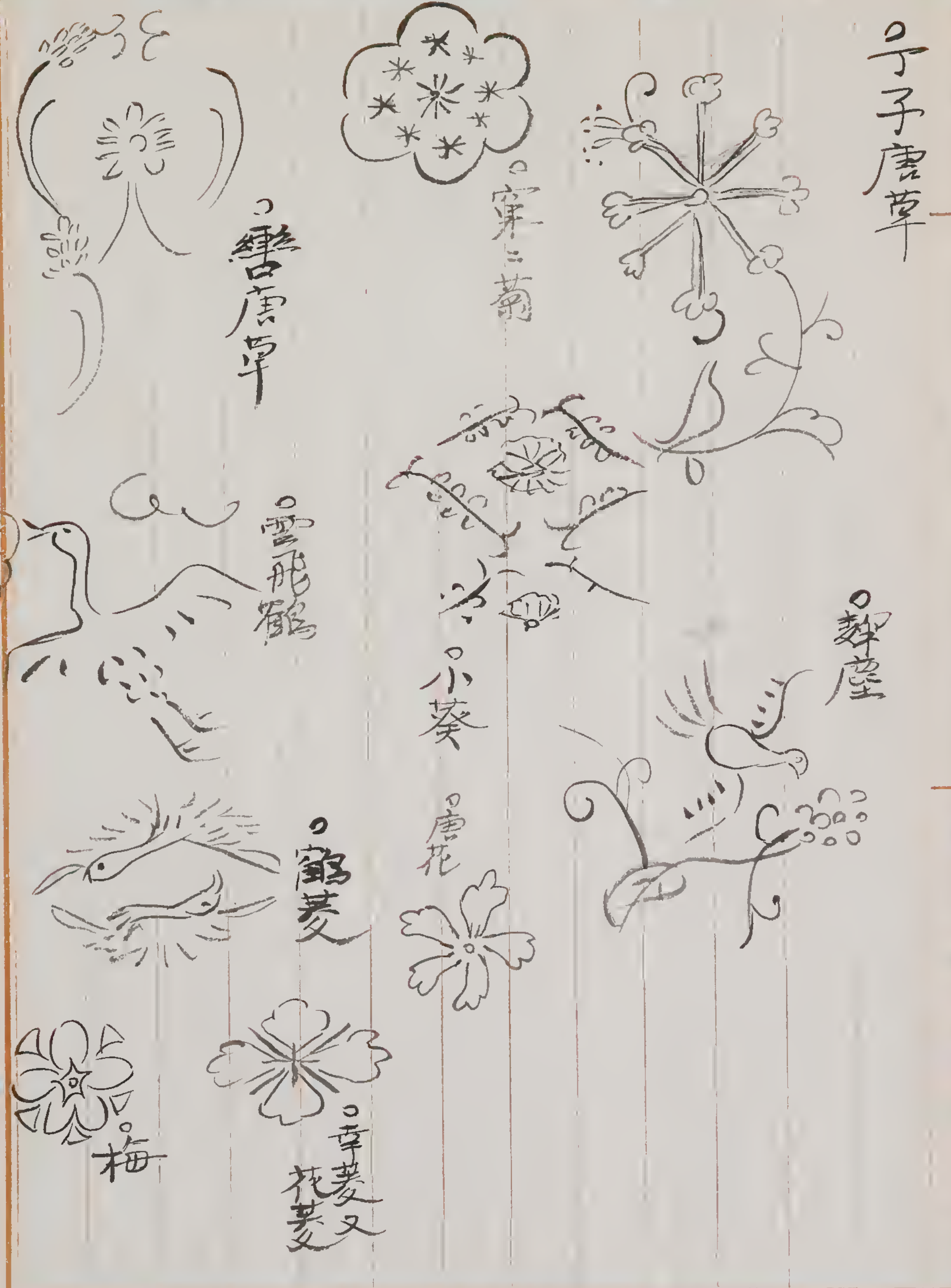
濃色 紫ニ赤ヲ帯ブ

蒲萄 紫ニ赤ヲ帯ブ

東京帝室博物館

装束紋形

東京帝室博物館



白河燕談抄

本　皇朝類苑七十八、求寫其本、按指刻本唱本、

華押　綴耕録二、不能執筆華押、例以象牙或木刻而印之、

袒天具　按琉球語袒々天古、

摺疊扇　通鑑、南齋褚淵、腰扇障日、注今摺疊扇也、

箑、蒲扇　羽ニ扇、竹及紙ニ箑、蒲ニ蒲扇、出于本草、

閣樓　綱目、　涅槃會疏注、此言兜衣、按胞衣也、

涗水　禮記、涗水、輸芮切、アク也、

幃涎　字彙、袷宗族、ヨダレカケ也、

訶子　出于青瑣高議、ムネアテ也、

帓　正字通、女人腰帯也、

東京帝室博物館
東京帝室博物館

明衣　順和名由加太比良、又内衣、
大漸　書顧命、疾大漸、
逗留　後漢書、
家督　史記越世家、
拶　和名、ハナカム、
攢　今昔物語クチバシル、
和尚　又和上、又和闍、此云力生、又近誦、又依学、
穩便　白氏文集、
賑吻　皇朝類苑、
蚩吻　国語、
秦　羅山随筆ウヅマサ、紡績如此方為濕、
剃刀紙　本草綱目、エビスガミ、
氷紈　布帛名、前漢書、

竹樹　事文續集、
土墻　事文續集、
邯鄲歩　漢班固傳、
道祖神　文選註、祖道神也、
物故　前漢書師古注、
贉　正字通、先入直、イレゼニ、サキゼニ、海岳書史、贉卷首帖
綾、
上手　顔氏家訓、
噂　詩小雅、駁語也、
年忌　四十九日見于経文、百日、一周忌、第三年唐俗也、十三年、三十三年始于日本
調度　漢書顔師古注、
弓　翻冊録、即卷字、或云、音周、

兎角　六祖壇経
不快　綴耕録、
柳　小補韵會、ウマツナギ

東京帝室博物館

落款　漢和古雅集録
元以前多無、偶小書不過耳、李龍眠大書姓名、
臨摹（ミウツシ）
過鑿（メキリ）
銅器　殷素朴、周細雕、夏飾以金銀、明宣徳佳、
瑕纖（モヒ）[?]
石刷（イシズリ）[?]

東京帝室博物館

印小篆白文為正

古帖前後多空紙、截去收藏官印也、

米芾元章宋人 文徴明徴仲明人 趙孟頫子昂元人 善臨模

東京帝室博物館

鎖鑰鍉分録

ヒカリテ開ク

蔵ノカギニ多シ

捻(ヒネリ)鎖 衡鎖

互ニ相接スルワナトイ

五節間郢曲事

心葉 金銅梅花

日蔭絲

東京帝室博物館

熟韋（オシカハ）、生韋（ツクリカハ）

革究図考

揔（メス）　滑韋（ナメシカハ）　鳥韋（クリカハ）皂革　纐韋（コウタカハ／シボリ）　目結韋（メユヒカハ／カノコ）

鞆韋（タスヒカハ）　画韋（ヱカハ）文韋　天平韋　正平韋　熏韋（フスベカハ）

縄同（ナハメ）

引同（ヒキメ）　絲引目

菖蒲韋

歯朶韋　此奈革

君臺観左右帳記

呉 曹弗興
晋 顧愷之、長康
陳 顧野王、衛協
唐 呉道玄、道子　王維、摩詰
宋 徽宗　李公麟、伯時、竜眠　李成、咸熙
郭熙　徐熙　趙昌　易元吉、慶之　趙令穰、大年

南宋
成宗道　張思恭
陳容、公儲、所翁　無準　法常、牧渓　無準弟子
若芬、仲石、玉澗　啼古　馬公顕　李迪
夏珪、禹玉　毛益　王輝　楼観　馬麟、馬遠子
范安仁　陳世英

元
銭選、舜挙、玉潭　顔輝、秋月　孫君沢

唐
劉耀、耀卿　盛懋、子昭　子明、月山
張月湖、月壺　西金　任康民　胡廷暉
王李本　川畫閣　柯山　趙昭　明哲暉　張芳汝
戴嶧　雕丹士　貫休、德隠、禪月　文同、與可、錦江

南宋
柯堅
趙子澄、處廉　蘇軾　趙伯駒、千里　米友仁、元暉
元章　楊補之、無咎、逃禪　陸玉、碉寺、淨慈　李嵩
馬逵　馬遠　自良玉　陸青

金
王庭筠、子端

元
楊月澗　王淵、若水、澹軒　王冕、元章
張遠、梅岩　蕭月潭　王立本　顏庵　寧翁
張伯供、竹屋　高然暉　中峯山　戴嵩　徐澤
夏雁遠　定山　李宗　陳琳、行甫、此山　諭法師

檀芝瑞　米芾、元章　徐子與　李克六　丁野夫
唐　韓幹　陽僧　黄筌、要叔
宋　蘇過、叔黨　子瞻季子
南宋　趙孟堅、子固、彝齋　廉布、宣仲　湯正仲、叔雅
月蓬　子温、仲言、日觀　仁濟、澤翁　陳清波
元　趙子原　蘿窗　蘋顔祖
趙孟頫、子昂、松雪　趙雍、仲穆　子昂子　李衎、仲賓
息齋　李士行、遵道　朱德潤、澤民　孟玉澗
胡廷暉　天師張嗣成、太玄　明雪窓　卯陀羅
李仲和　劉復、垣溪　雪澗　子庭　松田　錢田
默庵　顧畫世　孫知微　楊枝　薬山　一庵
邊魯　羅窗　姜道隠　老融　猪者　張思訓
陸信忠　普悦　樊子　馮大有　李周一　陸仲淵

東京帝室博物館

李乃七郎　陸亞三郎　承訓　子良　謝堂、恕斎
李覚氏　滕王元嬰　紅眉　仲仁、華光　松斎
竹斎　李伯仲　劉伯　劉朴　頂雲　李瑛 子李安定
夏森 子夏珪　張德麟　夏永　劉煒　張璟
仁宗　高宗　張良市　李立　李公茂　君臺仁
盛煕天錫　高文進　周文矩　朱銳　王景辰
馬德甫　碧雲　雲石陸氏時中　王珪君璋
厳凱士元　永嘉章　顕宗

銑州椀 白細役　琯琔 薬ノヒ、キ名
曜変　油滴　建盞　烏盞　鼈盞　能皮盞　天目
易紅　堆紅　堆朱　桂漿　犀皮　堆烏
驢蹄　大海　茶盌

地方大概集

貫高　足利ノ時田千坪ヲ一貫トス六貫ノ軍役ヲ一騎トス
古ノ坪ハ一反三百六十歩トス

永高　足利ノ時年貢ニ永樂錢ヲ用ヰ田ヲ上中下ニ分チ各
永何文ト評價ス慶長中永一貫文籾五石トス中ゴロ二
石五斗トシ後一石二斗五升トス

出目高　千石ノ地新檢ヲ經テ千三百石トナレバ三百石ヲ出目
高トス

無地高　上中下ノ反別ヲ石ニ算シ高ノ不足ヲ無地高トス

野高　秣場等ノ納高ナリ

海高　元和以後永祿ニ至リ漢錢ヲ納メシヲ謂フ

山高、桑高、色高　総稱之ニ準ズ

除地高　免税地ノ高ナリ

東京帝室博物館

除高　陰地ニ非ズシテ免税スル高ナリ

込高　不足ヲ補フ為メニ渡ス高ナリ

知行高　三斗五升入ノ百俵ヲ百石トシ三ツ五分取トス

延高　高同ニ依リ地改マルトキノ増高ナリ

反高　新開荒地免税ノ高ナリ

抓高　換地ヲ経ザル高ナリ

俵入　延喜式五斗ヲ俵トス　徳川氏三斗五升トス　實ハ三斗三升ヨリ五斗ニ至ル

物成　高百石ニ取米四十石ヲ四ツ物成、三十五石ヲ三ツ五分物成トス(%)

斗立（はかりだて）　三斗五升ヲ本石トシ三斗七升納ムルヲ斗立トス

出目米又延米　石ニ何斗何升ト掛ケテ納メシムルナリ

口米　本米ニ三ヲ乗ジ又三五ニテ除ク等ナリ

東京帝室博物館

口永　石ニ何文ト掛ク鎌倉時代ヨリ有リ

分一　廻漕代、市場賣上、大木切取代等ノ三分乃至三十分一ヲ納メシムルナリ

銀納　米取何分一銀納トスル時古ハ一石銀四十八匁享保中ヨリ更何匁増トセシヿアリ

東京帝室博物館

吹埃剔蘚碑

係山集

慶長勅版考訂

御書物奉行臣近藤守重撰

錦繍段

日本書紀神代巻二冊

四書白文六冊

長恨歌琵琶行合刻一冊

陰虚本論二冊

皇宋事寳類苑十五冊

右古文故事ノ末ニ附ス

10 高知堂製

一、切經音義

第一、第二、

欠

第九、第十、第十一、第十二、第十三、

第十四、第十五、第十六、第十七、

第十八、第十九、第二十、第二十一、

第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、

右大正七年一月二十五日調

東京帝室博物館

舊事本紀
巻三饒速日命天降ノ段
巻五尾張氏物部氏ノ世次
巻十国造本紀
右偽書中ノ偽書ナリ

右大正九年一月三十一日写
巻三十八、巻三十三、巻二十四、巻三十四、
巻十六、巻十七、巻十八、巻三十、巻三十一、
巻四、巻十五、巻十六、巻十九、
巻五、巻十、巻十一、巻十二、巻十三、
又
巻八、巻三、
[illegible]

神道ノ四流（垣内直頼）
聖徳太子流
吉田卜部流
弘法流
三輪流 鏡図

六窓軒記聞

河ノ辺リ 残氷 三月尽 乞巧奠 文詞 奉幣

湖ノ上リ
定家卿
明星 川橋 松橋 矢田野 メカレ 石ハシル 移香 ワタノ原
名草濱 八束穂 民草 冬草、 ナホサリ 冬河 花林
以上 清書
ヨウデウ 簡之

東京帝室博物館

髙圓山 マドカ
恵慶 エケイ エキヤウニヤウアリ
人麿像ノ袖ハツギソデニアラズ下ノ衣之
天子ノ歌人一ハ順徳院
後光明院内證ニテ畧像御巻ツクラサル

〇俊成―定家―為家
言塵集

為家の子:
- 為氏
- 為教
- 為顕
- 冷泉為相―為秀
  - 為之
  - 為尹
- 為守 暁月

今川貞世 了俊 言塵作者

持為―政為

為富―為廣―為和

東京帝室博物館

宮テリ 宮寺 イカクル 隠 ホソ ソラコト カヨワカクヨリ トサマカウサマジ
キツノ夜 昨夜 アチサハフ 味マフ 三ヅウ ビシヅウ オソロ 遅 ウケフ ムロフ
ネクイノル タツカ杖 手ニツク杖 タツカ弓 手ニツク弓 コボシ コボレ ホカビ 岡へ
イクリ 海石 山タヅ 松ノ名、又斧 ワケオレ ウシ心 ウワ心 タフチ ツフテ
ホトロ 天ノ丈 コキヤナクヰ シラカ 白キ四手 トノクモリ タナビキクモル オキマケテ
オキカケチ カクマリ カクカケチ 春マク夏マソ カケタル二 ヲテモコノモ カモコモ
草葉 キロキ アヤタコテタニ向キタル ハリ道 墾道 カリハネ 苅 クヰ スコ 下ス
ウラ待 ゝ多待 ソソリ イメキアク 山ノタオリ 埜 ホク サカフ イワ人 家人
ツク日夜 月日夜 エビ 蒂 岩根サク道 フミクボメタル道 シミミ シゲミ 谷ク
冬水 マナカ日 真南日 イロ イタトリヨリテ 手ニ取ヨリテ イトノ手 テイトノシク アト
モヒタチテ 哀ニ思タチテ コヒノム コヒイノル トコへハダシ へダテ ミネミソクレ
見過シ ニフナメ ユルシガネ シタ夜 夜ノ向 マカモ マコトモ モコロ如 シマシクモ シハラクモ
マツガ一ク 待也リ ツバラク ツマビラカニル カタネモチ 向ニモチ カリイチカスカ イムナシ

妹無 サーゴテユカニ サゝゲテ オメガハリ 面ガハリ チマリヰテ トマリ イワチ 家路
アレブアレ火 マユスヒ 真結 トリヨにフ 取容 ヌル夜 オチス 夜カケス サフ
ク幸 ニワ 海面 アメツシ 天地 ミトラシ トマリヰテ シノク 加ニコユル ツノブ
グレ隠去 手ノモスマ ヤスメズ ハタルワタル カニモカクニモ トニモカクニモ カノヨフホノ
カ タシヤハハカル 立ヤハノカル 嶋カキ カゲ 野ノソギ ツヅキ 山ノソギ ツヅキ
ヒレ 比志 洲 レキ手 手枕 ヒモロキ 籬又藪 ヒモカゞミ 氷如鏡 カタマリ 片腐
ソコラ ソコバク 春サレ 春ハ ワクラハマレ 玉ユラ シバラク ウタカタ サマ サノラ
ナクハ心ナク ガテカツノ ウツタヘ 打タヘ イワク争フ コオヒカ マバユシ アラ
マレキアラン レキ ウタタ ウタテ ウハへ ナキナサケナキ アセタル アレタル コマカヘ
ワカガヘル アフサキル トスルモカクスルモ 手ノモスマ ヤスメズ 犬ヘ 其時印 アヤ
ナレ為ナシ イトナシ イトマナシ ウマヤ 今ヤ アレ 我 阿社 夏ノ杜 阿迦祈
マフレ 狩人ノ柴垣 アマノサカ手 咀法 ミツワサス 老ヤマル コツミ 木ノクヅ ハ
トフク 初吹、焔吹、狩人

東京帝室博物館
東京帝室博物館

諸病禁好食集

慶長六年ノ古寫本ナリ文化元年屋代弘賢之ヲ多
紀元節ニ贈ル

中風禁食　麺　蕎麦　蕨　烏芋　五辛

好食　黒大豆　大根　葱　乾棗

咳嗽喘息吐血好食　鰒

骨蒸好食　鰻鱺

消渇好食　砂糖

癥瘕積聚胸脇好食　商陸　鯉

東京帝室博物館
東京帝室博物館

蟲譜

予ノイトバト呼ビ来レルモノ

ヘンイトヾ　竈馬

ゲジゲジ　蚰蜒

ヤスデ　馬陸

マロムシ　蟯蛕

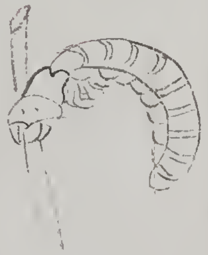
ヲメムシ　氣婦

標鴿　コガネムシニ似テ羽ニ赤点アリ

ハネムシ　水蚤

ネキリムシ　蠐螬

アゴタムシ



テントウムシ　瓢蟲　赤小虫正円二羽

アメンバウ、ミヅスマシ　水馬

アブラムシ　滑蟲

東京帝室博物館

東京帝室博物館

アリマキ　竹虱虫

馬尾蜂

シヤクトリムシ

アトンボ　赤卒

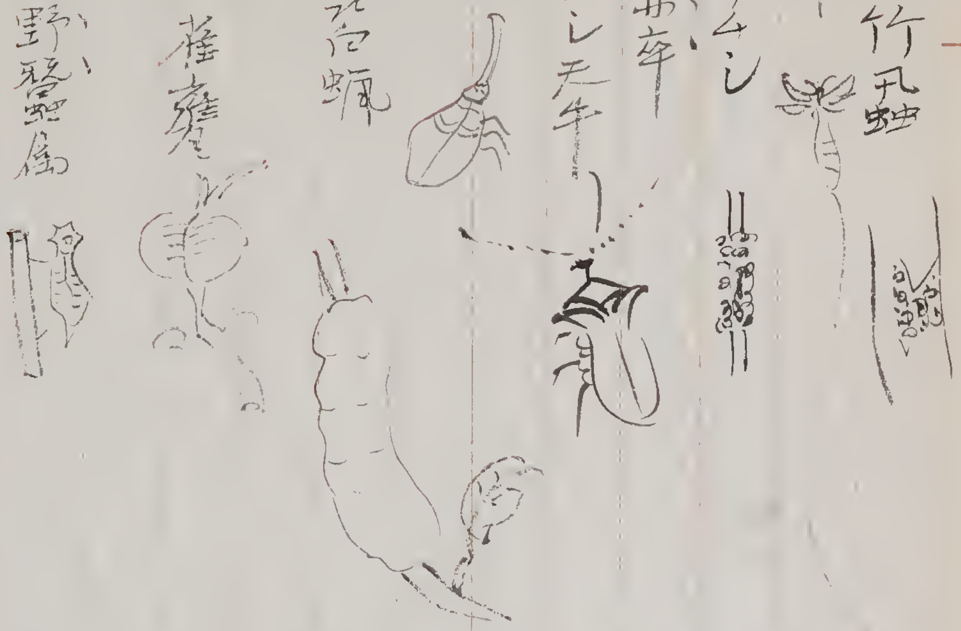
カミキリムシ　天牛

枇杷虫

イホタロ　虫白蝋

スヾメノツボ　雀甕

オキクムシ　野蠶偽



東京帝室博物館

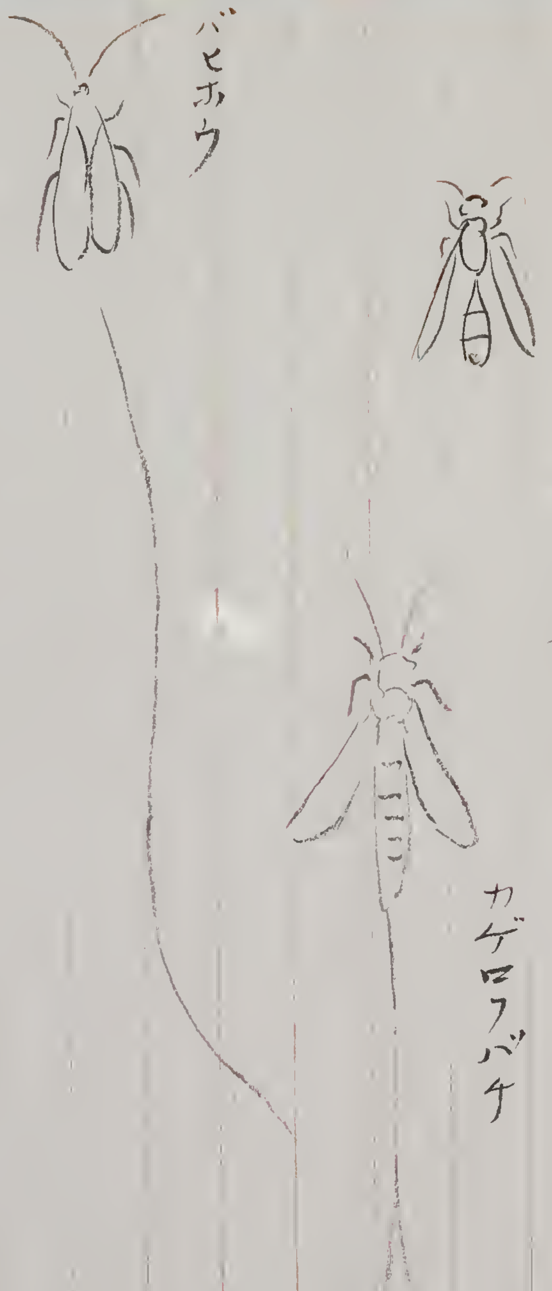
スガリ

ジボスガリ　黄土為巣

ダクスガリ　草萱又葉為巣

バヒホウ

カゲロフバチ



水蠱蟲、線蟲 Gordius aquaticus L.

右博物雜志

右蟲譜稿本

東京帝室博物館

植物

十大功勞 柊南天ナリ

右 南燭品彙

西洋菊(清俗) Dahlia

烏檀 Diospyros ebenum L.

紅樹(清俗) Rhizophora タカ[illegible] 潮水ニ耐フ

通脱木、通草、活莌、離南、冠脱 Aralia papyrifera Hook.

Rice-paper 蒲通紙

ツタ 斑アリ 樺(エチ)、ヤレヤノキ、ソロノキ、七葉(トチ)、山毛欅、シラカバ、モミヂ等ナリ

リウノヒゲ 沿階草、書帯草

菰 ハナカツミ、マコモ Hydropyrum latifolium

右 博物雑志

東京帝室博物館

金石

ホタルイシ Fluorite 入火發光

東京帝室博物館

十干

閼逢甲 旃蒙乙 柔兆丙 強圉丁 著雍戊 屠維己 上章庚
重光辛 玄黓壬 昭陽癸

十二支

困敦子 赤奮若丑 攝提格寅 單閼卯 執徐辰 大荒落巳
敦祥午 協洽未 涒灘申 作噩酉 閹茂戌 大淵獻亥

東京帝室博物館

10

高知堂製

博物館藏書鈔 戊午

二

A 10
201

拾芥抄　屠維協洽

五月葦屋、令人頭禿、凡俗

春　青陽

夏　朱明

秋　白藏

冬　玄英

甲　閼逢

乙　旃蒙

丙　柔兆

丁　強圉

景　唐代詩作ー、見乎盍簪録

温叶藏書

東京帝國大學圖書

B 23475

000432009 9

戊	著雍		
己	屠維		
庚	上章		
辛	重光		
壬	玄黙		
癸	昭陽		
子	困敦	星紀	夜半
丑	赤奮若	玄枵	鷄鳴
寅	摂提格	析木	平旦
卯	単閼	大火	日出
辰	執徐	寿星	食時
巳	大荒落	鶉尾	隅中
午	敦牂	鶉首	日中
未	協洽	鶉火	日昳
申	涒灘	実沈	晡時
酉	作噩	大梁	日入
戌	閹茂	降婁	黄昏
亥	大淵献	陬訾	人定

十年 幼学

十五 志学

十五以下少

二十 弱冠

二十以下丁

三更 [illegible] 黄

一孔子 二公冶 三曾子 四知方 五知[illegible] 六知業 七知[illegible] 八[illegible] 九[illegible]

総角

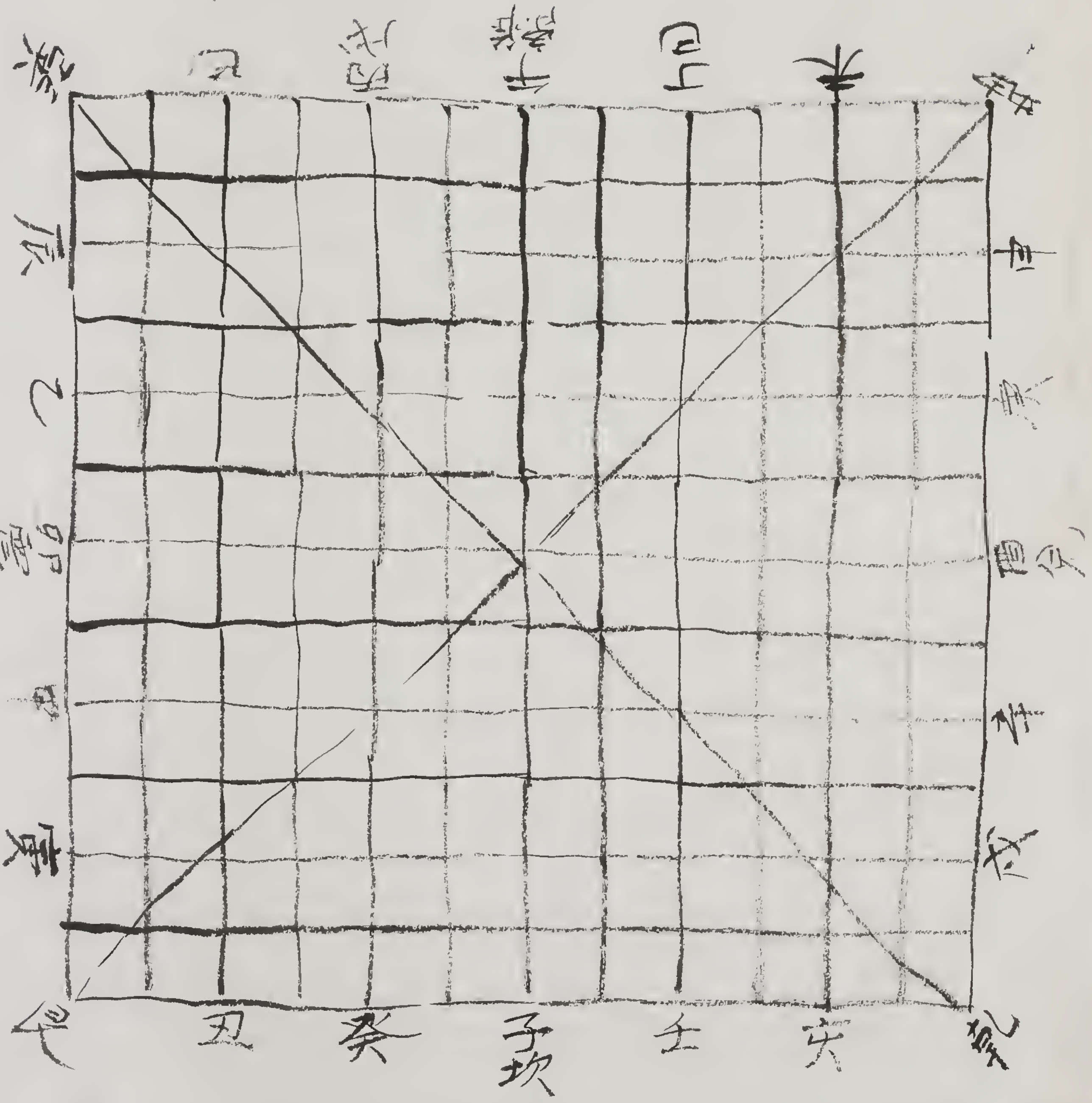
十総[illegible]

三十　壮　而立
四十　強　不惑
五十　艾　知命
六十　耆　耳順
七十　老　不踰矩
八十九十　耄
百　期頤（曲礼）
十二年　紀
三十年　世
艮　丑寅　東北　鬼門

六十老　六十六　耆
（論語）　縣車
八十　鳩杖

北
西　東
南

日本紀　桓武―文武　舍人、安麻呂
續日本紀　文武―平城　菅野真道
日本後紀　平城―仁明　冬嗣　緒嗣
續日本後紀　仁明　良房
文徳實錄　文徳　基経　都良香



三代實錄　清和陽成光孝　時平ノ大藏善行ノ

金神七殺方

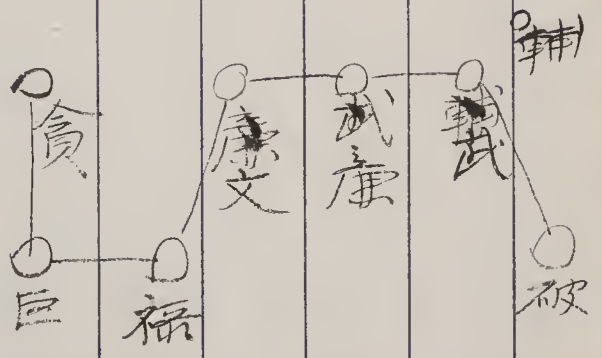
甲己年在午未申酉

乙庚年在辰巳

丙辛年在寅卯午未子丑

丁壬年在寅卯戌亥

戊癸年在申酉子丑



本命属星

子 貪狼 丑亥 巨門 寅戌 禄存 卯酉 文曲（モンゴク）

辰申 廉貞 巳未 武曲 午 破軍

○ 凶會日

正月 庚寅 甲寅 辛卯 二月 己卯 辛酉 乙卯 三月 甲子 乙丑 庚辰 甲申 丙寅 丙酉 丁卯 甲辰 戊辰 戊申 壬申 庚申 癸亥

四月 戊辰 丙午 己巳 丁未 乙未 丁巳 戊午 辛未 癸未 癸亥 己亥 五月 丙午 戊午 壬子 六月 己巳 癸丑 丙午 丁丑 丁未 戊午

己未 七月 乙酉 庚申 甲辰 八月 己酉 辛酉 乙卯 九月 丙寅 戊寅 甲戌 辛卯

壬辰 癸巳 丙申 丁酉 甲午 丙戌 乙未 十月 戊戌 乙丑 己巳 己亥 丁丑 辛丑 戊子 丁丑 己丑 壬子

癸丑 丁巳 癸巳 癸亥 十一月 戊子 壬子 丙午 十二月 戊子 癸丑 丁未 癸亥 壬子

○ 道虚日

六日 十二日 十八日 廿四日

卅日

○ 帰忌日

四孟 正四七十在丑 四仲 二五八十一在寅 四季 三六九十二在子

坎日
辰正 丑二 戌三 未四
卯五 子六 酉七 午八
寅九 亥十 申十一 巳十二

十死一生
酉正 巳二 丑三 酉四 巳五 丑六 酉七 巳八 丑九 酉十 巳十一 丑十二

下食日
未正 戌二 辰三 寅午子申
巳亥丑卯

百鬼夜行日
正子 二午 三巳 四戌
五未 六辰

吉日
甲子 忌春 乙丑 丙寅 丁卯
己巳 辛未 癸酉 甲戌
乙亥 忌春夏 丁丑 庚辰 壬午
戊子 己丑 庚寅 辛卯
癸巳 甲午 丁酉 戊戌
己亥 庚子 忌秋 壬寅 癸卯

甲辰　乙巳　丙午　丁未

己酉　辛亥　壬子 冬至　乙卯

丙辰　丁巳　戊午　己未

癸酉

但酉日嫁娶避之

五離日

申酉 嫁娶忌之

嫁娶吉日

甲子 諸　丙寅　丁卯　庚辰

壬子　戊子　庚寅　辛卯

甲午　庚子　壬寅　癸卯

甲辰　丙午　壬 冬至　甲寅

乙卯　丙辰

拾芥抄服紀部

一等親 父母 養父母 子 養子

二等親 祖父母 父之父母、嫡母 父之嫡妻 継母 父之妾 伯叔父 父之兄弟

姑 父之姉妹 兄弟姉妹 夫父母 妻妾 姪 兄弟之男子 嫡孫 嫡子之子

衆孫 庶子之子 子婦 子之妻妾

三等親 曾祖父母 祖父之父母 伯叔父婦 伯叔父之妻 夫姪 夫兄弟之子

従父兄弟姉妹 父兄弟之子 異父兄弟姉妹 同母異父之兄弟姉妹

夫祖父母 夫伯叔姑 継父母之同居 同居夫前妻妾 夫

前妻妾男女子 姪婦 兄弟子婦

四等親 高祖父母 曾祖父之父母 従祖父姑 祖父之兄弟 従祖姑 祖父之姉妹

從祖伯叔父（祖父之兄弟之男女姉妹）　從祖父姑（祖父之姉妹）　夫兄弟姉妹

兄弟妻妾　再從兄弟姉妹　外祖父母（母之父母）　舅姨（母兄弟姉妹）

（妹）兄弟姉妹孫（兄弟之孫）　從父兄弟子（伯叔父之孫）　甥（姉妹之男女）

外甥（姉妹之女子）　曾孫（孫之男女子）　孫婦妾　妻妾前夫子（妻之子）

異父之子

五等親　妻妾父母　姑子（父姉妹之子）　舅子（母之兄弟之子）　姨子（母之姉妹之子）　玄孫（曾孫之子）　外孫　聟（女之夫）

原夫五行。肇出于書甘誓。次見于洪範。而究其奇即是大禹謨所謂水火金木土穀六府耳。凡君臨天下者。一日二日萬幾。非以一人一事之可兼。故設庶府以分司之。伊職水政。乙掌火令。猶禹治水。益掌火。稷契退爕。分敷種藝人倫礼樂之意也。是以分物列署。使之分治者。世異其稱。或曰六府。或曰五行。此爲教民施政立目。而非後世所謂五行運氣之事也。熟讀書經自可見矣。王政陵夷。邪說競起。而後始有五行分配四時十干者矣。有以五行分配五藏六府

者矣。有以五行名星緯者矣。有以五行論造化生
人物者矣。有以五行強配天一地二之數者矣。又有
專說五行生剋運氣勝復者矣。斯皆假合附
會。迷行妄作。害道莫甚焉。自戰國素靈之作。
至漢漸盛。下及宋儒。理數分配。其說彌漫。惜
乎古今之遠。辨正其非者。惟明王浚川、吳蘇原
一二人而已矣。（香川修德兩復田邊南甫書）
五行本非自漢以降之五行。此乃唐虞三代治天下之令
目也。而世異其称。或曰五行。或曰六府。或曰五府。或
曰六大。五官。六府。六工。甲司治水道。時決塞。禁
數罟。豐魚塩。乙司教熟食。改四時火。為救火使者。
丙司斧斤。以時入山林。運輸材木。操伐薪蒸。丁
司采五金於山。鑄冶以通用四方。戊司相土教播
種。賦上中下。己司稼穡斂藏。南北燥濕。各
有宜焉。猶禹皐陶稷契夔龍益垂伯夷四岳。
分職平水土。播百穀。敷五教。作士作虞。作共工。
作納言。典三禮。教胄子之類也。此皆為治民施政
立目。而決非医家五行運氣生剋之謂也。（壽
養府 後藤先生七十序）

10 谷製

斛、斤

張景岳類經附翼律原云、我朝斛法、成化十五年奏准、鑄成斛法、依寶源局量地尺、斛口外方一尺、内方九寸、斛底方一尺六寸、内方一尺五寸、厚三分、平秤一百斤、註曰、鄭世子曰、按古人未嘗以五斗為斛、五斗為斛、蓋自唐宋始也、筭法依寶句尺云々、續說郛巻第十五、董穀碧里雜存論斛云、今官製五斗為一斛、蓋取其輕而易舉耳、實當古斛之半也、

拾芥抄

百官部

図書寮　頭　助 権〻　允 大一人 少一人　属 大 少

官位官名部

唐ノ言ワノ之ヲ云
正三位　金紫光禄大夫

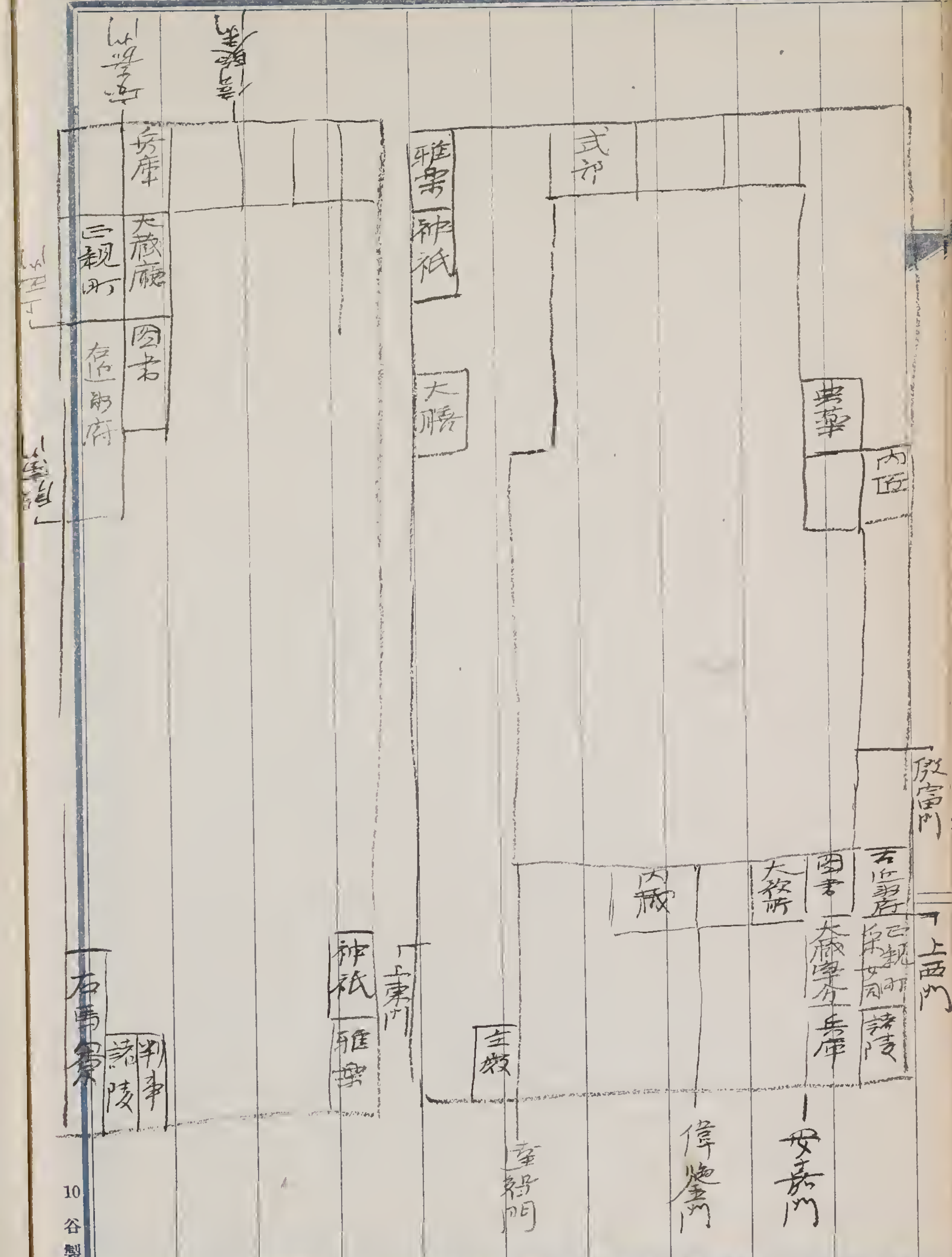
図書頭 [illegible]　図書寮 秘書監　著作郎事　秘書省著作郎中

助 四人 著作佐郎 秘書少監　秘書郎　允 秘書丞　秘書郎　属 秘書主事

官位相当部

正三位 大納言

宮城指図



伊勢内外宮

内外宮ノ名古クハ見エズ

神名秘書ニ村上天皇ノ時皇大神ヲ内宮、度会宮ヲ外宮ト云フコト始マルト云ヘリ

延喜式ニ内外宮ナク度会、豊受宮ト云ヘリ

西宮記ニ内外宮アリ

日本紀略長保四年ニ伊勢外宮トアリ

百錬抄ノ後朱雀天皇長久元年ニ太神宮ノ外宮トアリ

数本ヲ校スヘシ

三代実録印本第五ノ内宮ハ同宮ノ誤ナリ豊受宮ヲ外

宮ト云フナリ
思金ノ神並豊受宮ノ相殿ニ坐ストイフコトハ舊事紀ヨリ
出ヅ神語記、神皇實録ニ見エタリ伊勢ノ書ニハ
見エズ

10 谷製

拾芥抄

忌言

内七言　佛 中子　經 染紙　塔 阿良々支　寺 瓦葺　僧 髪長

尼 女髪長　齋 片膳

外七言　死 奈保留　病 夜須美　哭 塩垂　血 阿世　打 撫

穴 園　墓 壌

廿外　堂 香燃　優婆塞 竿

後藤光次

後藤徳乗光次ハ天正中ノ人ナリ後橋本庄三郎ニ後藤氏ト光次ノ名トヲ讓與シ極印ヲ捺ス事ハ後藤四郎兵衛由緒書ニ見エタリ

右古光書藤島常興寫

10 谷製

禮法

伊勢流　正シクハ足利流、京都将軍ノ家ヲ學
小笠原流　小笠原右近大夫貞慶ノ臣小池甚之丞
貞成之ヲ主ヨリ受ク其門ニ齋藤三郎左衛門久也
アリ久也ノ門ニ水島傳左衛門元也アリ後卜也ト云フ
堀田對馬守正英ガ将軍綱吉ノ子徳松ノ髪置
ノ事ヲ監スルトキ卜也ニ問フ

禮家小笠原系圖

義光 新羅三郎 — 義清 武田祖 — 清光 逸見祖 — 遠光 — 長清 —

長経 長禅 — 長忠 — 長政 — 長氏 — 宗長 [illegible]

貞宗 正宗

貞長 —

長高 宗旺 — 氏長 道意 — 備前 宗元

持長 心傳 浄元

持房

教長 宗元

政廣 宗舜

持清 布中
政清 宗信
尚清
植盛
元長 宗長
元清 宗樹
元宗
秀清

菅家紅梅殿指図

出シ棚　縁ニサシ出シ作ん

釣棚　鎖ツリカ

大床　内縁、竪板ナリ

簀子　外縁、横板ナリ、已縁ト、称スル外）

女鹿禮書抄

扇ハサレテ出デ挨拶ノ時ヌイテ置キ決シテ使フコトナシ

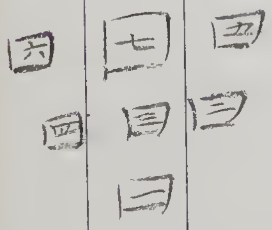
奉紙ハ持ベシ

膳ノスヱ様

中酒ハ本膳ノ外皆引キテ出ス

膳ノアゲ様

又



10 谷製

本膳ウケ様 上箸ハ手ヲツカズ 等箸ハ右手ヲツキ 下箸ハ左
手ヲツキ右ヲ膳ニ添ヘテ受ク
二ノ膳ハ右手ヲツキ左ヲ膳ニ添ヘテ受ク
箸ノトリ様 上箸ハ左手ハ左股上ニオキ右手ニトリ、トリ直
ス 下箸ハ左手ヲツキ右ニトリ、トリ直ス、
飯椀ハ左母指ヲフチニカケ示指中指ヲ外フクラ無名指季
指ヲ内フクラニカケ臺著ニフレズ初ハ二箸食フ
汁ハ箸ヲ右ニ持チツツ椀ヲトリアゲ左ヲ添ヘテ吸ヒ椀ヲ左
ニ移シ箸ヲ直シ實ヲ食ヒ又汁ヲスヒ右ニ移シテ置二
ノ汁ハ同ジ左ニアル三ノ汁ハ左ニテトリアゲ又置

〈加製

飯、菜汁、菜ノ順序ニテ菜ハ中盛ヨリ始ム中盛ナキ
トキハ右ノ方ヨリ始ム
蒲鉾ハスキタルカタノミ食フ
削物ハ箸ヲナホシ（置シ）テ摘食フ
椀子ノ物ハ箸ヲナホシ右ニトリ上左ニスヱ右ニテ蓋ヲトリ膳
ニ置キ箸ヲナホシ食ヒ蓋ヲシテ右ニトリ置
湯ハ箸ヲトリ上ゲ右ニ持チ受ケ箸ヲナホシ器内ヲキヨメテ
飲
菓子ハ苔紙ヲ出シ前ニ置キ、楊枝ヲトリ食ヒ残ヲ右ノ袂ニ

楊枝ハ両手ニ持チ下座ニ向ヒ外ノ方ヘ二ツニ折リフトミツ懐中
シ細キ所ヲツカヒ紙ニテロヲヌグヒ楊枝ヲ懐中ス
茶ハ臺ヲ右ノ手ニ取リ左ニ天目ヲ持テ受取飲ミ試ミ天目ヲ
左ニ持右ニテ臺ヲ向フニ置右ヲ添一飲ム
饅頭ハ左ニテトリ両手ニテワリ右ヲ置キ左ヲ食

昌平志抄

東照大君擢林羅山、々々創聖廟於忍岡、大猷大君賜忍岡地於羅山、尼法乙迁聖廟此
逮常憲大君、命羅山孫鳳岡、迁之昌平阪、
家退翁撰昌平志、
寛政甲寅五月望尾藤孝肇序之、
寛政庚申五月大冢遜白書之、
廟用明制、釋奠尊傚唐禮、
賢儒図像、元禄戊辰狩野益信写、揭忍岡廟、迁昌平、
癸未火、宝永甲申狩野常信續写、寛政己未改廟、又
改図、

巻四 經籍志、

青木敦書草廬雜談

治術一「凡天下ノ事一度始リタル者ハ何事ニヨラズ代ニヨリテ其事ノ盛衰ハアレ𪜈絶テ無クスルコトナラサルナリ是後ノ天下ヲ治ル第一ノ義ナルベシ」按、立憲政治社會政策等是ナリ

治術二「左傳モ國君垢ヲ含トアレバ大抵ノ事ハ民情ニ從作略スベシ」

治術四「太平久シキ天下ヲ治ルニハ只盗ヲ禁スルト飢ヲ救フ貯ト風俗ヲ敗ラサルヤウニナスヿ至極ノコトナルベシ中略此外ハ祖宗ノ法ニ打任セタルガ宜キ也然𪜈時ニ臨

テ中略新法ナクテ叶ハサルモノ也

貫、萬石以下貫ヲ以テ称ス 十貫ヲ百石トス

黄紙 黄檗ニテ染ム黄巻ハ黄紙ノ書ナリ後世詔勅ニ用ヰタリ佛典我国ニワタリシトキ黄ナリシユヘ染紙ト云フ 雌黄字ヲ滅スルハ黄紙ナルガ故ナリ唐ヨリ以来硬黄紙アリ瑩潤ニシテ作字ニ宜シ又蝋紙ヲモ硬黄ト云フ

不言 書ノ高宗諒陰三年不言ハ政ヲ聴カザルナリ

中頓 中食ノ略之

判 兼官ナリ

忠仁 忠ハ死生ニ預ラズ仁ハ之ニ預ル

木母 木公木母ハ宋祁宋ト山濤トノ問答ニ出ヅ

様米 見七米ナリ名山蔵ニ出ヅ

接脚夫 後家入ノ婿ナリ居家必用ニ出ヅ

石敢當 五代ノ人晋祖ノ為ニ闘死ス

曲赦 都ニノミ行フ赦之

弟子門生 弟子ハ直弟子門生ハ又弟子ナリ碑碑録ニ出ヅ

板障 通鑑胡注ニ板ヲ以テ壁ニ代フルヲトス即ハメし

竹頭 竹ニツ四無冤録ニ出ヅ

鯛 勝夫餘ノ異名ナリノ式ハタヒニ近キセカ

鰤 ヤカラノ数ヲ魚品ニ出ヅ

真珠菜 ホンタウラカ 益部方物略記ニ出ツ
臭葉牡丹 清異録ニ出ツ 造花ナリ
脚熱痛 ソコマメ也 丹方彙編ニ出ツ
生国 朱子ハ徽ノ人ナレドモ新安ト云フハ不忘本也
運規 西脚規ナリ 渾蓋通憲図説ニ出ツ
鐘樋硯 石ノ首∧如此ナシタルナリ 李陵温陵集ニ出ツ
即 モミ也 漢書西南夷傳師古注、即猶委也
骨路 イカケ也 續筆記ニアリ

消遣偶録

西園著、「文化丙年」癸酉十年ノ書

「今年米相場ヲ免許アリ相場仲ノ買百廿人相定リ伊勢町河岸ニテハジマレリ」

「庭野加」テリヤアカ ニ乱サレノ木又ヘボウ 枯杜若ゼネ エブん ヲ用サル木ハ房州御

演ニアリ

「屋代弘賢云、古ノ朝顔ハ桔梗ナリ 新撰字鏡後牽牛花ニ當ツ

日暮門、寛永元年三月二十八日徳川家光 秀忠 松平下野守忠郷ヲ訪フ忠郷記念ノタメニ立ツ

卒中風 イビキ出デザル前ニ刺絡スベシ

西園移ハ万治元年、寛文元年ノ如架ノ二説アリ新大移ハ元禄六年ノナリ

「武蔵ノ七黨ハ横山、猪俣、野与、村山、西、児玉、丹トナリ
我家ノ澁江ハ野與六郎経長ノ次男ナリ澁江四郎
経遠トイフ其侄ノ有光モ澁江四郎トイヘバ有光ヲ以ス
家ヲ継カセタルニヤアラン……野與モ忠恒ヨリ出テ千葉
ノ流ナリ」
右澁江西園ノ著消遣漫録文化十年癸酉作ニ出デタリ

10 谷製

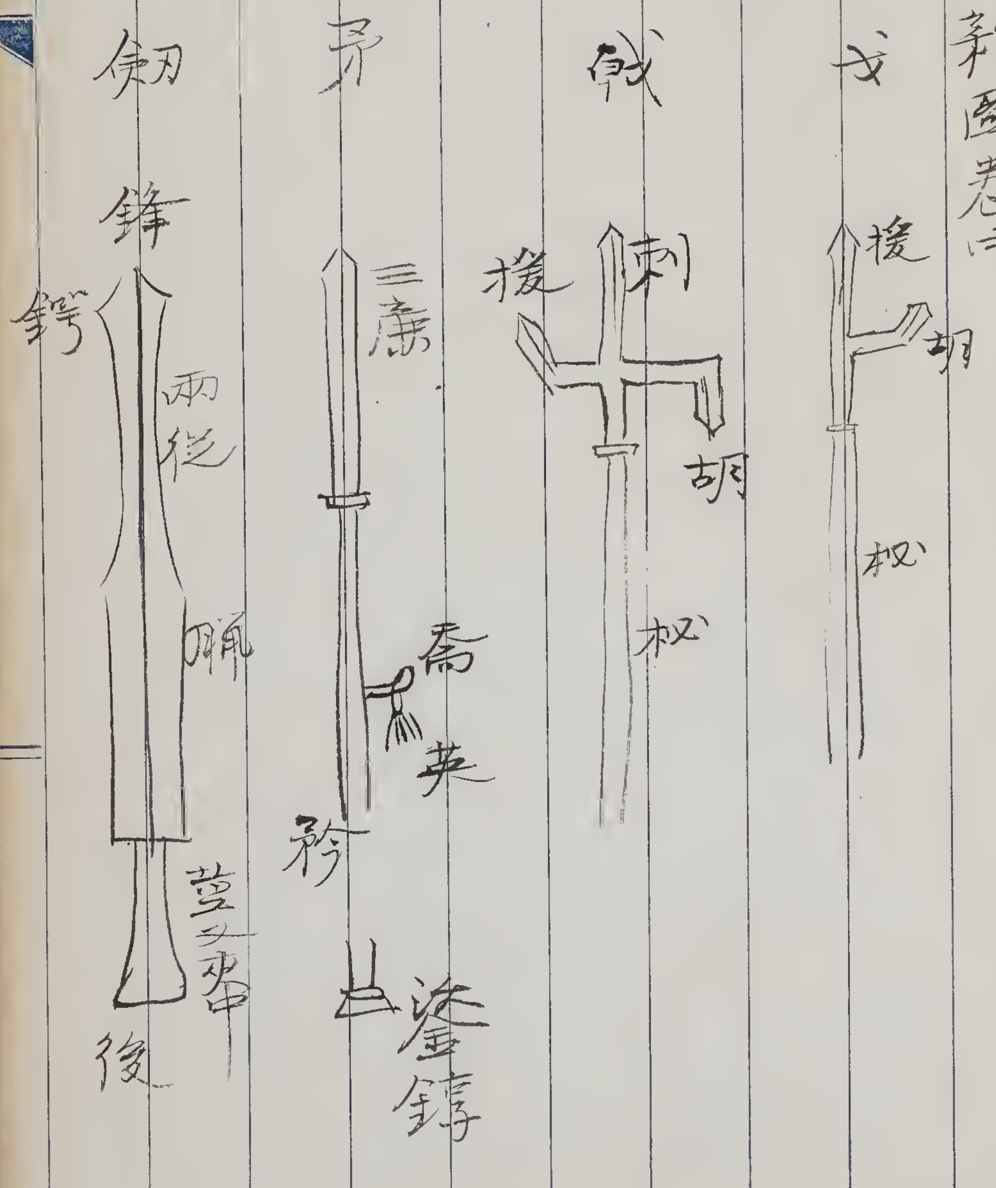
青木敦書 草廬雜談 續編 元文四年成

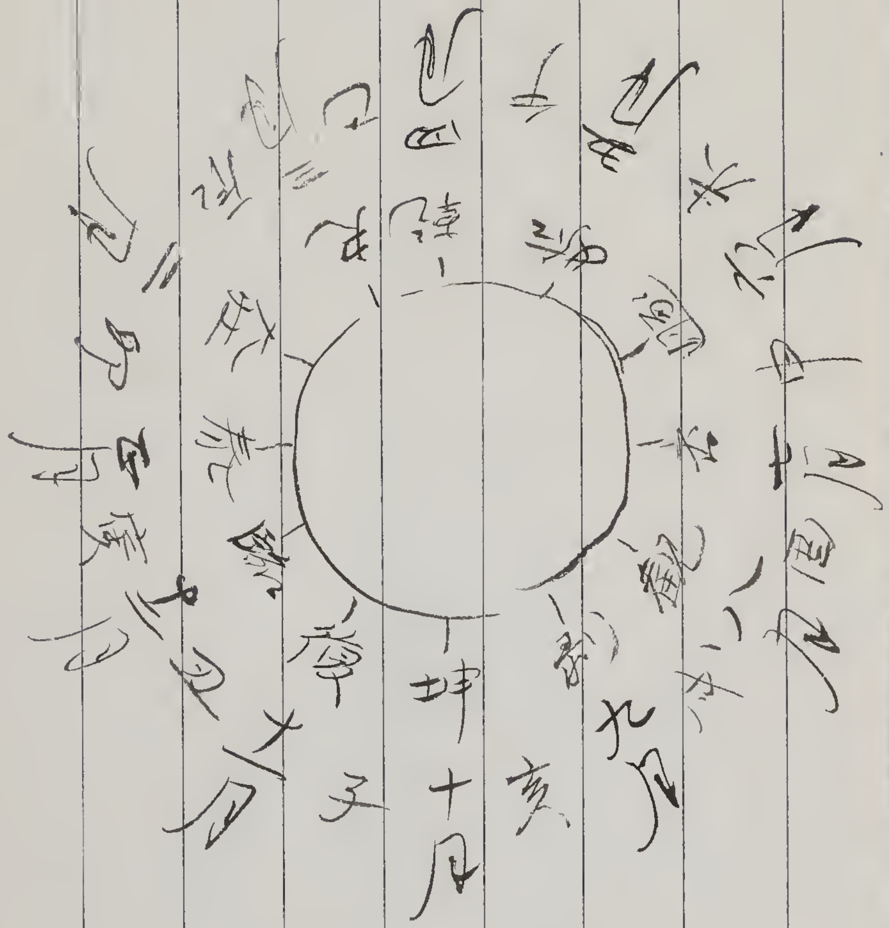
以下寛政十年戊午季冬所寫 賜観官書

去冬 寛政九年カ 余モ草莽ノ臣敦書ニ命ジ官庫ノ書ムコトヲ得セシメ
給フ 中略 匹夫ノ陪臣豈是上アルベケンヤ西土ニテモ 中略 草莽ノ臣ニ官
書ヲ観セシメ給フコトハ見エズ 晋ノ時皇甫謐武帝ヘ表シテ上
テ書ヲ借シニ武帝一車ノ書ヲ賜フ コレハ武帝ノイマダ天子
ノ位ニ即タマハザル時ヨリノ交リユヘカク厚クナシタマヘリ我
國ニテモ上ノ御用ニテハ匹夫中ノ人ニ官書ヲ借サルルコトアリ学
問ノ爲ニ官書ヲ観セシメ給フハ古今ニナキ事ニテ有ガタキ
コト身ニアマリ云ニカタナシ是レ上ノ御恵深キコトナレドモ大國

公ノ言上シタマハズバ上何ゾ敎書ヲ知シメサン大岡公ノ敎書ニ
於ケルハ織ニ廣大ノ事也コレヲ記セルハ若叙子孫アラバ永
ク忘レザラシメントセ也
按ズルニ元文ナラバ将軍徳川吉宗、寛政ナラバ徳川家斉ノ
時ノ事ナリ

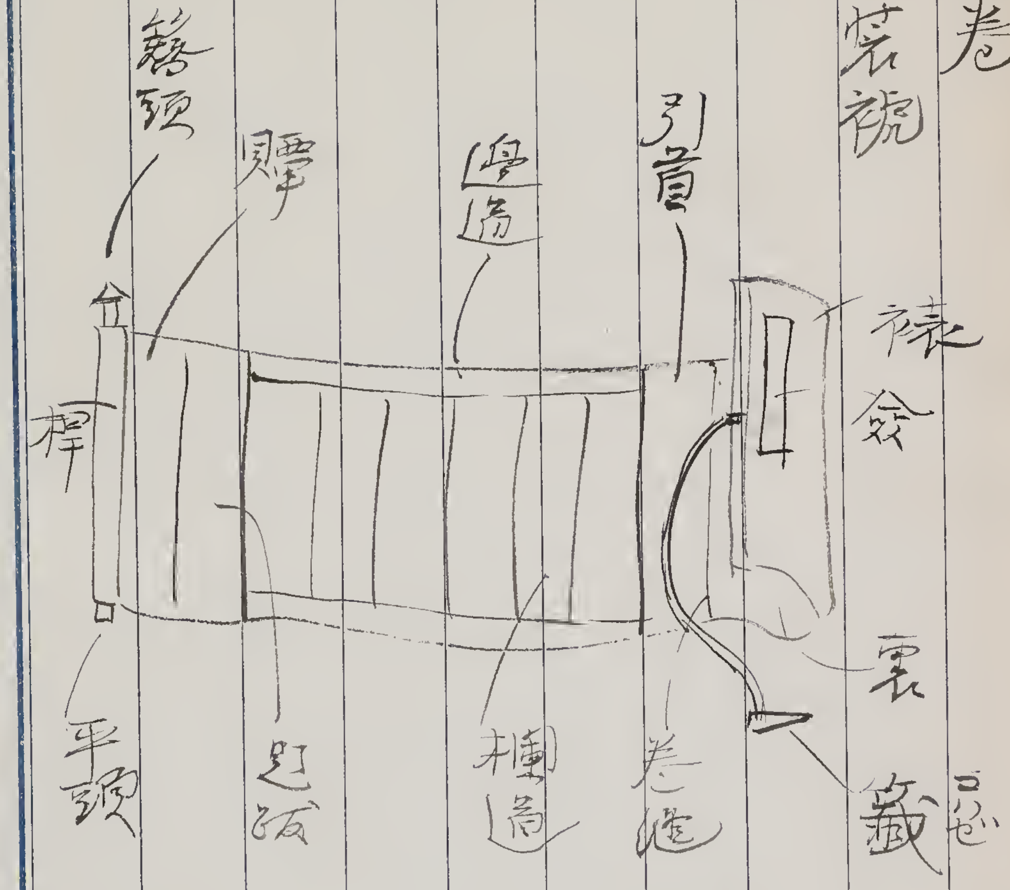
澁井孝德雜圖卷中



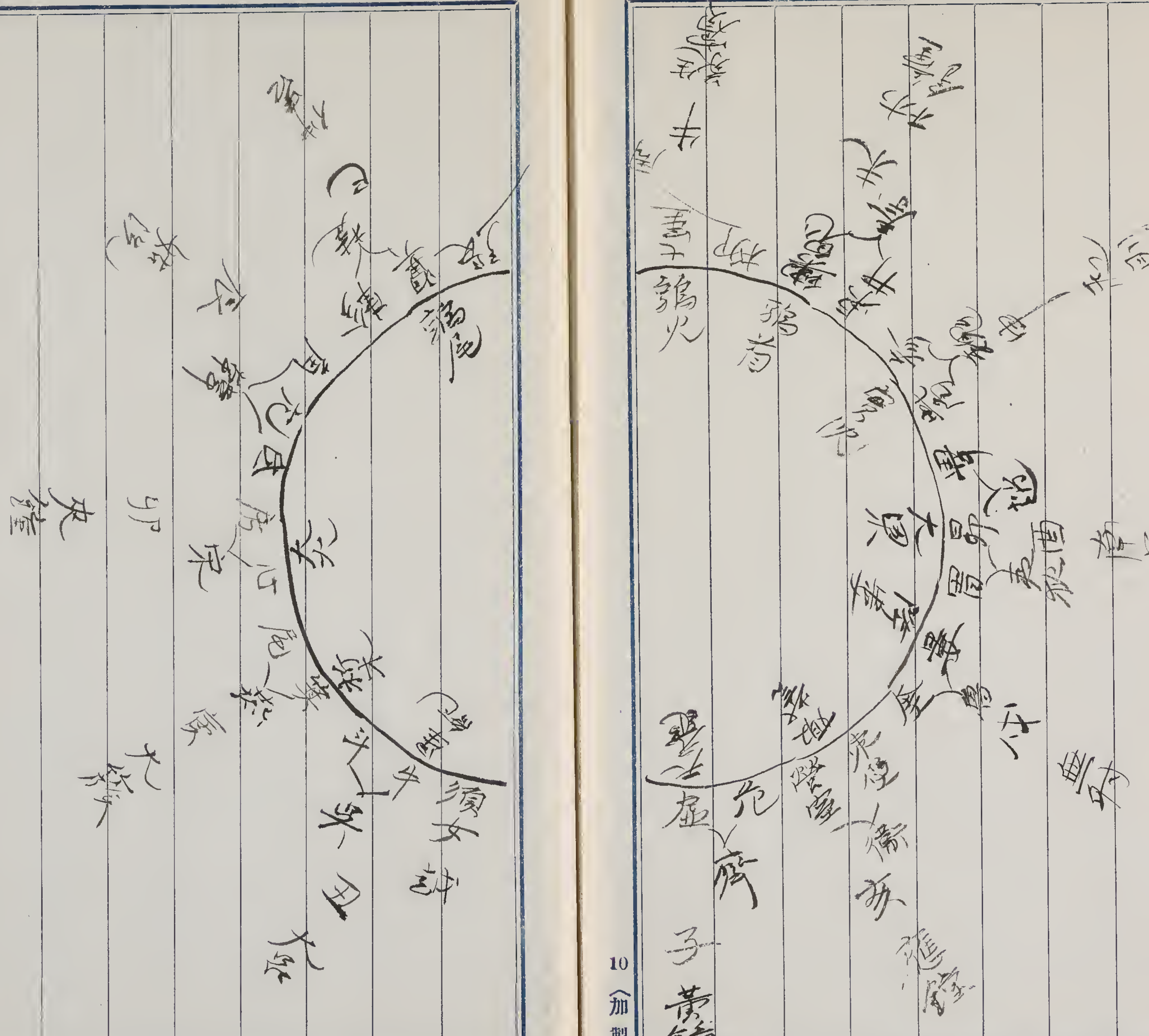


橫軸、橫巻

裱潢、裱褫

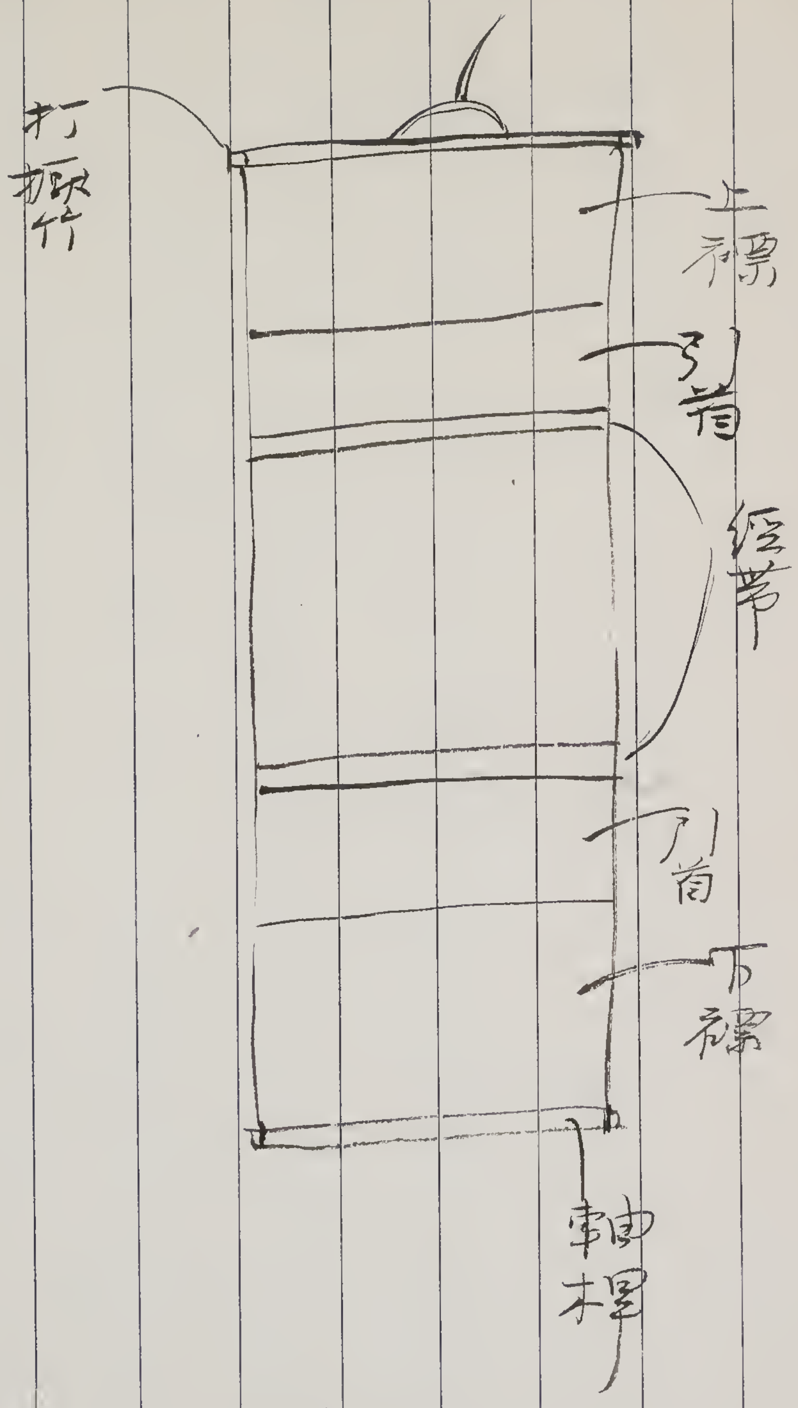


10〈加製



10 (加製

掛軸



流 嘴也

盪 椀也

名 海壺図録 祭用博古図録

アコメ入 袙、裾 端紅扇 （常盤日記）

承筒 腰ニサス、傍ニモタシ。（同上）

二十一代集

古今　後撰　拾遺　後拾遺　金葉　詞花　千載　新古今

新勅撰　續後撰　續古今　續拾遺　新後撰　玉葉　續千載

續後拾遺　風雅　新千載　新拾遺　新後拾遺　新續古今

以上

新葉集　南朝

六家集

拾玉　慈鎮　長秋詠藻　俊成　拾遺愚草　家宮　後照二男　壬生二品家隆

山家　西行　拾遺員外　定家

古今傳授

貫之—基俊—俊成—定家—為世—頓阿—經賢—孝尋—
堯惠—堯孝—常縁—宗祇—實隆—公條 玄旨

右常ノ説

東野州—宗祇 種玉庵 紀州人—實隆 三條西 逍遙院—公條 称名院

公國 田智院 早世

實條 幼

藤孝 玄旨—光廣 烏丸 箱頸—藤孝—實條

右秋山玉山雜記ニアル由常盤日記ニ見エタリ

中臣祓

延喜式祝詞式ニ　大祓ノ詞ニ本ヅキ、中世藤原氏ニオモネリテ春日ノ社ナドノ祭式ニ用ヰムタメ鹿ノ一ナド作意シテ撰ミ用ヰシモノ也（常磐日記）

曹劉陶謝

曹植　劉楨、字公幹　陶潛　謝霊運

周弼三體

周弼、字伯弼、父文璞、字晋仙、號野齋

嚴明、字儀卿、号滄浪、

蘇舜欽、字子美　蘇叔才　二蘇

姚合　賈姚　賈島姚合也

梅堯臣、字聖俞

劉克荘、字潛夫、号後村

范成大、字至能、号石湖

姚勉、字雪坡

呉兢 舊唐書 歐陽修 新唐書

10
谷製

群書類従巻第三五四ノウチ

蹴鞠略記

左親衛員外亞将藤雅経撰

夫蹴鞠者、尋源於千載之遐武、為最于萬春之歡遊、雖世継踵跡握戯、而人得心跡傳稱、寔是非為之難、称為之難也、其脉遐公、其趣旁多、将就一様、性有得失、亦兼多説、身不足恐、抽故實之肝心、以備此篇之目足、分篇於十二、有詞於萬一而已、

一身躰有 〃〃

二鞠合有 〃〃

三氣色 〃〃

四延足有

五歸足有

六 傍身鞠者ー
七 籠鞠者ー
八 隨鞠者ー
九 分鞠者ー
十 樹外鞠者ー
十一 數鞠者ーー
十二 誰無鞠者ーーー
右館本蹴鞠肝心抄ト對按スベシ

松屋製

謝肇淛文海披沙云。晋王廞敗。沙門曇永匿其子華。使提衣襆自隨。津邏疑之。永訶曰。奴子何不速行。捶之數十。由是得免。與僧辦慶匿源義經之事相類。 良山知足齋話

加持雅澄土佐日記地理辨
土佐國長岡郡比江村古江村。古之江村郷歟。貫之任地也。

噬臍

張召孔雲若臥餘云、獵者捕麝、以取其臍、麝急自噬破其臍、則人不之取、若既就縶、雖欲噬臍、亦無及矣、

10（加製

驪リ カラスクロ アラグロ 華陽皮相 ○音易訛者

駹 オナンドチヤ カスゲ

駰 ウスネズミ

騅 ネズミ

騧 ノガミ カミナカアヲ

駩 白馬黒唇

驄ソウ アシゲ

○驊 クニワシゲ

騮 シロツキゲ

驒ダ　ヒセンアシゲ

騂セイ　カラチヤ

[illegible]　カホチ

[illegible]　クリゲ

駵リウ、騮　クリゲ　黄騮　ウスクリゲ

駓ヒ　黄白マジレリ

騢カ　アモカハラチ

駮カ　トキイロ　鴇、鴾ノ漢名　鴇鵝

駱ラク　ヒバリゲ、白キニ黒キ毛スヂアリ

騝ケン　クリゲニテ脊赤シ

騲ク　アカ（後世ノ字）

騵ゲン　クリゲ（ウスアカ）

白顛、的盧　ウビタヒ　月題

驈イツ　マタシロ

騴エン　ヲシロ

騽シフ　クロトチゲ

駹ボウ　セマガリ

驔テン　クロノ脊黄ナルモノ

[illegible]　カホシロ

馵シユ　四足白

馰テキ　ハナスヂ白

馵シュ　アト足白

騅スヰ　クロ馬ニ白キタテカミ

馻ナイ　前右足白　騎キ　同

騱ケイ　前足白

驤ジャウ　後右足白

騚ゼン　四足白　騚　前

驠エン　尻白

駮ハク　白馬金目

駁ハク　ブチ

褭騕デウヨウ　トサゴマ

馯カン　馬一丈

騏キ　クロアシゲ

駿シュン　駻 驃 大馬

騭シツ　牡　騇シャ　牝　駁フ　牡　騬　騍クワ　牝

騢カ　口中白

水谷豊文 物品識名 宗小野蘭山爲

イヌドクサ、カハラドクサ、スギナ 問荊、節々菜

ロクワイ 蘆薈、鬼丹

ハマビシ 蒺藜

ハルユリ、アミガサユリ 貝母、空草

ハナズワア 紫荊、満條紅

ジガバチ、サソリ 蠮螉、蠆蝎

ハマグリ 文蛤

ハハテウ 鸛鵠

ニレキギ 衛矛 有羽枝
ニレ、アキニレ 榔榆
ハルニレ 榆、白枌
ニベ 鮸鮵、魚鰾膠
ホコリタケ、ミヽツブレ 馬勃、灰包
ホラガヒ 梭尾螺
トイシ 磨刀石
アハセド 進砥石
チヤンチン 椿、櫄
ムカウ 蔦蘿

ヲシロイ、ユウニシキ 紫茉莉
ヲシドリ 鸂鶒鴛
ヲホゴマ、ヤマセミ 翡翠
カヤツリクサ 莎草
ナリガネサウ 蒨
カシ 櫧
カシハ 槲
ツゲ 桄榔子、麪樹
ムクドリ 白頭翁
ウド 土當帰

ウミマツ 鐵戈樹（雅図）
マメヅタ 螺靨草
シロコハク 翳
アコウ 榕樹
リウキウカンゴ 海払
テウセンザクロ 海石榴
ミノツタ 鵃鵂
フクロ 鴟
センパラ、タビラ 鱮魚
チドリ 呼翎（書図）

○
ハスノハヅル 爾雅正義ノ蔓延荇葉ト符ス夢溪筆
談ニ黄藥トスルハ非ナリ
天竺ボタン 夢溪筆談中黄藥ノ名ハ土七草ナリ綱目ニ
アリ
沙参ト羊乳トノ別ハ彼ノ鐘形花外翻シテ紅紫等ノ
點アルニテ知ルヘシ（以上二條図中證図）
サクラ 橉ナリト三村崑山云フ
仙臺萩（ハギ）ノ石脈根ナリ（岩永策英）石脈根ヲコハナ、キレ二分
両薬園品目志

蘭 フヂバカマ　竹葉蘭 トヽキ、ツリガネ　蟾蜍蘭 ヤブタバコ、イノシリ

山蘭 ヒヨドリハナ　菟蘭 ガヽイモ　大蘭 ナデシコ

澤蘭 シロネ　石蘭 ヒトツバ　丈蘭 タサダイコン

蘭花 ラン、ヲラン　吉祥蘭 ヤブハサミ　蘭根 チカヤ

春蘭 ホクリ、ホクロ　蘭香 メハヽキ　野蘭 仙人指甲蘭

風蘭 フウラン　馬蘭 コンギク　金木蘭 ハマボウ

杜蘭 セキコク、イハトクサ　烟蘭 カキツハタ　木蘭 アラヽキ

真珠蘭 チヤラン　俪蘭 スヰセン　玉蘭 オホヤマレンゲ

珍珠蘭 ヤブラン、フキクマ　紫蘭 バレン　林蘭 クチナン

蕙蘭 シラン、ケイ　千葉石蘭 クワンザウ　蘭草 レンゲウ（蘭花）

ムベ、ウベ 野木瓜 救荒本草

アケビ 蔔子

イクリ 郁李、薁

イタヒ木 連

郁李考

宇倍 輔仁本草、康頼和名本草 共木部

無倍 和名抄 瓜類

弘賢云 彼ハサモノ郁李、是ハ今ノムベナリ

春ノ七クサ

	米 白穀	小豆（アヅキ）	大角豆（ササゲ）	黍（キビ）	粟	荳子	薯蕷	大豆
拾芥抄	○	○	○	○	○	○	○	
同	○	○			○	○		○
同	○	○	○		○			○
河海抄								
塩嚢抄								
同								
同								

名	傍注	注記						
菜			○	○				
枌			○	○				
薺（ナヅナ）					○	○	○	○
蘩蔞（ハコベラ）					○		○	○
芹（セリ）					○	○	○	○
菁（スヾナ）	又蔓菁	一ニ「ミヅナ」			○		○	○
御形（御行）	又黄花蒿、又馬歯莧、	一ニ「カブラ」、又ウグヒスナ「アラナ」「カブラ」、一ニ「ハハコグサ」、鼠麹草、又御形五行、五形			○	○	○	○
酒々代（スズシロ）	鈴白	一ニ大根			○			○
佛ノ座	又鼠麹、又喜蘭草、チナツクサ	一ニ「オホバコ」、又「カハラケナ」、又田平子、一ニ於荒本草ノ鳳輪菊			○	○	○	○
タビラコ						○		

10 谷製

アシナ

耳ナシ 今カハラケナカ

茉首又辛夷（菊塢） 長幹和名鈔

ワサビ 蔊菜（若水） ゼンマイ 紫萁、イノテ 薇（萬信） ケイモ 黄獨（萬信）

インゲンマメ 藊豆（同） タウチサ、フダンサウ 甜菜（萬信）

スズメノウリ 女青（長幹） ミツバ ゼリ、草芹（鮮水） セリ 水芹、野芹（同）

カジカ 杜父魚（長幹） ヨメナ 蔞蒿（萬信） ハゴモ 菾（若水）

アユ 香魚又渓鰮（若水） ツクシ、スギナ 接續草、問荊（長幹）

ビイドロ 硝子、倒壜氣（三和水） アラセイタウ 紫羅欄花 地丁（長幹）

テングノツメ 硫石（長幹） ワレモカウ、カルカヤニ似タリ 地楡 ナラスミヤ（長幹）

浅大根 ○

浅牛蒡 ○ ○

ラフハ 除器、零陵香（今ノ零香ハ古ノ蕙）（長幹） シヽヤキ 博落迴（長幹）

マブ 鑛穴（長幹） センダイハギ 苜蓿（長幹） スズメノ?モヽ 女青（幹）

瓷モチ（長幹） カウホネ 萍蓬草（若水） メド 合歡草（幹）

幹長

葱 ネギ

茖葱、山葱 アサツキ

胡葱、蒜葱 ギヤウジヤニンニク、セウジヤウニンニク

薤（カイ）、藠子、莜子、菜芝 ラツキヤウ

蒜、小蒜 コニンニク

葫、大蒜 オホニンニク

セウニサウ 蠷螋草 ビナニサウ 五味子 ナツコイチゴ 蓬蘽

牽牛花水鏡序

牽牛花之幽姿清婉足可以愛賞矣　皇國自古詠賞者許多而求之於西土詩詞則其絶少何也按山上憶良仕藤原　諾樂朝而其詠秋花七種牽牛花已居之一其於西土也宋人楊万里始詠之則後於　皇國為二百有餘年也　國歌之多而西土少詠職是之由文化末年都鄙極盛賞斯花鬭奇競新若值有異種雖一苗子非償重價則不能得爲幾過於李唐趙宋俗貴重牡丹也與住秋水尤愛賞之而家園所貯都為読品故其徒以斯花魏姚目之矣秋水業醫居常熟藥艸培養法而觀

近日種藝斯花者佼癢不能無出言且愛賞之深遂
著牽牛花水鏡一巻種藝之法品類之分賓可謂尽矣
復有續編輯古今篇章関係斯花者暨方薬合用斯種
者無有遺漏即亦秋水好學精醫之餘波及斯花也
與彼游閑子弟汲々於賞花一事者自有段隔哉
文政紀元蜡月蘭軒拙者伊澤信恬識

10 松屋製

丹洲虫譜
蛅蟖、イラムシ、毛生ズル所螫ノ如クヰヅ
皇和魚譜
八重山蝙蝠ハ寒号虫
信天翁ハ アホウ鳥ニトイフハ非ニ 嶋鷺ニ
アホウ鳥ハ海鵝ニ
栗本丹洲
ハゼハ蝦虎魚（蘭山）　棠苑詳註ニヨル
鯊魚ハカマツカ（丹洲）
イハナ赤魚
ヤマメ石斑魚

アユ 鮎 医心方引崔禹錫食経 香魚 雨航雑録

ハエ 鰷魚

ヒガイ 鰉 琵琶湖・ス公

ナマヅ 鮧魚

ギギ 鮰 崔氏食経 黄顙魚

鮀 又 七星魚 本草備要

ハモ ハ海鰻鱺

カジカ 石伏魚 八閩通志

イシブシ 鮖 崔氏食経

サケ 鮭 崔

ワカサギ 公魚 大明一統志

シラウヲ 鱠残魚

鳩

白コウ 黒鸛ナリ 又名孔雀尾ナリ

トキノ羽、青鷺ノ羽

一朱鷺、紅鶴、紅牙、鴾、桃花鳥

（以上鴇説）

大 青鷺

中 鷺、黒鸛、列

小加州才川ノ鵁

〔以上鵁志〕

鵁鶄サハユリトリ 頸下有毛、全身白色（養浩館魚鳥

圖）

琴三味線ノ絃ハ濱絲ハ坂田郡長濱、舊名今濱ノ

産アリ 繭ヲ蒸ルニ湖水ヲ以テス（湖魚考）

蠐螬 ヂムシ 誤称ネキリムシ

鼠婦 ヲメムシ 誤称ワラヂムシ

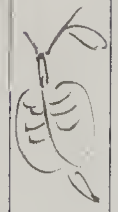
マゴタロムシ

カゲロウ

竈馬 マルイトド

蠟白蛹 イボタ

雀甕 スヾメノツボ



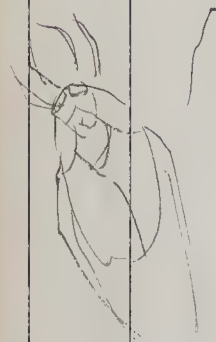
フナムシ

水馬 ミヅスマシ

水黽

螻蛄 ケラ

水蛇蟲 カヘルノハサミ



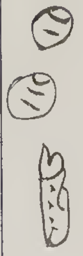
右出分図譜

江瑤柱 タヒラギ

蟶 アゲマキ テイ

海燕 Seestern 一名云海盤車之 タコマクラ

ワレカラ



苗蝦 アミ

寄居蟹 ゴウナ 割図

右分品

10（加製

博物館藏書鈔 己未

三

A 10
201

東京帝國大學圖書印
B 23475
000432010 7

椎實筆　天保辛丑春　椎園自序

○杉坂下齋、名如春、後稱意齋、有淺草文庫朱印、文庫在淺草寺後、富士權現前、今下齋稲荷地、

○文政十三寅閏三月廿九日降雹、降本郷丸山伊澤良安庭雹重二百二十匁、

○古書往々有隨庵二字印記、

○植木晃、号桂軍、又富峯、稱八三郎、大番與力、住大窪鉄町、有忠臣藏狂詩、

○近藤重藏罪案、文政九年丙戌十月獄成、

○高橋作左衛門罪案、文政十一年十月十日至十三年三月二十六

鷗叶藏書

曰、
○撑拴撑搯、寛永中所行有、
○訶梨勒又靈絲繰、東山慈照院造、
○奥淵系譜、岡部氏
政定 次郎左衛門 ─政次 太郎左衛門 ─政家 小次郎 ─定信 与三郎
○部士奥淵 明和六丑年十月病死
定雄 六左衛門 長子、宗中都修理三男 ─定昭 彦左衛門 ─定明 徳太郎
○相馬大作、書院番八木丹後守組早川十右衛門長屋借受
罷在候下斗米秀之進事、浪人────
○桃太郎傳説、出於後漢書南蠻傳、有女浣於濵水、有竹

流足間、闘中有彌声、剖視之、得一男子、長後自立為夜郎
侯、牢陽国志明同、
○伊勢師子頭、大巾無角、利巾有角、
○山本晴亮、号北阜、作七福神寿、寛政己未刊、
○四谷忍町但俗左門町、○俗称榊原左下呆女組、○由宮伊右衛門
離別家女イワ、納同組与力伊東喜兵衛妾コト、イワ妬失踪、負
享中事、元文何格南町縁里俗千日谷日蓮宗妙行寺贈
諡得証院妙念日正大姉、立稲荷祠於山内甚蔵地、
○亀井大隅守深川海手邸並麻布白金邸傍有柳本社、
○荻生徂徠系譜

景明次男荻生茂卿 総右衛門 享保十三年正月十九日死、六十三、三田長松寺

道濟 総右衛門 字大寧号金谷 安永五年九月二十九日死、七十四

二代 觀 総七郎 景明三男、初名觀 小次郎 宝暦四年正月二十日死、八十六

三代 清 七之丞 觀長男 宝暦五年三月十二日死、二十七

四代 義堅 小三郎 實ハ小姓組能勢左兵衛次男

天明六年八月二十一日罷 書物奉行

五代 義俊 総七郎、初晨三郎 享和元年六月十八日死、三十二

ヨシユキ 敬之 又景明又方庵 又敬父

春竹 上總本納村 医師

総右衛門 茂卿 正徳元年卯 四十六

初名 [illegible]、後総七郎、[illegible]

小次郎 深、称叔達、觀

少目 — 総右衛門 — 玄甫

○鈴木岩次郎、号白藤、又葬翁、記神谷轉事、

天保中 出石仙石道之助ノ家ニ 奸臣仙石左京アリ

弘化七五年ノ中 転許落ス

麻布 島住ノ家ニカクス 一月寺ニヤル 弟子捕之 獄 左京刑

○平井権八郎藤原敬成 播州人

父庄左衛門ノタメ本庄助太夫ヲ討

多摩郡上布田大光山三幽院西光寺ニ入 後信飯代 宗雲引ヲ

（寺主 善応祖先）

追腳

京都ニテ自訴、先手与力 [illegible] 江戸人 捕ヘ、居待ニテ脱走、西光寺飯代

武州大宮ニテ取押ヘラレ、鈴ヶ森ニテ処刑、飯代首ヲ取リ目黒ニ葬ル、

当今追已東昌寺ニ投入、小納堂但馬ニ教ム、葬、三十三ヶ後小柴

来リ自葬、同葬植楠

○平山行蔵、運籌堂　寛政十一年對策ヲ修ス

○北川嘉兵衛、真郷、狂歌堂

○中村清三郎淀池、鹿ノ樓

○細谷嘉門、山陽史、真顔門人

○鄭氏

鄭芝龍

配　松浦肥前守臣田川与左衛門女

成功 ― 森太郎錦舎 ― 克文

七左衛門　田川氏 ― 道順　江戸医師　坊ガ家ニ住

商長尾道順

○神谷轉

但馬出石城主仙石道之助（隠居 播磨守 一作越前守 一作美濃守 先代之病死）家来、奥詰年寄神谷七五三郎、后知仙石

隠三助 高千七百石 小松町六丁目 附人 ― ― ― 四十二才 天保六年

家老仙石左京（年四十九才）ノ横暴ヲ憤リ脱走（小倉出）子婦ト云 左京ハ済田周防守 伊賀守合 松平主税女ヲ（周防守）嫁ニ 妍手ヲ転ヨリ勝手役河野ニ報ズ事顕レ河野ハ牢、転寄ル

上総国三里村松見寺ニテ剃髪友鶴ト云

向井伊賀守屋捕、於桂山町、已奉行所味、揚屋入　年六月許七月（一月役所處 瑞光保六）

麻布六軒町 算術師治川伴五郎ノ世話ス 白泥（実ハ麻布近辺役所某世話之（鈴木））

天保六年九月廿日（十二月朔日）右京ノ松平伊賀守預トナル 十二月二十二日揚屋入 二十四日（家来市浦善蔵）

十二月二十三日 友鶴ハ松平備中守家来ニ預ケ 又伊与守預

十二月九日 右京初メ 友鶴ヲ構 道之助 五万八千八十八石ヲ三万石トス

十二月岡本忠次郎花戸独吟ノ詠アリ

○（和泉屋同 松前船持）高田屋金兵衛　歳五十五　天保三辰年八月十一日居捕　山形ニ高ノ字

松平阿波守家来某ノ手
├ 嘉兵衛
└ 金兵衛

英露交易露歟、

○小原桃洞、有都島辞

○木村俊蔵定良、先手与力

○飯島司直、オヒノクリゴト上書アリ

○東善七　明暦三丙年正月十八日十九日火ノトキ浄左衛門指図ニテ人足出ス

延宝三年二月廿八日柳原河人小屋開ヲドム△元禄十二卯年七月十一日畑屋敷

△貞享四年卯九月廿六日非人御小屋建ル、

10 〈加製

拝領増地、十四年ノ巳十二月本所小塚原ノ入相可申旨被仰付、　何安一大、番

佐竹帝陸介義宣家老東野丹羽守（渋）ハ大阪石田ニ与ヒ磔刑

善七印　家康ヲ刺サムトシテ捕ヘラル　即家ノ上非人頭車善七トナル

元禄十四年巳十二月十二日車橋浜ノ松小屋云〻正徳四年午十二月九日中

松小屋云

○中川儀右衛門、ロノ朝臣亭義渠、山城人、居江戸ノ神田白壁町、文化三丙寅春得官允濃紙、十二年ノ乙丑買地于深川扇橋畔、製和唐紙、天保元年庚寅十月昔死、年六十八、葬浅草専光寺、諡仁譽義樂居士、

天保庚子十二月之石于真土山、西嬉夜女ノ句アリ

○入木　晋王羲之書北郊祀祝版、入木七分

○油井正雪

慶安四卯年七月廿三日丸橋忠也等召捕

正雪ハ駿府梅屋町太郎右衛門方ニアリ

八月十日於江府浪人黨刑

○浅野内匠頭刃傷元禄十四年三月十四日勅使御馳走所白洲

書院大廊下ニテ

大石等夜討十五年十二月十四日夜

○佐野善左衛門刃傷天明四辰年三月二十四日中ノ間ニテ

○平山潜、行蔵、文化四年丁卯八月上書　露寇事

○鈴木恭堂　林頭、數寄屋頭

小山田與清　外記

安藤観之　雅楽

岩波康堅　少進

櫻田亘請　遠江守

西田忠礼　五郎右衛門

荒井千春　次左衛門　西

○芝葛雅、右近将監、南都方楽人

○谷文晁

御近習番頭取次席奥詰医師谷桑山　實八十歳、高百五十俵

天明八年申四月九日 部屋住ニ出

又十次郎 文化六巳年九月没、十二月廿六日跡式被下置、

寅年迄 凡五十五ケ年

右寅ハ天保十三年壬寅ナリ

○萩原貞固、名貞辰、称又三郎、天明四年五月二日殁、葬四谷

南寺町本性寺、

清和源氏六孫王経基ノ裔河内守頼信ヨリ十二代枝垣三郎兼信、

兼信ヨリ十五代貞尚 萩原氏ト称ル 貞尚ヨリ五代四郎大夫貞

常 ― 四郎大夫貞之 ― 四郎大夫貞吉 久意 元禄八亥年七月没……番 七

郎左衛門貞親 久意 享保四亥年六月殁 ― 平三郎貞頼 明和七寅年六月

殁 ― 又三郎貞辰 宗固 先手与力 天明四辰年五月殁 ― 七左衛門貞勝 与力

享保三戌年十二月殁 ― 国左衛門、頭役助 先祖書本人

○竹橋 有徳院女天樹院 寛永三ヨリ寛文六マデ

二丸 慶安三 厳有院、享保十六ヨリ寛保元マデ 文昭院夫人天英院 家宣

三丸 慶安元ヨリ四マデ 常憲院 綱吉、延宝八ヨリ宝永二マデ 同母桂昌院、宝

永六ヨリ元文三マデ 常憲院夫人 瑞春院 徳松母

五丸 元禄七ヨリ宝永六マデ 瑞春院

神田 慶安四ヨリ延宝八マデ 常憲院 綱吉

桜田 慶安元ヨリ延宝六マデ 文昭院 家宣 父清揚院甲府綱重

白山 延宝八ヨリ[illegible]マデ 桂昌院

姥、姆笑
補切又
莫侶切

中丸 近宝ニマテ 大猷院（家光）夫人本理

三田 同上 比清揚院 四膕 性院歳

（林家調）

○安国殿、家康木像ニテ増上寺ニ収ム

○松子通 寶山樓筆記 近人書評人名

滕廣澤　平淳信　源君岳　高頤齋　関思恭　三井親和

滕益道　河保壽　源師道　源東江　松山天姥　平淳德

関其寧　左潤　田順　箕騰　芝巖　井敬義

○朧舎人 タツキカイ人 近世家馬ニ附

如才雑色 ジヨボク強勢 茶事之組徒ナルベシニ出

10（加製

○十河氏 ソガウ 水戸ノ臣

○梵鐘鑄潰令 安政二年乙卯十月十二日

○北海異談 十冊 著者 摂州 成部 曽根崎丁 播磨屋次郎兵衛

借屋住吉屋元代判 南豊亭永助 巳四十九歳

文化六年 獄門

○九字 抱朴子ヨリ出

○十夜 浄土宗ニテ十月六日ヨリ十五日マデツトム 無其謂

○庚申 道家ノ教ニ西陽雑組ニ出

○誓紙 梵天帝釈四大王 伊豆権現三島八幡 天神ニ誓フハ貞永

式目ヨリ出

○富永大作、初称榮一郎、字木孟齋、田居、唱日本學

○天正ノ貫

東国ハ一貫文八石西国ハ九石（武家高名記）

六百貫文ハ三千石（菅沼家傳）

一万石ハ千貫（仙臺俗言）

一貫文ハ一石ナラム（古簡考）

○シノブモヂズリ　シノブ地名モヂル、モドル

○服忌令　巻老令ヨリ出、卜部家ニ傳フ　ヲ採ズ　元文元年官板、林家一同合

○本丸老女繪島處分、正徳四年三月五日（慶開餘）

○大石大三郎　良雄六男　正徳四年　二月松平安藝守千五百石ニ召出（同）

○享保五年十月水戸公大日本史二百五十冊ヲ徳川氏ニ獻ズ（同）

○古林見宜　享保六丑年五月大坂町医ーーーー下向、於高倉屋敷医學入門講釋陽日有之、医師之分参リ承候様ニトノ御觸有之候（同）

○牛込　牛込宮内少輔重行ハ北條氏康ノ臣也其裔旗本ニテ七二居ル寺ハ宗参寺ヘ（同）

○外洒　トザイ　享保六年ヨリ江戸ノ牢ニテ不浄ソノ掃除セシムル刑名（同）

○牛南　土器丁瑠璃光寺隠居僧　著書アリ禁ゼラル（同）

○施療

享保七年十二月小川笙船、同丹治目論見許ニ付「於小石川御薬
園病人居所被仰付」岡丈庵、町医林良適（以上常勤、隔日出勤）
町医木下道円、藤堂佐渡守医八尾伊庵、三宅備前守医堀長
慶「右三人ハ近所ニ罷在候ニ付役人男中越次第右之所ヘ罷
越療治イタシ候様被仰付」小川等ハ町医ニテ右療治ニ罷出（同）
○志賀瑞翁　享保七年高年之者御尋ノ時百七十七歳（同）
○情死　享保八年卯正月「男女申合相果候者」処分（同）
○柳本充　享保八年二月八日正一位宣下（同）
○葵紋　享保八年禁（同）
○白子屋庄三郎女ノ名二十三歳　享保十一年午二月遠島、手代忠

八獄門（同）
○伊勢萬助　享保十一年八月政之丞合分政之丞矢拵ニ付千石
之内三百石被下（同）
○並河五一郎　五畿内志編纂ノ便宜ヲ与ヘラル旨享保十四年
四月廿二日水野和泉守達（同）
○天一坊　享保十四年四月「深川一万年町山伏克仙院弟子南品
川御傳馬御用役次郎左衛門地借常楽院ニ居候源
氏坊天一改行三十一歳」紀州田辺ノ民ノ女ノ産、処分（同）
○東醫宝鑑　享保十五年戌四月官版（同）
○林鳳岡、薨、享保十七年壬子六月丙辰薨、八十九、（同）

○螺殻房蓋　享保十八年正月防火ノタメ奨励（同）
○感物類纂　丹羽正伯撰　元文三年貢（同）
○青木文蔵　元文五申年二月留守居支配十人扶持（同）
○高尾　寛保元年酉十月榊原式部大輔不行跡ニ付隠居、
姫路ヨリ高田ヘ所替　高尾落籍（以上廣囲録十冊）
○思出草紙、栗原幸十郎撰、一ニ東随舎、居斗迄、享和中
人（一作東随舎）
○市川団十郎　寛文中葛飾郡市川村産、十歳俳小三郎ト｜
｜｜｜トナル、葺屋町市村竹之丞座ニ入ル、栗三升買テ三升トイフ
其角弟子トナリテ才牛トモ云　元禄十七甲申年二月十九日杉山半六ニ

殺サル（思出草紙）
○サンマ　安永元年比ヨリ多食之（同）
○寺坂吉右衛門　信行、仕山内家、延享四丁卯年十月六日
歿、八十三、法名節巌了貞信士、葬曹慶（アサフ）禅林、養子吉
右衛門信保、信保父ノ墓ヲ立ツ伊藤長準志ス（同）
○後は昔物語、平沢常富翁撰、号亮耳庵、享保二十
乙卯年閏三月二十一日生、享和三年癸亥九月書、六十九歳
序、署手柄岡持、又月成　南野要斗、校江氏完　ノ書ノ体ヲナス
○昔ノセリフヲ今ツラネトテ云（後昔物語）
○小野蘭山、初称喜内、京諸大夫某子、師松岡玄達、綽号

孔嚢先生、——子虔 長谷川民部——刑部、後左市、号蘆
園、官医（蘭山門人吉田正恭諮）
○烏石 書ハ文徴明ヲ摸ス 上野宮ニ出入ス 堀田相模守後韓使書リ
浄写ス 入京謁中山大納言 京商一向宗桑名屋三郎右衛門（一作左）ニ謂テ
云、欲上親鸞上人大師号、桑名屋等醵金八百両与之、建言于中山卿、
安親鸞像、師法安大師、延宮得金、久之宣命不出、失金者向本
山、々々訴関白、所司代阿部讃岐守会両町奉行目付、鞫桑名
屋烏石、事覧、中山諭于伊豫守和島、伊達氏監之、烏石刑、
桑名屋追放闕所、（当時珍説要秘録）
○カチン 応永文明後賣餅禁門内者着襠梁衣、

○柳原前大納言紀光 四條河原祇園附近質店柳屋大助ト
云 寛政五年丑二月憤被御咎、江戸令之
○ウソカヘ 文政三年庚辰正月二十五日ヨリ亀井戸ニテ素龍筆ノ伝
○英一蝶、多賀氏、名朝湖、狩野永真門人、配三宅島、
○聖徳太子 寛政三亥年六月田安家禁拝之
○濱御殿 正保中賜甲府綱重
○本阿弥 松田氏、菅原姓、祖某在鎌倉、称妙本阿弥、足利
尊氏時也、次本光、自此乞称光某、
○守随兵三郎 天正十八年庚寅允売秤
○硫黄島 天照皇大神社 神主小出徳市ノ為、形像アリ云々、文政十年——

○近藤重蔵、名守重、号正斎、書物奉行

擁書城 大昕閣 庄銀ニ立ツ入費城中ニテ募ル「殿中ノ進呈ス」

ノ称アリ 注上ニ見 有那某家板中脱走露国ニ往トノ説アリ

○歌ノ家

定家 ─ 二條 為衛ニ宗祇ニ幽斎ニ烏丸 飛鳥井
　├ 冷泉 達路
　└ 六條 顕輔 顕昭

○吉治店 官医法印吉治卿跡、牛王賣比丘尼中宿アリシコトアリ

○越後屋八郎右衛門 元禄中「無掛直」廉賣ヲ始メ出ス 白木屋 元キ也屋

徴二

10へ加製

○徳川氏院号出典

台徳 夏書、禹貢

大猷 周書、君陳

厳有 皐陶謨

常憲 夏書、胤征

文昭 詩、魯頌

有章 皐陶謨

有徳 同

惇信 周書、武成

浚明 皐陶謨

○經籍　經冊ナリ續紀天平二年七月癸亥

○門院　上東ーーニ始ル

○所司代　侍所司 京極持信ノ代 中原高忠 義政ノトキ也

○玄閣　建仁寺榮西ニ始ル 東寺、式臺也

○紫　古ノーハ今濃紅ナリ

○永百貫　畿内千石、外藩八百石乃至五百石

○寧ー山　元僧見于元史外夷傳九十五、僧人也、

○鈔　札ナリ金元ヨリ有之

○錦繪合巻　天保十三年禁ヲ風俗ニ拘リ候節「無益之儀
二手數ヲ掛ケ人情本「風俗ニ拘リ」

○八所御靈　△貞觀五年五月祀于神泉苑

△崇道天皇

△伊豫親王、崇道子

△藤原吉子、伊豫女

藤大夫、廣繼

△文大夫、文屋宮田麻呂

△橘大夫、逸勢

火雷天神、菅眞

吉備聖靈

○金毘羅　増一阿含經、宝積經

○大久保酉山　寛政五年丑七月十八日俘　松平内匠頭組大久保主

祝ニ金百両ヲ賜フ

○本間游清門

内藤年人臣家来横山平馬斬　歿年三十三　天保二卯五月三日

賜名大村桂子

○川村瑞軒

伊勢田丸氏語ノ裔、伊勢東宮住川村竹右衛門子　歿年五十歳

寄合ニ被召出、称川村平太夫安治、師李内道作

○詞ノ塵　栗園小栗永言著

○橘千蔭、称加藤又左衛門、号芳宜園、父枝直、師縣

居翁、

文化二年十月十五日献萬葉集略解于幕府、賜銀

十枚

文化五年九月二日歿、七十五、葬回向院

子直蔭

門人正木千幹、大石千引、一柳千古、岡田真澄、木

村定良（詞ノチリ）

○平春海、字士観、号琴後、称村田平四郎、父春道、

兄春郷

文化八年二月十三日歿、葬深川本誓寺

女 夕セ子
門人清水濱臣、高田與清、本間游清、片岡寛光、中
村田寛（詞ノチリ）
○青磁 七貫 人名 天竜寺策彦將來
○朱膩 封膩
以上椎實筆
著者 蜂屋茂福橘倩游、仕田安家
二男山本晴鏡
孫 蜂屋 三千三

耽奇漫録
○寶船、花園實久画、後陽成院文
○志道軒、深井氏、名榮山、住淺草花河戸澤邑
屋、明和二年三月七日歿、八十四、葬淺草寺後門外金剛
院、謚一無堂榮山大徳、醒々腐云、
○百萬塔、寶亀元年、稱徳天皇造
○安藤煥圖、字東壁、徂徠門人、為柳澤侯書記、後住京師
江戸人
○大久保負因、文政中
○モノアラガヒノ虫 蝸牛ニ似テ小ナリ 殼堅ニ長シ

○佛法僧 背碧、尾黒、腹白、脚緑

○宮本武蔵政名、播州人、赤松庶流新免氏、父曰無二斎、正保二乙酉年五月十九日於肥後熊本城下死、法名玄信二天、成躬正成畫其像、

○北島三立、号雪山又花隠、蘭隠等、肥後熊本侍医、住長崎、御立徳、号南湖

○佐々木玄竜、稱平次郎、正徳元年召出、二百石寄合、

○公啓法親王、号徽堂、

○杜鵑 黒頭、背褐色、白腹、黄脚

○櫻井野右那、也右 秋孫右衛門、尾張士、

析村筆記

○コンタレユ 下学集、健児、コンテイ

○落首 百錬抄

○ヒキカキ 成柳 義経記、東鑑注

○楮タグノ 穀カチ 木綿ユフ

○櫻桃 ヒジリツカ 台ノ木、ヘボノ木

○閑末良 霊異記ニアリ 和名抄ヘ台

○毬杖ギッチャウノ玉 義経記ニアリ 打毬ハ万葉ニアリ

○アズノハレアキラ 宇治拾遺

○レンゲ 古ノスミレ菫ナリ

○ハタオリ 秋山ハギイストセレドジニタナラム声急ナリ

○著帯 平家物語、ツイデ東鑑ニアリ

○切腹 令ニ自盡セシムトコトアリ 切腹ハ保元物語ニアリ

○利息 令ニ未満六十日者出無取利之法也、

○蘭 後紀和銅二年九月乙巳ニ菊ヲ布智波賀麻トス（蘭ノ誤ナリ 賢按）菊ハ桓武ノ時渡来ス

○囍、所知之奈久 将門記ニ見エタリ

○節用集 幅ハタバリ 知死期チレゴ 大鋸オガビキ 餅抹磨タンツバ

一切ツヤ〜 鵜飼ウカヒ （喫也如鵜吐）

○櫻井基佐入道永仙、作不久宗祇新菟玖波集歌ヨ、アン

ナクテ登リカネタル筑波山和歌ノ道ニハ達者ナレドモ

○姓氏録ノ町形ノ田形ニ

○白羽 古語拾遺ノ神名ニトアリ 白羽栲ニフチ添ヘシカ

○冊玉 神石紀、諸和魂為王船鎮、

○字 石川正恒 麟洲孫四 他ヲレナナリ 又麟洲子彦岳

○四科 古言、歴史、制度、詞章

古言ノ中 古事記、風土記、祝詞、宣命

制度ノ中 法曹政事四要抄

○ユフ 眉生ユフ、後真綿ハ蠶絲ナリ 後ノユフハ穀カヂナリ

タヘ 栲ナリ 栲ハ楮ナリ

困学紀聞

尚左尚右

内則、尚右手者、言欽手右向、男之尚左亦然、

左旋右旋

夾漈六書略云、梵書左旋（左ヨリ）、其勢向右、華書右旋、其勢向左、

琅琊代酔編

朱承爵曰、古者官位尚右、陳平以右丞相讓周勃、言曰、無能出其右者、及行尚西、執主人就東階、客就西階、為東道、故呼主人為東道、後世以東左為尊、

風披扇

有職抄

「ボンボリハサシ討ヒラキタレバ風ニ披キタルノ意ニモヤアルベキ」

寛政八年六月二日嘉樹考」

左右尊卑

淮南子繆稱訓 凡高者貴其左、故下之於上、曰左之、臣詔也、下者貴其右、故上之於下、曰右之、君讓也、

門上

（西）左 浙西 浙民皆自下而言也 左ニセナリ

右大臣 右 （東）

下 南 （東）己右セムナリ

左大臣 左

西

天道左旋 北ニ向ヒテ云フ 東ヨリ西ヘナリ」

六書略ニ似ヘバ反之

△是以偏将軍處左、上将軍處右、

尭子、貴左、（君子居則貴左、用兵則貴右、吉事尚左、凶事尚右△） 下ヨリ三ノ（ムカヒテ） 沂曰、西尊東昇

曲礼、主人右、客左、東階 西階 入君以右

沂 周本 右相 伊尹 濆 周勃 陳平 孝文時 周勃 上ヨリ三ノ 沂曰、東尊西昇

左相 仲虺 周勃 陳平

晋 左相 王睿 右相 王保 下ヨリ三ノ（ムカヒテ） 沂曰、西尊東昇

嘉樹考 沂曰、皆自下而言也

同上

筋ノ木 飛彈国位山一位ノ木 一尺五寸 ニヤリノ大出

棲ノイチヒ

柃 ヒサキ 又ヒサカキ、ツクラレバ 田村玄雄

同上

扱風

直綴、俗称十徳、

民间ノ十徳ハ褊綴ナリ

天明六年 大判書体息

延寿類要 坂琿抄本末

寛永系譜竹田

慶国 ―昌慶 山城守
　　 ―直慶

「善慶 善祐 ｜昭慶 快命、宗俊、後定盛

多紀元昀、皖湖

要住草屋、藏書家

柳庵随筆

一里冢 封堠、里堡

天文九年足利義晴毎四十町置之

天正中信長毎三十六町置之、慶長九年秀忠増置、

支那一里六町 和漢三才図会○下ノ平方尺ノ條参照

里

令 五尺為歩、三百歩為里

尺ハ曲尺ナリ 三百歩ハ百五十丈即二百五十間ナリ

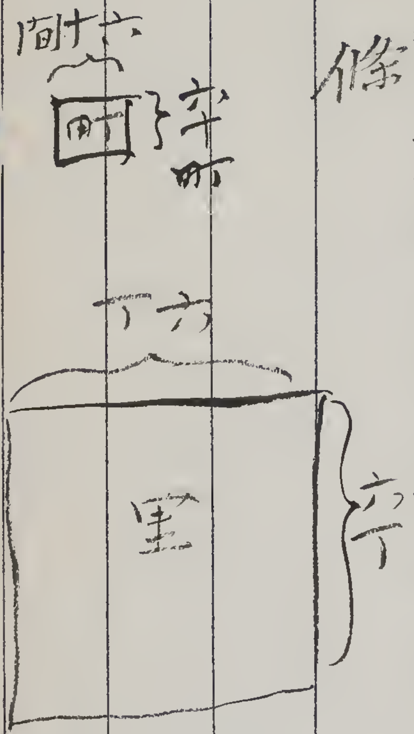
此里ハ今ノ四町十間ナリ

式 以六尺為歩、以外如令

三百歩ハ百八十丈、今ノ三十間又ハ五町ナリ

平方尺ノ里 拾芥抄云、卅六町為一里、此六里為

條



一絃琴、スマゴト
一角、獅子　王海
一貫文田　一貫文三段百廿歩　東鑑有段別　銭三百文
神尾折三斗四　十石十貫文　一貫文　千人分　即三段三百八十歩　俗説類弁　一貫文四石　二町年
一貫二貫文　吉明原寺文　一段五十文　一貫文四段百三十八歩　至一段二百六十歩
算出自己
非文書
英一蝶、多賀氏、名信香、字君受、初称潮湖又和應、後
號北窓翁、隨六角越前守、住來吉原、
北小路宗臣
桂昌院
苗芳、北小路
宗資（初名 村隆）
資俊
六角越前守室

六角祇稼、潮湖號、村田半兵衛、佛師式部（稲氏）倶著百人
女臈一巻、品評列伝室容姿嬉婦、元禄六年酉八月十五
日入揚屋、十一年寅十二月二日流三宅島、宝永六年九月
赦、帰居深川霊雲寺後庵、享保九年正月十三日歿、
葬二本榎承教寺顕乗院、年七十三
僧一絲耕閑、岩倉具起卿
道三、
一渓道三、寛永二年九月九日歿於箱根、年五十、江
戒年錄、可疑
生京都柳原、天正十四年十歳、為相國寺蔵集軒喝

食、称等伯、慶長元年年二十、入足利学校、従遊

文伯、

足利学校五世東井中人大永六世文伯、七世九華天正六戊

寛叔

師導道三喜、

半井利長、法名道三、永正四年正月五日卒、

雛知苦廬道三、天正七年戊戌重陽日自署、

一華堂

宗務 戴恩記

乘阿 慶安中切臨 萬治中 俗氏伊勢等住

伊勢貞丈年譜 ○

正徳五 生、小名萬助、戌年也、

享保二 生、

十 父貞益歿、兄貞陳継、

十二 兄貞陳歿、新賜三百石、

延享二 拝小性組、

寛永七 養貞敦為子、貞敦竹中周防守定矩三男、称登、定

矩禄二千三百三十石、

九 貞敦病、

明和元 二月十二日校結記、

五 貞敎辭嫡、

安永二 撰保佃說銘鋒說一帖、

三 二月廿七日使安藤定照寫新井邦孝藏後三年役圖、

五 借校板谷慶舟藏後三年役圖、

八 八月十六日撰鐘燈圖記、

九 五月六日署鎧著用次第後、

天明元 七月作辭院彌狀、

二 八月為多賀氏撰蛇彌陀緣起、

四 六月五日歿、年六十八、上

岡西惟仲、彌一時軒、因幡國鳥取人、配茶田氏順、長子敬吉、次女琴、次男夫、次男夫、次男矢、天和元年十二月廿八日茶田氏先歿、法諡釋尼智貞、葬道頓堀法善寺、後二年惟仲歿、

岐神、御靈 陰陽形之 林栗所記

イカモツクリノ太刀 嗔、怒、大、嚴ナドアリ

院庄碑 貞享五年七月己亥長尾勝明立

宮尺 明造營尺也、曲尺一尺五分、

六波羅 今六波羅密寺、蛸藥師傍

霧臺 紫宸殿ト仁壽殿トノ間ニアリ

澮名橋　遠州ナリ駒場驛ヨリ入ル又舞坂荒新井向ナリ

一匹一反、古ハ絹曲尺八丈（鯨尺六丈四尺）ヲ一匹トス寛文ノ定ハ
曲尺三丈四尺ヲ一反トシ六丈八尺（鯨尺五丈四尺五寸）ヲ一匹トス

諱處八處
七高祖―五曽祖―三祖―一親―己身
八高祖妃―六曽祖妃―四祖妃―二親妃

幡随意　傍幡随意白道、元和元年寂、所立寺曰
神田山幡随意院、在神田臺、下谷源空寺有幡
随意長兵衛墓、彫地藏尊、慶安三年山脇總
右衛門立、

羽織　古キハナチ十徳ノ一名ハフリ十徳ナリシカ

紹益　佐野紹由―紹益（俗人）―女（光悦妻）

開元錢　一万八千ハ金二両半ト五百五十文（一両十文ナリ）
今ノ八両ナリ

錦旗　大藏春實討純友賜之、南北朝以後多見、

西陣　古ハ東西陣アリキ堀川以東ヲ東陣トス

日蓮　生所小湊、得道清澄、轉法輪鎌倉比企
谷、退藏身延、入涅槃池上、

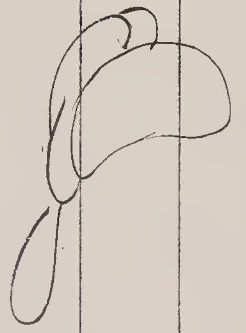
本命　生年ノ干支ナリ

本卦　命期經ニ從ヒテ算ス

堀川　義經館址ハ今ノ本國寺對岸也

鉾　考工記、内虛受柲、今フクロホコト云、

幞頭



保夜　石砌カ石礎ハ別カ

布衣　ホウイ狩衣なり青侍着れば此名をいふか、十五
歲未滿ハ袖クヽリ之

ホタ　榾出、榾柮、苦川寺清云、火宗カ

ヘナタリ　徒然艸ニアル金澤產ノ貝、にたき螺なり

ヘソクリ錢　老人物語中ニ慶安ニ胴巻ヨリ出セバ云フト

平家物語作者　中山時長（醍醐雜抄）行長（徒然艸）

ヘリヌリ又ヘンヌリ　烏帽子ノ後開キタリ被リテ内へ押込ム

ヘラゴ　菜虫ヨリ育ツ蝶

依田貞鎮　稱伊織、號編無爲、天和元年生、明和元
年三月十七日歿、年八十四、府中ノ善明寺、講潮音爲
事大成經、

褊綴　直綴十德ノスソノ四隅ヨリ縫バシタルモノ

平絎　羽二重上品ト裝束図抄ニ云フ

褊衫　褊衫裙子ノ上下ヲ連ネタルヲ直綴トスト訓蒙

圖會ニ云ク

反閇 足ノ踏ミサマナリ呪アリ九字モアリ諸家々々名付云

々モアリ天武博七烈モアリ

平等院 永承六年左大臣ノ別業ヲ寺トス 扶桑略記

鳥羽僧正 法輪院覚猷、天台座主、醍醐天皇六世孫、

保延六年九月十五日寂、年八十八

正倉院盗 家忠日記 慶長十七年ノ條

登蓮 徒然艸マスホスヽキノ條ニアリ西行同世

銅㭍 京㭍四合九勺五撮九有奇

絁 アシキヌ

トナメキ 門並樹

紅葉 堺ノ豆腐ナリ櫻麩ニ對スト云ヘ 又人ノカフヤウ

コウエフニトモ云フ

嚬眉印 明万暦中韓敬ノ印、小栗宗丹ノ印

道服 大臣ノ年服ナリ 辭林アリ

中江藤樹 厚、惟命、近江国高島郡小川人、住京都

一條蔵屋町 稱與右衛門、

○

藤樹年譜

慶長十三 三月七日生于近江国高島郡小川

元和二　為祖父伯治所養、在伯耆、祖父名吉長、
三　從伊豫國大洲、居風早郡
六　從祖父攻順卜、冬歸大洲、
七　八月七日、祖母没、年六十三、
八　九月廿二日吉長没、年七十五、
寛永二　正月四日、父吉次没、年五十二、
五　撰大學啓蒙、後燬之、
六　省母于近江、
九　省母于近江、仕加藤織部正、
十一　十月致仕、熊澤伯繼仕備前、
十三　小川覧從伊豫來學、

十五　撰持敬圖說・原人、中川貞良、從某吉田來學、
十六　山田權、中川熊來學
十七　撰翁問答、
十八　伯繼來學
十九　十一月家子虎生、中村叔貫來學
廿　撰小醫南針、刊翁問答、中西常慶、清水某來學、
正保元　撰神方奇術、加世五來學
二　伯繼再仕備前
三　正月十五日二子鍋生、見分部伊賀守嘉治、四月

喩配高橋氏歿、年廿六、

四毀翁問答版、刊秋鑑草、

慶安元八月廿五日歿、葬江西、年四十七

茶升 底小ナリ京升一升五合一勺有奇カ

天野屋利兵衛 大坂東堀東側住

茶 一斤二百目ナリ

茶にす 徳川家康ノ歌ニアリ

中間 東鑑、御中間 信濃判官明清

近松門左衛門 長門国萩人、又云生京都、杉森氏、居

近江国近松寺為氏、平姓、名安堂、享保九年甲辰

十二月廿二日一作十一月 歿、年七十餘、法謚阿耨院穆矣日一具足居士、

兄弟
宗長老 相国寺
杉森安堂
岡本一抱子
錦江女

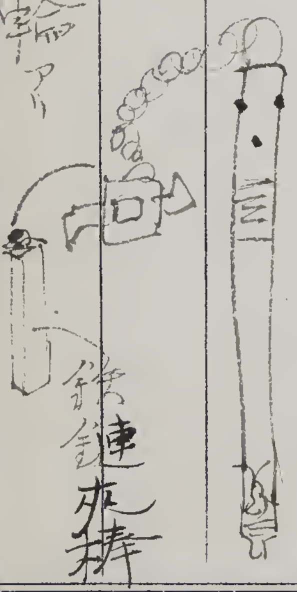
ジンナイ 膠坂甚内安治朝鮮ヨリ将来ナルカ 三寸図

會ノ鐵鏈夾棒ニ似タリ

茅ノ輪 法性寺関白御集通憲

菅

祓アリ後水尾院年中行事第ノ輪アリ



チワ　男女ノ争、チ詬ト寛文中ノ書ニアリ

親
歃子合血　江記、類書纂要、群國志、明太宗后内

訓

千代野　如大無著、足利貞氏後妻千代野、金澤顯

時安、一稱景愛尼、

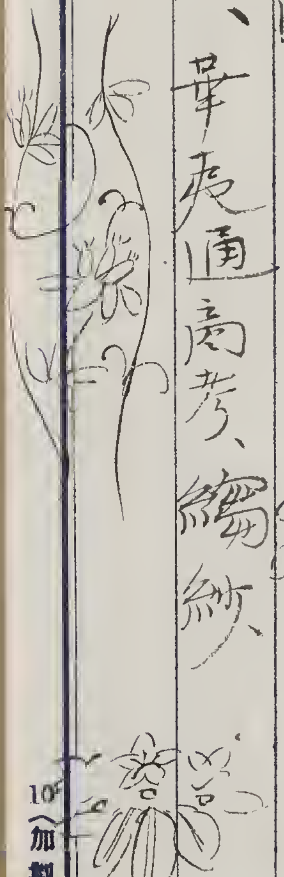
知行　東鑑ニアリ

チギリ　⧖

チギ　搏風、千木、莫鵃ニチカヘ木

チリメン　前漢書、紗縠、華夷通商考、縐紗、

リンタウ　龍膽



渠ノ切缺
肦揭同

龍尾硯　婺源縣長城里龍尾山石

梁年　後漢礼儀志、梁ハ社名、辰酉ノ年カ

揉手　拇指ト中指トヲ開キテ度ル周尺二尺、今尺一尺

六寸一分許ナリ唐尺一尺六寸六分六六不盡、雲城尺

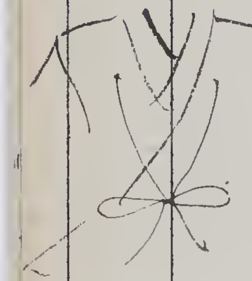
一肘半

肘尺　一肘二十四指、一指曲尺四分七毫二二不盡ナリ

スエ　鵃、鵖、ヨミツトリ　トラツグミ

布直垂　緒ノ打紐ニテ前ニテ結ブ　俗ニ大紋トイフ

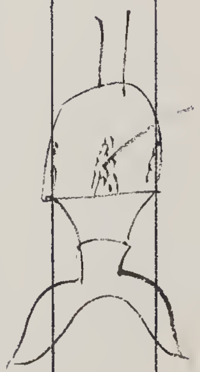
垂領ナリ



布面頞（モカツラ）

ヌカツキムシ　叩頭蟲、コメツキムシ、

ヌタメ



鹿角ノヌタ

雙陸史

雙六起于阿育王

陳思王製雙陸

唐李賀亦製之、玄宗與楊貴妃對局、

梁天監中入日本、継體帝時也、朱鳥中葉之、

塵添壒囊抄、催馬樂譜、和名抄、日本風土記、枕草紙、

源氏物語、万葉集、下學抄、獻物帳、拾遺集、世継大

鏡、菟玖波集、新猿樂記、撮壤集、尺素往來、和漢

三才圖會、紀長谷雄雙六畫巻、古今著聞集、和漢

文撰、嬉遊笑覧、訓蒙圖彙、雍州府志、職人盡、

10 加製

楚辞招魂、宋洪遵譜双（説郛）、五雑俎、楊氏漢語抄、續事始、

洄內就富双陸集説、明治十八年一月序

手塚兎月、双六錦嚢抄、文化八未陸月序

局

筒竹　竹筒

釆　馬　骰子　投子　頭子　賽

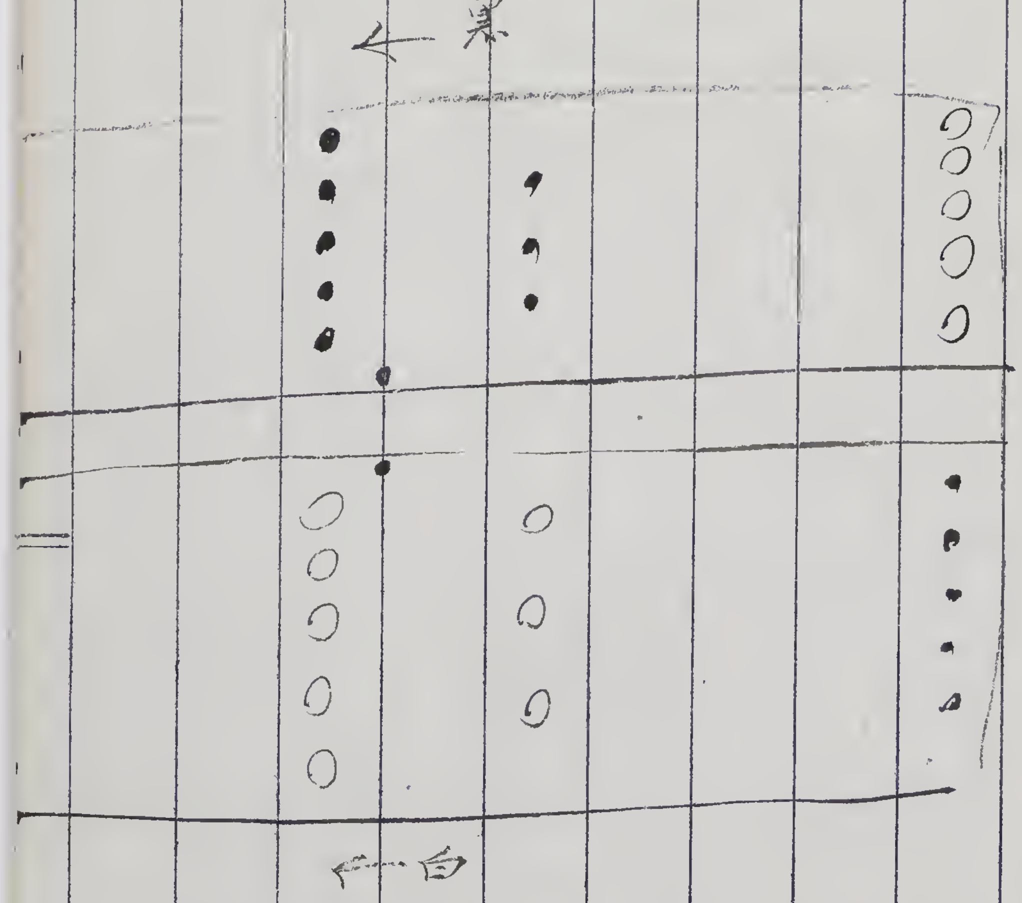
雙陸式

一一（重一 デッチ）

二二（重二 ヂエウニ）

六六（重六 ヂウロク）

右三手ノ内ニヨリワキモノニ進マシム

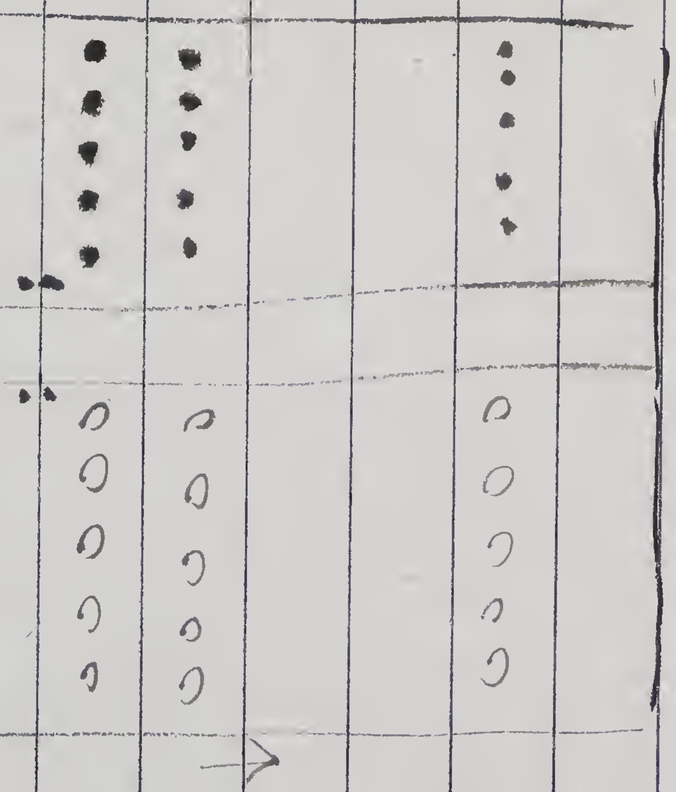


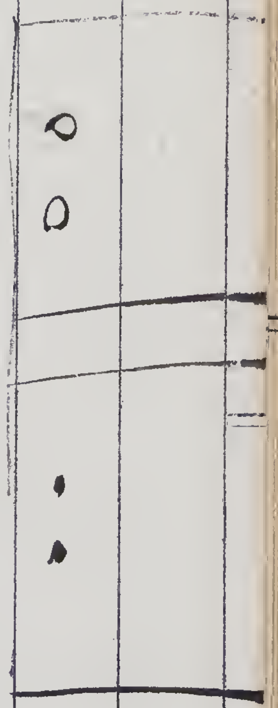
入破 オリム

ギヤア(三) 六六ト除ク

キヤア(二) 五五ト除ケ

ア今一度打

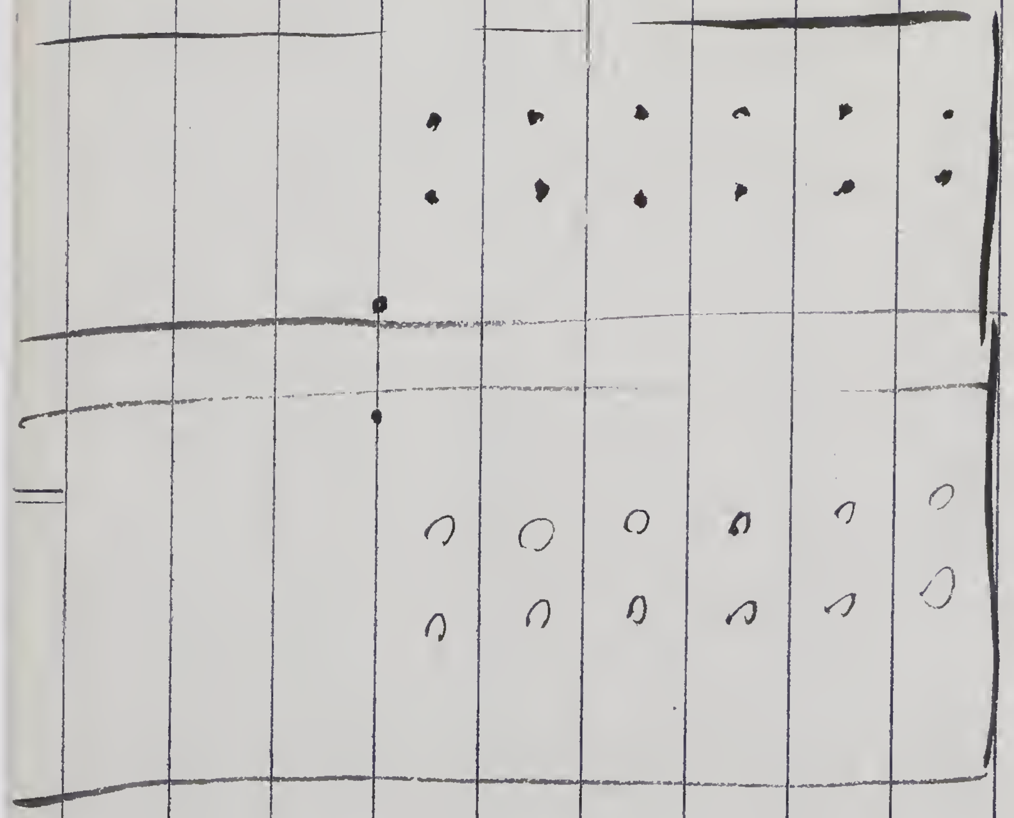




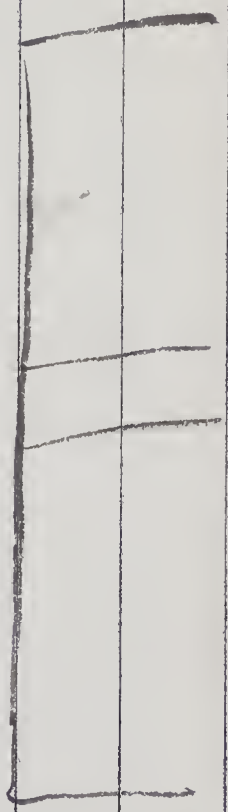
廿二升

三一打

三一ハ半途勝



一地アノ六地マデ外ヨリカゾフ
一行　ニツナラブ
菓石　一ツノミ



名目抄
小朝拝　元三　御弓奏　大元御法　御薪
曲水　賭弓　着鈦　御卜　御斎　定考　返読
朔旦　梱本　即位　御禊　脱屣　石灰　国忌
闕腋　嫁娶　除籍　藤次　印鎰　鳴板　八卦
八音　御装物所　賢聖障子　軒廊　小安殿
後涼殿　内侍　典侍　掌侍　刀自　御樋洗　薬童子
生物　花族　職事　史生　侍医　新院
判官代　布衣　竪児　元子　叙位　廓下　縹繝
覓旅　沃懸地ノ太刀　緂　金魚袋　烏皮　半靴

胡蝶　空頂黒幘　奪情從公　覓勢　喫周　玄上(ハルカミ)

自明　朝成　敏久　積善　廉名　懐忠(ナリトモ)

西清古鑑四十巻錢録十六巻合二十二本四帙

奉旨開列辦理西清古鑑諸臣職名

監理　和碩莊親王臣允祿等

編纂　〻〻吏部尚書臣梁詩正等

蝴蝶装

多紀元惪医心方跋云、

册不綫装、每葉頁頭粘連、蓋宋人所謂｜｜｜

者

○大鏡
井上通泰云源通方作なりと
○新葛園集十巻
井上通泰云神谷善右衛門藤原朝英作る初小四氏
享保八年癸卯赤坂紀邸に生る享和二年壬戌三月二十四日歿、法名壽翁院殿釋西入善了居士、妻文化三年丙寅三月十九日歿、年六十八、法名壽松院殿釋妙瑞善意大姉、朝英ハ鮫橋千日谷一向宗林光寺に葬る寺は紀伊皇倫卿の所選なり新葛園集は宗直卿令じて作らしめし

にや又控日蓮一巻の作あり

○真隆日記七十巻

中山業智作、孫隅十郎、孫真隆、琵琶洞、江戸町奉行所與力、寛政十一年己未十一月二十日生、日記ハ弘化三年ヨリ元治元年ニ至ル元治元年六十六歳ニテ致仕未詳

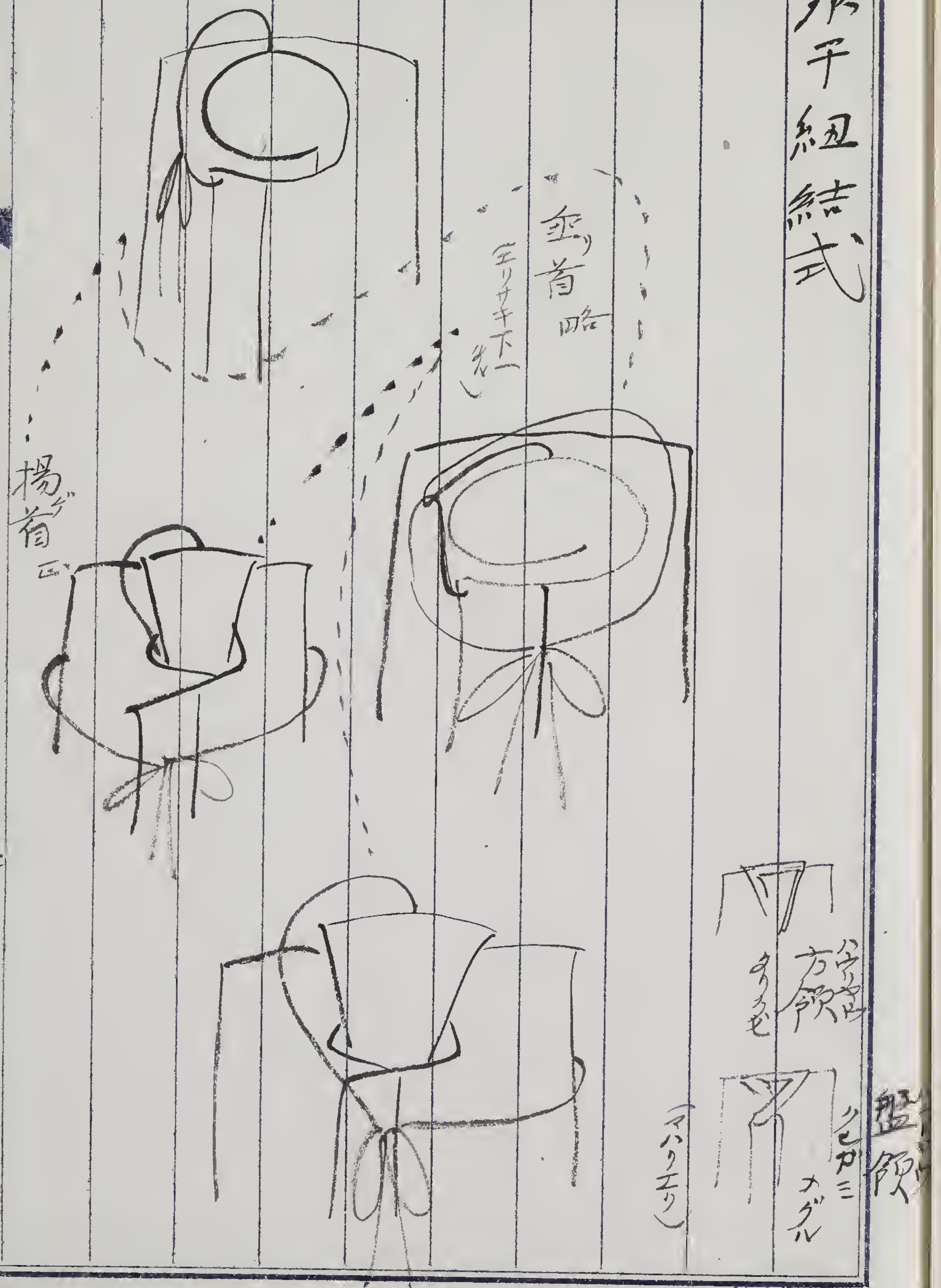
○鋳式

羽当沙　大型沙範

撥蝋　蝋型泥範

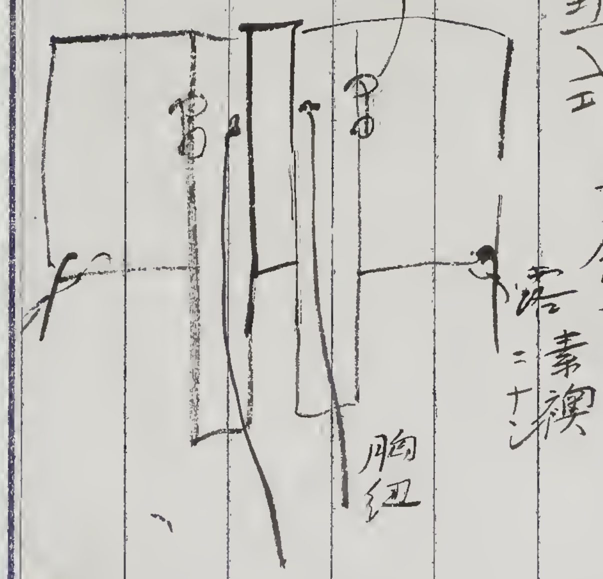
右梅巷雑誌鋳物法に見えたり

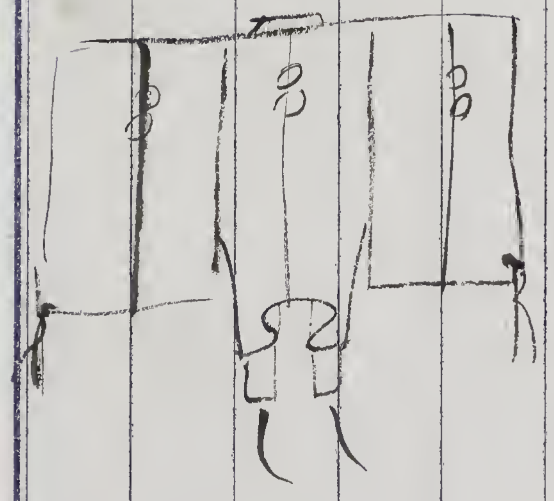
水干紐結式



水干ハ三條院長和ノ頃ヨリ有リ足利時代ハ直垂ヲ常服トシ康正ノトキハ束折ニ大口ヲ重ネ猶進ミテハ水干ヲ着ス後世流鏑馬等ノ服トナル袴ハ葛袴ナリ指貫ヲ用ヰズ

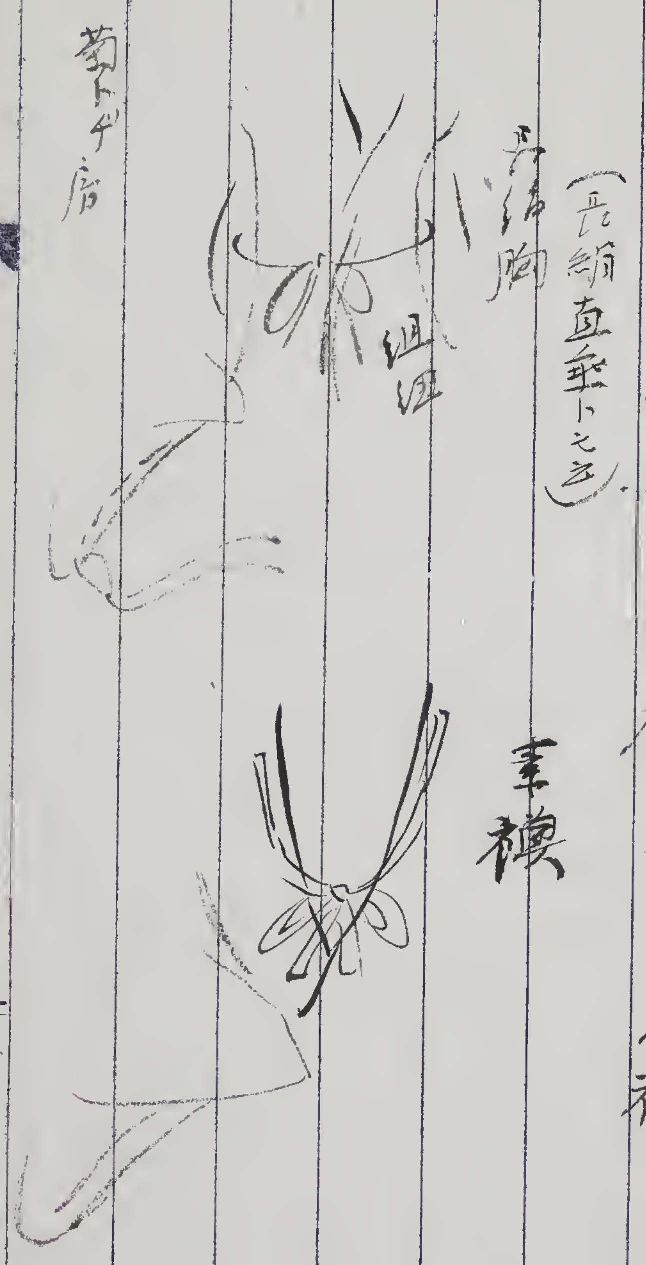
直垂式 方領ナリ





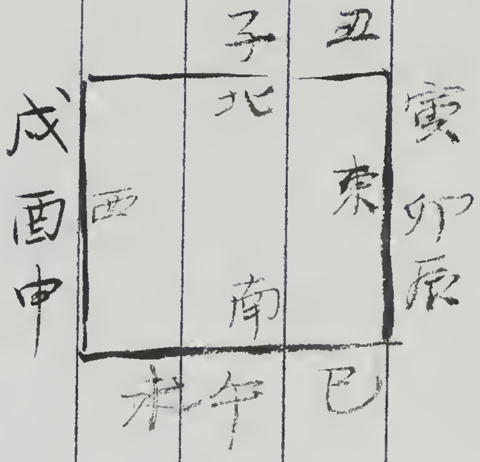
元服

凡元服前ノ姿ニ児姿（髪ノ端ヲキラズ）ト喝食姿（髪ノ端ヲ切サル）トアリ
児ハ長袴、喝食ハ素襖ヲ着ス小袖ニワキアケ（俗ニハツロ）



アリ 梧神ト云フコトナシ

元服ノ日ハ吉日吉方ノ勘文（カモン）ニヨリテ定ム 鬼宿日ハ
何ノ祝ニモ宜シキ吉日ナリ
二月十一日 二月九日 三月七日 四月五日
五月三日 六月一日 七月廿五日 八月廿一日
九月廿日 十月十八日 十一月十五日 十二月十三日
吉方ハ玉女又ハ闇神（キンカミ）ナリ 玉女ハ其日ノ支ヨリ九ツメ（子
ノ日ハ申）闇神ハ三ツメ（丑ノ日ハ卯）ナリ 北ヲ得ルトキハ
玉女ヲ闇神ニ又ハ反對ニ改ム



當日童子著座 理髪ノ人烏帽子ヲ童子ノ右前ニ
オク 役人打乱箱ヲ童子ノ中前ニオク 役人泔坏（ユスルツキ）
ヲ左前ニオク 理髪ノ人検授ス 打乱箱ノ役人櫛巾ニ
包ミアル箱ヲ右膝ニ方キ開ク 泔坏ノ役人坏ヲ箱ノ

前ヽ中ノ上ニオク　理髪ノ人童子ノ役ニ立チテ理髪ス
公家ハ童子ノ前ヨリス　平元結ヲトキ櫛リ水引ノ枚結シ小元結三巻
ニテ切ラズ小元結ヨリ一束ノ折ヲ水引三巻ス、檀紙ヲ竪
二ツニ折リ折メヲ髻ノ下ヨリアテ折メヲ左ヨリ引上ゲ髻ノ上ニ（鬘ノ結ヲ巻ク也）
キセ右ヨリモ紙ヲキセ巻キ水引三巻サ結ヒテキラズ左手
ニ柳ノ手板ヲトリ右手ノニ鋏刀ヲモチ小元結ト並ニノ水
引トノ間ヲ切ル　蹲イテ髪ヲ箱ニ納ム三尺退キテ坐ス　役
人烏帽子ヲ童子ノ前左ニ向ツス　加冠ノ人　童子ノ前ニ坐シ
紐セ　ムツカケヲ二ヒ　ウシロノ留ノ針ヲ髻ニサシ退ク　理髪ノ人
細櫛ニ水ヲツケ左ニ掻右ニ掻笄ニテ撫付ケ櫛笄ヲ箱

ニヲサメ退ク　鏡ノ役人鏡匣ヲモチ鏡臺ノ役人鏡臺
ヲ持チテ出デ鏡ノ役人鏡ヲ臺ニカケ童子ニミセ鏡ヲ
ヲサメ持チテ退ク　童子立チ別間ニテ素襖又直垂ニテ再
ビ出テ式三献等アリ
（髷ヲ太クス）
五組輪ノ烏帽子ヌ　元小結　ムスビヲ太クス　初若ノモノ
折烏帽子ハ大人ノモノ
テウツカケハ烏帽子ノ緒ナリ黒白斑ナリ
柳箱　Later ニ図アル筈ナリ

火性ハ 父字 舌音火（牙音木） 母字 喉音土（舌音火） 帰納 舌音火（牙音木）

木 牙音木 舌音火 舌音火

水 歯音金 唇音水 歯音金

相生 水生木 木生火 火生土 土生金 金生水

相尅 水尅火 火尅金 金尅木 木尅土 土尅水

喉ハ土牙ハ木ナルゾ歯ハ金水ニ唇ニ舌ハ火ト知レ

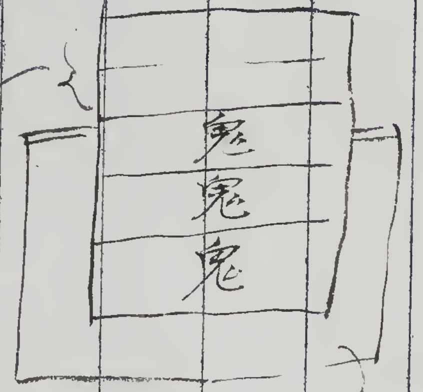
水性ノ人　牙音木　女　歯音金
火性ノ人　喉音土
木性ノ人　舌音火
金性ノ人　唇音水　喉音土
土性ノ人　歯音金

蟇目

弘文帝大友　熙鬼勝鬼勢鬼ヲ役ス　天武帝安倍清　綱ヲ以テ三鬼ヲ霞中ニ射シム　布ヲ五尺ニ切リ霞ニ擬シ三鬼字ヲ書キ二射ル　射鬼ノ事アリシハ大津皇子産レシ時ナリ

ナムノミ二脇　男子ニハ三ツ女子ニハ二ツ射ル

弓ニ挺ヲ備フ一ハ蟇目一ハ鳴弦



二ノ手ニ脇ノ向ヒハサム

阿吽印　産屋ヲ後側ニセヌヤウニ南ニ向テ射ル

宝瓶印　剣印　九字（臨兵闘者皆陣列在前）

咒文　オンマリシエイソワカ

摩利支天印　再唱

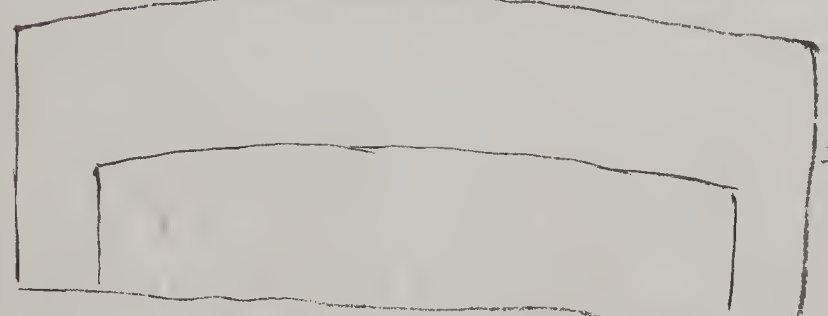
鳴弦ハ弧弦ヲ操ル三度ナリ三度目ニ弦ヲ極リテ鳴ヲ止ム 摩利支天印 呪三唱

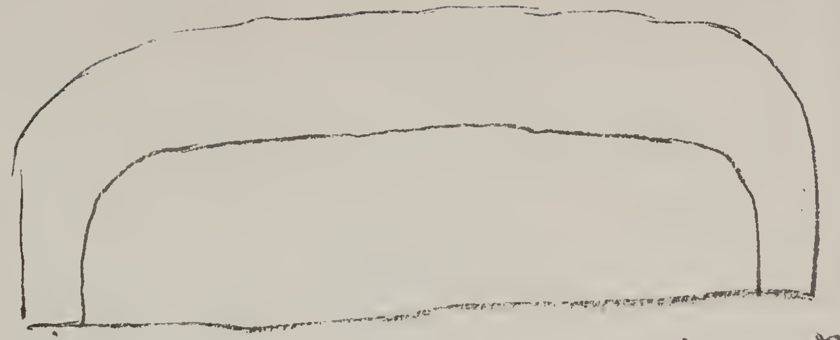
欧子形

月形

利休形

角形





光輪ハワカシ

婦衣

○下白練袷、白小袖　紅梅練貫、白細帯　緋袴

加○打掛單、五衣、白綾表着　唐衣、裳　扇　高倉家

略

下白練袷裏白絹　白練小袖二裏白絹　紅梅又繼薄、白細帯

緋袴　加○打掛、白綾小袖幸菱浮織一裏白絹　被白綾幸菱字織

〔紅梅〕練貫地、縮緬、緯紅

〔繼〕白綾又白綸子地、模様縫、裏白絹

〔薄〕白綾又白綸子地、金銀薄模様

〔ネモジ〕練

〔帯〕𦄂綵袴若下帯 地厚校又薄校一重廻、

烏子紙入 金磨（金面金） 一幅六丈八寸 前结

〔校〕唐織右厚薄 生絲地、色絲浮織

〔被〕頭上折右袖、更折左袖、 単小袖 廣領

○夏

下白練袷 縑（裏白） 白綾袷 縑（裏白） 帯同冬 紫又紅袴 腰巻 ○○

帛（裏白スハスシ）〔裙〕皆ニ領ヲアテ、両腋ニツハミ、附ニテ押サヘ置ク 被白練

○盛夏

下白練単 （経 緯 桜子、織物） 練貫袷（裏次） 帯 腰巻 ○○ 被白練

○盛夏

下白帷 白帷 帯 腰巻 ○○ 被白練

○愛敬守 下ノ胸守参看

打掛ノ上ニカク

○十徳四幅袴

人夫ノ服ナリ

○獨形トギハフコ 又アマガツ 懐中

○犬張子 懐中 犬箱、守札ナスル

○守刀ヒ首 懐中

○、シイシキヌハリ 針頭中居 前ニカキテ乗ル

○門火 出ヅルニ右ニ焚ク両側ニ焚ケバ右ヲ大ニス 婿家入
ニ右ヲ大ニス

○紙燭 松材、丸削尺五 カウヤ紙左巻 右前上ヨリ左後下へ
カウヤ紙ハ紙屋紙ナリ昔高野ノ紙屋川ニテスキシ
薄墨ナルヰ也（シナリ）ニ宿紙トイフ俗ノ薄墨ノ綸旨
小女ヲ用ヰル

○調度（テウド） 上下濁音ニ
笄刀（タカウガイ） 髪ヲカヤス切 小刀子ナリ

○胸守 大豆二粒、伊勢二字ヲ書シ梵天帝釈四大天王等ノ字
明王ト六唱シ封ズ

○手掛 女、男、待女房ノ膳房 又ハ箸初ノ臺 剣蛇ヲ緒ニテ
胸守 女ヨリ男、柱又ハ衣架ニ
式三献、銚子、提、
女ヨリ男、男ヨリ待女房 三ツ盃ニテ三々九度
加ナシ 杯取替シナシ 不食 撤
初献 雑煮 一名京雑 上置ヲ食ス 献ハ撤銚一度ニ
添肴 吸物ナリ鯉ナリ 二ノ膳ノ如シ 食ス
杯 一ツヅヽ三人前ニ 女ヨリ男、待女房 提、銚子、 撤

七五三中ノ五献

二献　饅頭　添肴　鶏ハモリ　同膳ニ組付

杯　同前　銚子、提　待女房、女、男ノ順序　撤

三献　鯉羹

杯　同前　銚子、提　女、男、待女房　撤

四ヨ献　蒸麦　添肴　鮒一コン煮吸物

杯　同前　提、銚子、提　待女房、女、男ノ順序　撤

五献　羊羹又スヰセンニモ　添肴　蒸鮑　組付

杯　同前　銚子、提　女、男、待女房ノ順序　撤

七ハ　湯漬七ノ膳マデ

三ハ　饗飯ノ膳　一二三ト三膳ツゝ（九膳ナリ）各高盛ナリ　二ノ膳ニ汁掛飯アリ汁ハ別ニアリ

一本膳ニ汁ナレ菜アリ高盛ノ上ノ小キ椎ヲ食ス
一本膳ノ菜ヲ用ヰル
一膳出デ、後ニ持来ル

瓦器　飯ヲワケヲトル　又湯ヲノム　ハ汁掛飯ノ下ニアリ（後此ニ由ヘス）　飯菜各々ノ順ニ食ス

杯　銚子、提　吸替セ　男、女ノ順（女蔵杯）　結酌　次ニ待女房　不撤　銚子提

一ツノ吸物　鮒丸ガラ　女ニ

新杯　女ヨリ男（男蔵杯）　結酌　銚子、提　撤

湯　鍔撤

燈檠　トウレミカサ（饒氏述筆法）

随地所生草品図説

續断 ヲドリコサウ 紫花甘蕊

葎草 ヤヘムグラ 立花亮ノ如ク茂生シ葉青シ

猪殃々 モグラ 尖蕚白花

毛茛 コガネハナ Ranunculus

雞児腸 ヨメナ、ノギク

黄鵪菜 マミナ 白乳、黄花、色種飛、

牛膝 イノコヅチ 石州 モノツキ

筆頭菜 ツクヅクシ、スギナ 土筆

酸模 スカンボ

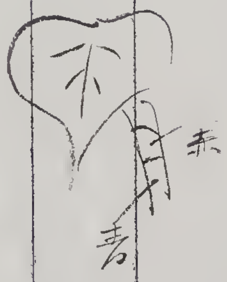
高知堂製

苦蕎麦 ヤブソバ

蓬 ムカシヨモギ

鉄掃帚 メドハギ 半夏ゅ

虎杖 タヂナ、イタドリ



苦蘵 センテリホーヅキ

麦門冬 リウノヒゲ

栝樓 アラスウリ

丫青 ヤイトバナ

萆薢 ヲニドコロ スカゴゥ

莎草 ミクリ カヤツリグサ

狗尾草 エノコグサ

酢漿草 スグサ 石州カバミクサ

繁縷 ハコベラ 鵞腸し

通泉草 ハゼ 小紫花、我庭にあし

紫花地丁 スミレ スモトリ

地錦 ニシキサウ 赤莖匍地

雞腸草 ヤハズグサ

質問本草

檀柳樹 アヲキ

水菊、荒蕪草 ハハコクサ トイサマヨモギ

獨脚蓮、蓁吾ツハ

萬葉草木考

槻 ツキノキ 貝原氏葉モ木理モケヤキニ似タリト云ヘリ 谷川

氏云強木カ今モツキケヤキトツヾキイヘリ

高木以孝春山魚譜

鱮 シラタ シラタナゴ

鱅 タナゴ

鱒 カスボラ 又 サイカハ

鯇 ヒビ、フヂカケ、シマハリ

青魚 メナダ 又 ヤド、ニシン

竹魚 鯢（ヒミ） ブリノ類カ

白魚 サイノウヲ

石首魚 ニベ

勒魚　ムマツラ
鱭　エツ
鰣　ヒラ
嘉魚　大ハエ
鯧　マナガツヲ
鱠　イボセ
壽仙魚　ワセ
魴　タナゴ
鰧　モイヲ
鰴　カマヅカ

杜父魚　カハヲコゼ
石斑魚　ヤマメ
石鮅　オヰカハ
黄鯝　ワイカ
鱓　ミヅヘビ
左魪　セラメ
右魪　カレヒ
鰈　ウシノシタ
海鰕　エビ
海蛇　クラゲ

勇魚取繪詞

鯨ノ臟腑

サヤ　舌

ノドヒメ　喉頭　ノドワ　氣管

フチワタ　肺

ヒソ　食道

丁子　胃

赤ワタ　十二指腸

百ヒロ　小腸

大ワタ　大腸

カラキモ　肝

マメワタ　腎

烏賊ワタ　脾

丸ヌ宍　心

博物館藏書抄 庚申

四

A 10
201

東京帝國大學圖書印

B 23475

000432011 5

栗里先生雜著　栗田寛

日吉神社　大山咋ノ神ナリ速須佐之男ノ子大年ノ子ナリ最澄以後日吉ノ名比叡ニ奪ハル

高良神社　日子穂々手見命、其妃豊玉姫命ノ二座ナリ豊姫ハ豊玉毘賣ナリ

八幡大神　彦火々出見尊、豊玉毘賣、神功皇后ノ三座ナリ

住吉神社　底筒之男命、中筒之男命、上筒之男命ノ三座ナリ之ニ神功皇后ヲ配ス

常陸吉田神社　日本武ノ尊ナリ　ヤマトタケルトヨムハ伊佐友彦

北朝
南朝

驛鈴　孝徳紀ニ鈴契アリ天武紀ニ駅鈴アリ剋
数ニヨリテ馬ヲ出ス　小山田詩清彦
ナリ

白壁　光仁紀童謡ノ白壁、南京遺響ニ白璧トス訓

代數　神武ヨリ今上ニ至ル（大正）

127（神功、弘文、小朝五主ヲ加ヘ又後村上、長慶、後亀山ヲ省ク）

125（上記ニ後村上以下三帝ヲ加ヘ更ニ小朝五主ヲ省ク）

124（上記ヨリ長慶ヲ省ク）

123（上記ニ長慶ヲ加ヘ又神功、弘文ヲ省ク）

122（上記ヨリ長慶ヲ除ク）　文部現行教科書

123（現ニ宮中ニテハ長慶ヲ省キ弘文ヲ加ヘタルナリ）

長慶院

義良　後村上
寛成　長慶
熙成　後亀山

銀谷院藻国作寛仁　内ノ御方
後已伊五川宮　所出不明
太上天皇　法皇
嘉喜門院出ニテ貴シ
法諱金剛心
泰成

塙保己一ノ花咲松　新葉集序ノ三代ゴダイゴ、ゴムラカミ、ハ　天授歌合ゴカメヤマ

長慶ヲ忌ミテ除ケルナラム

大日本史長慶ヲ歴代ニ加フルハ卓見ナリト寛政中

本朝通鑑之ニ先タツ

此ノ大竹親従三ツ、藤田一正、栗田寛、小中村清
矩、小河一敏

御料

天邑君(アメノムラキミ)ハ御田ノ長ナリ（紀）

大己貴神ノ領田（出雲風土記）

垂仁ノ時来目邑ノ屯倉(ミヤケ)アリ（紀）

国造ハ神武以来アリ名代（旧事本紀）

縣造ハ垂仁ノ時ヨリ記載アリ官（延暦儀式帳）縣ハ御料田ナリ

弓弭調、手末調ハ崇神ヨリアリ（紀）

太上皇ノ封戸ハ平城ヨリアリ（紀略）

節会ノ供ハ宇多ヨリアリ（寛平遺誡）

後白河長講堂ヨリ立テシヨリ長講堂領アリ（宣胤記、定家七冊）

家譜

荘園百八十所アリテ遜位後給ヘリ此ニ始ル（梅松論）在位中ハ俸給ヲ受クルゴトキ姿ニヤ

後宇多ノ御領二百六十余所アリ推算平均四万五百ロ八丁（一荘百五十五町余トミル）ニテ百〇一万二千七百石（一丁二十五石）トナル

徳川時代ノ御領三万五千十七石四斗一升五合

物部氏

旧事本紀中ノ天孫本紀（尾張連物部連）ハ古書ナリ但天火明尊ト饒速日尊ヲ同時ニ神武ノトキ入ツニセルハ偽説ナリ

仁和緒方　三代實録ノ豊後國大神宮臣ノ裔ナラム

土居得能　神饒速日命ノ宇麻志麻治命三十六世物部ノ
大小市連（オホラチ）ノ裔越智氏ナリ

大谷　臨時ノ官ナリ承平中ヨリアリ（扶桑略記）

藤原保明傳　大日本史ニ所引者第十八葉脱セリ前田家
ニテ発見ス　家藩本三代格ノ発見ト同時ナリ

小松皇墓　常陸那珂郡（今茨城郡）上入野村（今金伊野村）ニアリ高野
山ニ納骨セシトキノ分骨ナリ

片岡經春　安徳帝入水ノトキ内侍所ヲ取リ上ゲシ人ナリ
常陸鹿島大宮司中臣方岡座ノ族ナリ

注男　柳本ノ注男ハ杉本左兵衛尉貞俊ナルカ古文
書ノ證アリ

華族　古ノ于麻呂傳ニ著ナリ

殿上人
堂上
地下人

基實―近衛
兼實―九條
鷹司
二條
一條
五摂家

清華　中院　西園寺　今出川　轉法輪　久我　花山　大炊御門

宮門跡　仁和寺　大覚寺
准門跡　東本願寺　顕寺

へこが 仁錯紀 正シクハ信不美太ナリ へフミイタビナリ

字 黒川春村説

一、姓氏下添一字 菅三 菅原道真 三耀 三好清行

文琳 文室康秀 都賢 都良香 紀寛 紀長谷雄

二、取姓 朝臣 藤原朝臣良縄 宿栄 氷宿禰継麻呂

又下字取名 連城 山田連春城

三、相通名 蘇因高 小野妹子 發昭 紀長谷雄

四、反名、取上字訓初與下字訓初 君繇 菅歳 匡房

民輪 通憲 安蘭 明衡 南袁 由季

諱 延暦四年五月丁酉詔 白壁 光仁、白髪部 改真髪部 山部 改山

聖武付 有上田 三戸

山部 為山 安殿 平城、安諦郡 為在田郡 神野 嵯峨、神野郡 為新治郡 大伴 淳和

大伴 為伴宿禰 敦良 後朱雀、藤原敦家 尊治 後醍醐 隆春 改隆文

躬仁 後小松 改行房 後土御門、足利義 又避大臣等不比 国司 陸奥守名、改義政 勅義

不呼實名 東鑑 平政子 諱 頼家

主、殿 東鑑、時政主、又加殿字云々、

光仁作廣仁 見于類聚国史、未詳其故、

丙作景 賊盗律ニアリ 避唐世祖諱、

世作代 避唐太宗諱、

通稱 單行 太郎 左衛門 政功 姓 源太郎、藤左衛門

位衛 山田源太郎 又守大夫 次官 助 京職 進 内

進藤ハ修理
進藤原、
尾藤ハ尾張守
藤原
權ハ權官ニテ
臨時增員ナリ

舎人 藏 藏人又ニ訛 未詳 作吉 ○今昔物語、源
元ガ字 箕田ノ源二○餘一又與一ハ十一ナリ○滿
藤 斎宮頭藤原 加藤 加賀守藤原 ○森太郎次郎
義持ハ森太郎義泰ノ二男ナリ○小太郎○又太郎ノ祖父 孫太郎
同ジク太郎ナリシナリ 孫太郎ハ前二世諸太郎ナリ
彦太郎ノ之ニ準ズ 先太郎ハ亡父ノ太郎ナリ又千ニ作
ル（石原正明壬戌随筆）
小字、三義アリ通稱 今古奇觀 幼名、侍女名 侍兒小名
錄（朝川義菴）
伯孟 嫡長曰伯、庶長曰孟、（正名緒言）

源太、平二 梶原ノ二子ナリ烏帽子親ノ姓ナリ
片名ノ偏 源平時代ヨリアリ
米餅搗、鏨着 姓氏錄 シドギツキ（伴信友）タガネツキ（栗
田寛）餅
阿誰 太平記、菊亭女房御敵アリ日知錄、防獨
孤在 誰雲 昭訓為了雲、
誰子 景行紀、兄遠子、弟遠子アリ後紀以後ニ多シ
シ○稱呼辨正、三宅尚齋云、不欲字、宇加
女字、子、師香女云、獅子、菟久女云、商子、
麻呂 身等カ（栗田）椊ニムカ（テモ云フ（枕草子ナドニ

ヨルルカ真偽ノ説アリ而名秀吉ノ日本大ノ文出
宅ナドヨリ始マルカ
畿内 紀訓ウチツクニ 初四ツ大和、河内、難波、山背（攝之） 後
河内和泉郡ヲ和泉トス五ツトナル
支那ハ周ニ九畿アリ王畿ヲ公領トス秦ニ至リ郡
縣ヲ建テ天下皆公領タリ縣ニ令丞尉ヲ置ク漢
ニ至リテ公領ヲ郡トシ侯国ヲ設ク封建ナリ隋唐
ニ郡ヲ州トセシコトアリ郡ハ太守、州ハ刺史ヲ置ク
国 限ナリ垣ヲクハヘネトモ云フ又ハ包モ 疑ト集ト通ズ
縣 アガタハ上田ナリ陸田又高キ水田ナリ（縣村） アガタノハ

生方ナリカタ ナリ公領ナリ（寛）
御里村 御ハ里モ サトナリ下ニ村アリ
大坂 蓮如上人消息ニ大坂、醍醐日記ニ、巌助僧正
記ニ小坂、天聴集ニ尾坂トアリ
多賀城碑 文禄清録ニ見エタリ水戸光国ガ何遅
古村ニ謂ヒテ修復（久方蘭渓見聞録ニヨレバ 山田野北畠備考 世帯垣）
セシム（光国名陸奥守某書）
坪ノ石文ト称スルハ洲ナリ坪ノ石文ハ紬中村ニアリ其
地ハ南アノ北部七戸ノ壷村ナリ之ヲ混ゼシ始ハ竊
国風土記ナリ長久保玄珠ガ東奥紀行ニ之ヲ

弁ズ

荘園 墾田又原ヲ院宮又寺ニ賜リ開墾シテ別業トシ又

賜田ヨリ起リ

功田ヲ上ニ出（ナズレテ私有シ

社寺ノ寄附田ヨリ起リ

ナドセシナリ 續紀元正聖武ノ時ニ権輿ス 賜田ハ推古

以下ニアリ 功田ハ續紀文武等ニアリ

荘園ニ領家（領主、本所）庄長（庄領、庄司）アリテ租

庸調壊ル

夷灊 伊自牟（古事記）伊甚（書紀、國造本紀）

10

石見 石海ナリト小篠敏云フ

掃守 古語拾遺ニ天忍人命作帚掃蟹、因蟹守、漢、

今俗謂之掃守者、彼詞之轉也

周布 スフ伊勢ニアリ

但馬 橘守

十陵五墓

一 天智 山科

二 春日宮 田原西

三 光仁 田原東

四 高野氏 桓武母 大枝

五 4 桓武 柏原

六 藤原氏 長岡（高畠）

七 5 平城 楊梅

嵯峨 陵ナシ

淳和 此ナシ

橘氏

八 崇道 八島 桓武庶子

平城 嵯峨 母

九 仁明 深草

藤原氏 後山子

十 文徳 田邑

鎌足 多武

冬嗣 後宇治

美都子 次宇治

澤子 愛宕 以上天安二年定之、天下ノ廟

良房 愛宕 貞観十四年加之

年ノ末ニ荷前使アリ

左右衽 日本ノ古ハ左衽ナリ 続紀養老三年令右襟、

（卜部遠經ノ新撰字鏡相記ニヨレバ男左衽女右衽ナリ、ト）正

倉院ニ猶左衽ノ服アリ 石河郡山中村ノ古人ニ左衽ナ

リ

榊 天石窟ノ故事ヨリ起ル

殯宮 アラキノミヤ 允恭紀ニ 殯宮大夫アリ 敏達 天武紀

等 殯宮アリ 七日七夜又八日八夜ノ哭 記紀ニアリ

奠(ミケ)ハ景行紀 天武紀 持統紀ニアリ 禰義(ネギ)ハ奠ヲ

上ルモノ 余比(ヨヒ)ハ尸ナラム 古ハ比自支別(ヒジキワケ)之ヨリ出ヅ 景

行ヨリ後 遊部(アソビベ) 垂仁ノ後 出雲 君ノ裔ナリ 明応九年ノ山事記

後土御門 ニ 白木棚 [illegible] 誄 シノビゴトハ景行 敏達紀

以下ニアリ持統紀ニ皇太子ガ公卿百寮ヲ率テ奠
スルコアリ又同紀ニ皇太子百寮国司国造ヲ率テ
陵天武ヲ葬ルコトアリ 殯宮ノ衆ハ天武紀ニアリ 棺材
ハ板(マキ)ナルコ神代巻ニアリ クサマキ又アスナラウ又サハラナ
リ石棺ノ記載ハ崇神紀ヨリアリ 陵ミサヽギハ鈴
木重胤御小抜カトミユ 蒲生君平山陵志、谷森種
冢オクツキノサタヲ見ヨ 轜車ハ常陸風土記ニアリ
崇神景行ノ頃カ又紀ノ大化二年三月ノ詔ニアリ
令ニモアリ 令集解ニ喪屋、小屋形アリ 手輿タゴシ
ナラム 牛車ハ葬禮次第ニ見エタリ 導衆ハ令ニアリ

陵ノ鳥居ハ左経記等ニアリ 手火(タビ)ハ萬葉集ニアリ 葬司
造山陵司等續紀以下ニアリ 倚廬ハ文徳實録以下
ニアリ 十三日除服ハ續後紀ニアリ 素服ノ錫紵ハ細布
ノ浅黒(ウスクロ)染ナリ 除服衣ハ白ノ凍衣ヲ除クナリ 鈍色(ニビイロ)ヲ
用フトハ紫蘇芳等ナリ 素服ハ中古ノ鈍色ナリ 花田(ハナダ)
ハ薄色、柑子ハ蘇芳ニダウサヲ入レ黄ヲ帯ブ 藤衣
ハ総称ナリ 椽(ツルバミ)ハ四位以下ナリ 碑ハ天智紀以下ニアリ
祇園精舎 舎衛国須達長者立ツ 徳川家光長崎大
通辞島野兼了ヲ造リテ図セシム 四面ニ門アリ 本
門西ニアリ

本居大平 初名稲懸十助重穂ト云フ松坂宿魚町ノ豆腐屋ナリ 仁上純モ亦水ノ下市三丁目ノ豆腐屋ナリ

ウルマノシマ 公任、オホツカナウルマノ島ノ人ナレヤ我言ノ葉ヲシレラズガホナル、返シ、ハルカナル其島人ノ言ノ葉ヨチカトハ見ケシ風ノ便ニ、新羅迂(鬱)陵島ナリ(清水濱臣)チハ肥前ノ値嘉(知加)ナリ

室、八島 下野那須ノ大野室、蒔室、逃室、糀室、野ノ室、室ノ井、岡室、板室ナリ 伊吹山ハ那須ノ岳ナリ

土殿 倚廬ノ寝苫枕塊 礼記問喪 ナリ ウツホ物語栄華物語ニアリ

濱洗餘滴

ヤンコトナシ 無止事、貴シ、又不得已

メザマシ 目モスサマシ、目ニアマル

アイナシ ワキマヘナシ

ハシタナシ 弱キモノハ強クアタルナリ

心モトナシ オボツカナシ、心イラレテマタル

アヂキナシ 無味氣、センカタナシ、ニガニガシ

上ズメカス 上衆メカス

ワクナン　無理、此上ナシ、センスベナシ

心クルシ　氣ノ毒、心ニアンゼラン

ウチ橋　移シ橋

オヨスケ　老付、老人メク

アヘナシ　婚合ナシ、力ヌケタリ

ウレロメタシ　背目痛、カボツカナシ

ラウタシ　愛ラシ

ラウラウシ　功者

カタハライタシ　傍痛

タイタイシ　タユミタユム

ウタテ　別様、新撰万葉集　轉、　カサナリスギタル、コトサマ

ニオモハル

カクレワヽ　カクレツカクレツ

彦山　式内ノ天津日子天乃忍穂耳命ナリ　後天台宗

ノ山伏居ル

黒須白須　佐賀ノ関ニテ伊豫ノ佐田ノ岬ニ面ス

田所　古文書ニアリ荘田ノアヅカリナリ

若党　明徳二年ノ文書ニアリ（寛）

中間　保延二年ノ文書ニアリ（寛）

八丈絹　島ノ名ニヨラズ　久安、応徳、永保頃ノ文書ニ八丈

絹、六丈絹、四丈絹アリ
タエマツ、チヤウチン、ラン（ロウ）ソク　応永ノ文書ニアリ（寛）
舟ノ名ノ丸　文安三年ノ文書ニアリ（寛）
難波ノ梅　攝津國河邉郡ヵ南難波村（攝陽群談）

運上　東鑑等ニアレドモ税ノ義ニハ室町ノ末ヨリ云フ（松屋叢書）

宿紙又紙屋紙又カンヤ紙　藏人所ノ反古ノスキカヘシナリ（山田以文）

神主　大若子祖度會一人ニテ内外宮ヲ兼ヌ後御氣ノ二字

兄出ハ内宮ノ祢宜、志己夫ハ外宮ノ祢宜ナリノ内宮荒木田氏ニウツル

八景　瀟湘ニアリ西湖ニハナシ大明一統志八景臺ヨリ出ツ（槐記）

大石良雄女　茶屋宗古ノ子婦トナル媒半右衛門（半白閑話）

簾籠（スリハタゴ）　近ニ旅具ナリ賊ノスリハスリニ入レテ逃グルナラム（夏山雅談）

一筆啓上　寛永ヨリ始マル（同上）

人丸墓　播磨、大和、石見ニアリ大和ノハ無名抄ニ、和

州舊迹幽考、南都記ニ見エタリ

儀　三代格 承和十年太政官符　延喜式ニアリ

潤背　前田家ニ藏スル書ナリ宣旨升ノ寸法アリ大日本史食貨志之ニヨル

寺　豊浦寺ヲトヨラト云ヒシヨリ出ヅ（潤背）

諸大夫　四位五位（同上）

關　關東西ヲワカツ關ハ近江ノ會坂、美濃ノ不破、伊勢ノ鈴鹿、越前ノ愛發ナリ此坂東ハ伊豆足柄山ヨリ東ナリ

クヘ　塞クナリ新所ニ存ス、クヘゴトシリ之十八（興清）

朝臣　後鳥羽院禁ジテ五位以下不書ト云フハ非ナリ上下皆書ス（松屋叢書）

元號訓　東寺文書抄

応永　オウエイ

建長　ケンチヤウ

建武　ケムフ、ケム

明徳　メイトク

延享　エンキヤウ

觀応　クヱンヲウ

嘉禎　カテイ

文永 フエイ

正応 正オウ

元亨 元カウ

元弘 ケンコウ

健児 チカラビト 皇極紀 コンテイ 平家物語

高天原 都ナリ天ハ天ノ原ト云フ 紀一書ニ天照大神乃入天石窟而閉着磐石云云、故令八十万神於天高市而問之、鴨祐之大八洲記ニ大和国高市郡日神所都之地也、度会延佳ノ説考フヘシ

大日孁 大日ハ午ノ日、孁ハ女ナリ 旧事紀ノ推古、紀記ノ元明

元正皆女帝ナルガ故カ（右二條覧）

何子 興清云ク貴人ニ限ラズ女ノ何子ト云フヲ続伽婢子三巻ニ牧子、龍子アリ

一揆 中村某ノ奇異雑談集ニ侍旗ノ紋同ジキ組ヲ花一揆、桔梗一揆ナドト云フ後ニ土民一揆ヲ土一揆ト云又後ニ只一揆トノミ云フ

カラ有三義 嘲(カラ)ハカラ衣、カラ玉 漢土(カラ)ハカラ藍、カラ桃 機(カラクリ)茂ハカラ臼、カラ梶、カラ傘、カラ竿

（荒木田久老）

晩稲 オミシネ、オソイネナリ夫木集清輔歌

鬼　生飯（サバ）ノ鬼神ニ祭ルユヱ試食者ヲ鬼ト云
吉良　徒然草ノキツリヤウ唐書百官志尚乗局ノ下
ニ吉良アリ
持　左傳昭元年、鄭子羽謂子皮曰、子與子家持
之、（勝負ナキヂナリ）
訓
花山院　クハサンヰン
舞御覽　マヒゴラウ
官奏　クワンザウ
五條為學　タメスケ

橘廣相　ヒロミ
菅清公　キヨトモ
小槻晨昭　マサテル
流俗　珍重　ナホザリ　モテハヤス
久叙雅實　マサミ
横笙　ヨウシヤウ
三月盡　ジン
大荒木ノ森　アラギ（大殯息（アラキ）死ヲイム）
笏　シヤク（骨ヲイム）
奏定　ザウカウ（薨奏ヲイム）

10（加製

致仕　史書致仕、始於天平勝寶八年　橘諸兄致仕、
平章事　參議ナリ　續後紀承和十三年和氣
　眞綱ノ條ニ見エタリ
一里冢　日本橋ヨリ築ス慶長九年ニ築ク（春村）
ハヽカノキ　トニモチフ今名ミツ、ウハミツ又ミツメサクラ、
　朱櫻（柳原玄輔）
カナギ　古言ニテ今梅又キナギト云フ（平維亨）
禮樂刑政　多ク續紀文武紀ヨリ出ヅ（同上）
樂　温公通鑑、梁武帝紀、回波樂、胡三省註　樂
　音洛、（奥田總四郎士亨　東滙門）

10（加製

地頭　頼朝地頭ヲ置ク唐書ニ大曆元年有地頭
　錢無斂二十トアリ頼朝一晉室耳ニ似タリ云々
　（木㷡卿撈海一得）
畜生　罵言ナリ後漢書、劉寬傳（集聴錄）
實語教　雜談集ニアリ無住以前ノ書ナリ（同上）
以金　宋代ノ書ニ字連綿セル字對ヨリアリ（河村）
　益根
黍原　和泉国和泉郡桑原井ニ雷墜チテ宿ルメ
　ラん
宇合　ノキアヒ　紀旧點　ウカフ水鏡　ウマカヒ　奥開万〇一作　葉考

馬養　續紀

筑摩神　近江ナリ御食津神ナレバ鍋モテマツルカ

魚袋　随身符ノ木契魚形ヲ入レシ袋ニ魚形ヲツクルニ

ヤ

カシハ　槲又柏、式ニアリ　檞カサヲ葉盤柏トモ云フ

アカメカシハナリ　カシハテ、カシク同根ノ語カ

神代山陵

日向國那珂郡宮崎村鵜戸山麓鵜草葺不合尊

ノ陵カ

同穗北児湯郡穗北瓊々杵尊ノ陵ト云フノ

同穗北児湯郡西都原サイトバル木花開耶姫ノ陵ト云フ

同那珂郡油津ノ古墓、海獣鑑ヲ出ス

同穗北郡河内村大冢ニ火闌降命ノ陵ト云フアリ

同郡赤江川ノ古墓

同郡鮎野ノ郷木花山ノ古墓、神社考ニ瓊々

杵尊ノ陵トス

10 (加製

柳庵雑筆　栗原信充

享徳元年ノ堅義日記ニ餅米四斗一升四合五百文トアリ　其桝九合六勺余ナリ　一斗ノ價百二十文七分ナリノ猶桝ノヘリヲ算スベシ

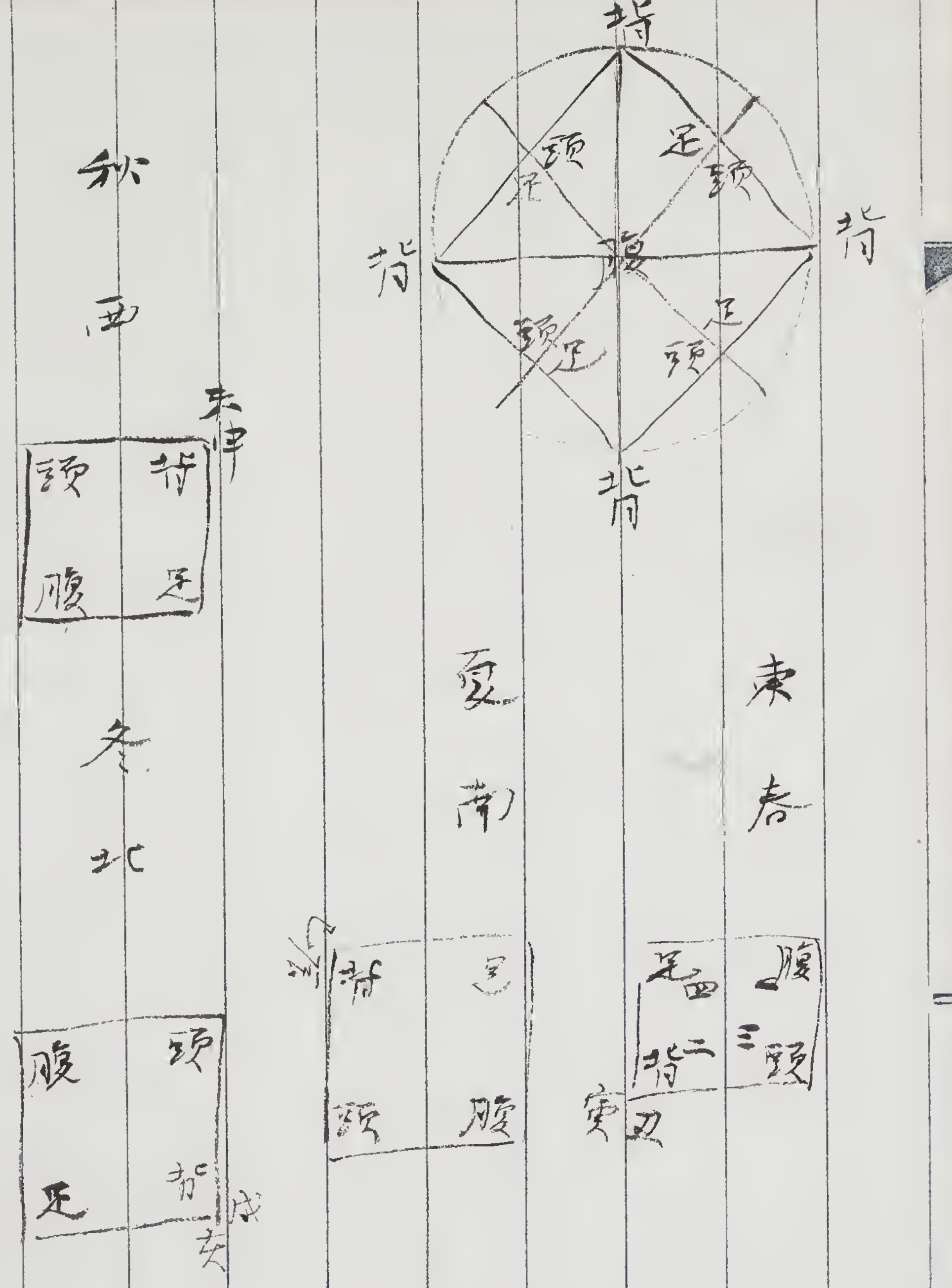
四物成百石ハ四十石ナリ（物成ハ今イフ収納カノ）

周六尺ヲ歩トシ歩百ヲ畝トス　周六尺ハ曲尺四尺五五八六八　一畝ハ五十七歩（坪）余ナリ

令ノ雨ハ十一匁二五ナリ

君ノキモ馬ノウマ播穀ノハト皆字音ナリ

龍伏ノ法



鷹飼ハ百済ヨリ傳ワ

四階十六官七十三小割アリ四階ハ検校別當勾頭座頭

座頭ハ市廓舎ヨリ出ヅ市廓舎ハ延暦十三年ニ作リシコト

日本紀略ニアリ山城ノ座ニ山城ノ産物ヲ置ク

商人ハ古刀アリ太刀ナシ應仁ヨリ太刀アリ天和三年禁

ズ

大小ノ始ハ今ノ太刀刀子ナリ

玄関ノ名古ク東山御所ノ指図ニアリ

邵士梅字曙暉ノ妻三生シテ夫婦トナル 王士禎ノ池北偶

談ニアリ

職原鈔ノ人品

親王
公卿
諸王
諸臣

一ノ人
公達
諸大夫
侍

五位
六位侍下北面
諸司官人
親王大臣以下諸家條勤

譜第
放埒

萍ノ跡　備立綱

行方　常陸ノ郡名、ナメカタ、行列ナリ

潮来　常陸行方郡ニアリ浄見原天皇建借間命ヲ遣シテ賊ヲ討ツ賊痛殺セラル「イタクヒル」云ヒシ（イタクシテ）ノ里ト云フト風土記ニアリ板来トモ板久トモ書ス方言ニ潮ヲイタト云

小篠ノ鍍、称大記、浪田傳文学

稲負鳥

ニハタヽキ

トロキサシヘドリ　尾ヲ上下ニ動ス

カハヽナナミ鶺鴒　尾ヲ左右ニ動ス　北方ナリ

石見アリ出デテイハミヤキレイトヒフトモフ

加州ニテカオトイハミコケイナキトセシカ

ヱビス　七福神ノヱビスハ彦火々出見尊ナリ蛭子ナリ

ツブリ　頭ノ圓キヨリ名

磨　オドナシトナリ

杜　社ノ訛

トリヰ　止處ト、トマリ井

古衣　フルギハフルタヘ

梅園日記　北慎言

茅柴　アレチ酒

壓茅柴　カクシツクリノ酒

後　臣下ハノチノ人トヨム後京極ハゴトヨム

之　字ノ足ヲヌトキ入レ書キ下シニ有クコトアリ楷ニ入レ草ニ有

クト云ハ誤之

本間眠雲　潑清ナリ鴛鴦集ヲ著ス

幞　冪、細、巓、縶、蓋頭、蒙茸、カヤ、ワタバウシ

屏息　抵頸、屏氣、モノヲソナフルトキ鼻ヲオホフナリ

春画　春宮図、笑籠底書

一銭切　一銭以上ヲ盗ムモノ皆斬ルナリ支那ニモアリ隋書刑
法志、通鑑後梁紀等、
紙燭ノ詩又歌、金椀ノ歌　南史ニ刻燭為詩又打銅鉢立韻、
堅腕則詩成、
紙馬　紙銭ナリ絵馬トナス南部ハ称之
夾食　ハサミ将棋ナリ　蹙踘、蹙戎、格五、跳虎ハ蹴鞠跳ハ
トビ将棋之
山女　又山姫ハアケビ　野老ノヲキナハトコロ之
ケガレ　伊勢貞丈ノ白藤蔓、顕昭ノ散木集注、〇花朴
子金丹、刷、襯袍、斉民要術後魏賈思勰、懐備物、酉陽雑
俎、廣知篇、事物紀原、太平寰宇記、退邑纖、文昌雑録、慶元英
被停、物理小識明方以智　忌厭、
望　カピバンナリ菜物名トナス　楊箭ノ小行日録
竹馬　鷺足薬集　匿歩之　サンギレ譜、薩摩　高足保元物語　前足日本書紀
迟郎　高馬、蹇歩之　竹馬亮宮ノアララギ洛陽田家記　〇双枝属脛
子捌　接脚住日　長蹻隋書　遠遊、戯升庵外集　躧蹻同上　踹高
蹻　紺事物珠　躧高橇　躍字
ホドコス　施茶前三集　清呂陽ノ薪　義茶弘治八閩通志
カタナタマ　弄刀法苑珠林　躍剣劉梁七挙　跳剣隋書
武　虎ナリ唐祖諱

帝累 子午卯酉

零牙 上ナルハ床下ニ下ナルハ座上ニ瑣砕

アサリ 山川ノアサリナド水ノ浅キナリ云フ猶疑ハシ

雨分馬脊 續博物志

句讀 俗此紙、旧此歎、在後拾遺定頼卿話ニ口末同旅日ト 此ト云ニ句ナレバ上文ヨリ應遲敷ト云ト

牙行 俗ニ經紀、スアヒトリ

客作 傭夫ナリ

吹花 九月九日杯中ノ菊花ヲ吹ク

風車 紙風車、風旋風輪

蚰（ミチオク） 爾雅翼、蚰蜒

上戸 明ノ陸經儒ノ白石樵眞稿ニアリ又大戸ハ餘冬序

錄

饅頭 三国ヨリ前ニアリ曼ハ脂ヲ覆フノ義カ頭ハ餤

ノハジメカ 脂ハ釋名ニ衛也、饅ノ正字ハ糗

ケンズイ 間食 朝夕ノ外ノ食也 硯水 エヲ冷ギラフ也 運歩色葉集 玄水 本草 何ゝ記類

刀鏰（デン）工 カミユヒ也

壯 灸ニ壯ト云フ此壯人爲法トモ 狀 假倒ナリトモイフ方言、草

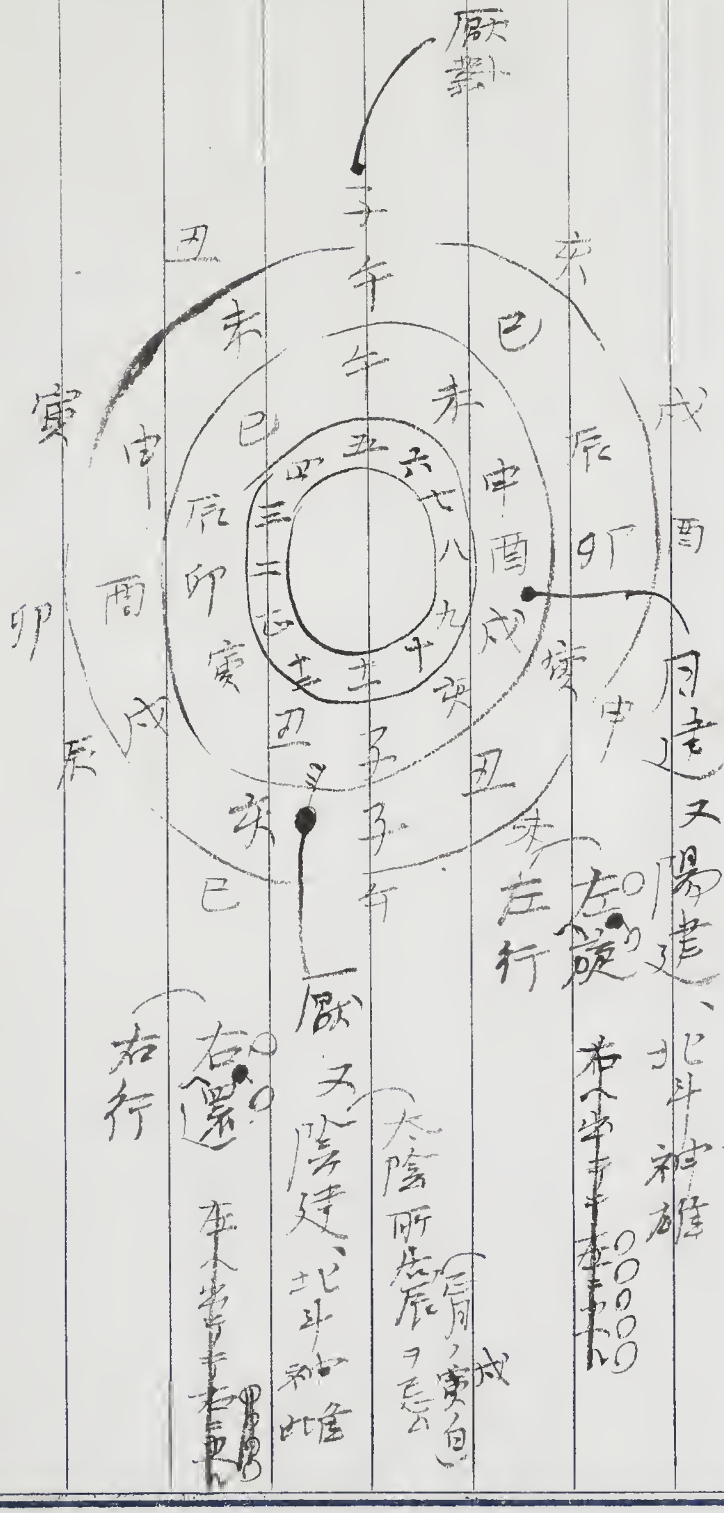
木刺人 弟五壯トラフ此カ

内横 華氏中藏經

アツケ 猿衣等ニアリ聖濟總錄ノ暍就論ニ依ヨ白霜氣

午砲　時鼓式　午ノ貝　赤堀氏ノ歌 奥儀抄ニアリ　時螺 権記　吹貝 小右記 螺鐘

建ト厭　淮南子天文訓



ムネアゲ　上梁　宋朝事實

種引　寶引 西鶴　闘巧記 擲環

素　食素 Vegetarianer 素面 オヌエ 又素、素壊、塑、

六十一　華甲ト云フ華字六十一ナリ　蔔原詩話、夜航詩話　花甲又周

甲ハ六十ナリ 七修類稿等　但シ六十一ニ使ヒタル例　魏叔子文ニ

アリ又六十以上トセシハ　隠居通議 四庫全書提要 ノ係等ニアリ

甲子乙丑　金
丙寅丁卯　火
戊辰己巳　木
庚午辛未　土

象　納音　五行ニ配シタルマデ（大槻子）

海中金（東方曼倩）
炉中火　等（花甲子）

10 加製

壬癸酉 全

箕山 遺簡日、亜前梅山、予也不會、句ヲアヤマリテ箕山トス 拗スルニ
堪輿家ノ箕山ハ卓案ノゴトキ侍ルベキ形ノ山ナリ 巽
定アリシヲ一様ノ本ニシモシヲカヾシレニアラズ

タクタ島 唐ヨリシヲ朝野僉載等、嬢足

勸學院ノ雀ハ蒙求ヲ囀ル 瀚李氏ガ家ノ児童ガ

錢 錢字 一文ヲ四字ナス錢文ノ数ナリ

帶錢腰 又錢帶 腰ハ老學菴筆記ニ古ヒトヒ條ヲ俗ト
ス

苫船 又荘艇、量舩、暈舡、舩暈、泛船、辦舩

サゲ尼 垂尼ト書ス。舊記等ニアリ 髪切尼ナリ 學法女
釋氏要覧

七草打 夭鳥 同 礼ヲ逐フナリ 鬼車ノ類ト注ス

ツヌクワ 甲土 雑阿含経十六

宗祇 宗長 宗祇ハ文明十二年六十、文亀二年八十二、永（筑紫紀行）
正十一年七月廿九日十三回忌ナリ 宗長ハ文安五年戊辰（宇津山記ヨリ推ス）
生、

間木 上長押ナリ

帳 説文 張衣、釋名ニ張ナリト云フ 唐書百官志ニ戸籍
計帳アリ 俗賦ニ仕ル

錯 ヤスリト アヤマリト二義アリ 唐紀 通鑑ニ 素宸ノ詩ヲナシテ
用ヰタリ
女房 輟耕記ニ 侍女房、水経注ニ 王女房アリ 代酔編ノ
東宮家女、房奩五百千ヲ引クハ句讀ノ誤
阿也都古 語義不明、大字ヲ見ヨ 類ニ君ヲ云ハ兜卒鳥ヲ擬
フナリ 大ハリコモ同じ
藍尾 唐ノ俗言ニ 藍牛尾ト云ハ非ナリ
四木 折木四、切木四ヲ ワカリト讀ミ 一伏三向ヲ コロヒト云ム
ハ四木ノ誤ヨリ出ヅ 文明ニハ 樗蒲経ニアリ
𩜨車 輪ナキ車ニテ大石ヲ運ブ、済子車ハ二輪 東京夢華録

盤 又 楪、碟 サラ
太郎二郎 太郎ハ晋書王悦傳、二郎ハ通鑑陳臨海王光
大元年等ニアリ
ドブロク 濁醪
ノ 拝ヲ行ニアヤマリ 輟耕録 切ヲ行トシ ノヲヌノトス 涌息軒底初抄
ロクシャク 力者 等 東鑑
アクガル 梱ノ意ハ己ガ処ヲ離レテ アクガルトテ 吾ノ餘ニヒマモトム也 後
輟、我身アクガレ出ん ト夢ヨリ見ん ナドアリ
賀洗児 楊万里 賀ハ以遠叔四月八日洗児詩
欣容 東鑑 可醜陵園妾 ヲ誤讀ニテ醜女トス

三十六丁一里　東道又坂東道ハ一里六丁、上道又大里ハ
一里三十六丁ナリ　之所里ハ誠斎詩話ヨリ推算スルニ
百八十文即五丁一里ナリ
隠形帽　アクレ笠ナリ　經律異相引雜譬喩經
一年　元年ナノ一年ト書ス元史ニアリ又元史ノ[illegible]ミテ一年
ト書ス
蝋紙、風呂屋紙　金銀薄打チ紙
官窑　宋ノ政中ノ官窑クワンヨウヲクワンニフヒト訛リ歟
八〇ト書ス　紋路アリ款識（四四）トアヅカラズ
不宣不一　不宣ハ諸侯王上漢高祖疏ニ出ヅ不一ハ王右

牟ヨリ出ヅ　不乙乙トモ云フ一説ニ不具ノ艸ヨリ轉ズ
座　石燈一座ハ例アリ
アハセ　飯ノ菜ナリ「御ソヘオカズ」ハ湯殿上日記ニアリ「メグリ」ニ
又「コマカリ」同じ
卯酉　大鏡バウス
雨如車軸　甚也
ミノツク雨　古クハシノニフル
古算員　六七八九、丁丌丌丌又十十十十、孔廣森經学卮
言　法信解ヨリ見ヨ
猴郎達樹　即達、刺脱、即當、邋遢、闌單ハ整ノ容

孤老　孤ハ官ナリ通俗編等

付火　書ニ云フ广慶翻ヲ古ニトス

藕絲　絹ノ上品ナリ宋ノ蔡條ノ鐵圍山叢談

多　銭ナリ宋以下ニアリ穴　銭、泉カ　篆

下酒物　遊仙窟ノ讀訓

添黈ト　酒ニ水ヲイルノナリ

コウトウ　口頭、鴨頭、鸕頭ハ柚ナドノツギタルナリ

考官　審査官ナリ徐氏筆精

潤筆　道古堂詩集　杭世駿

𢴤偏　シヤウ誤讀ベシト云フギヨリウニテアメルイレモノ

俳諧　諧ノ言ウツリテ誹、䮃䮃ノ騟、詻詻ノ詻、踧踧ノ踧、

易蹝ノ縕綸ヲ綸、佼好ノ姣、紛悅ノ忿、環轅ノ轘、

璇璣ノ璣、朏髀ノ髀、淫佚ノ泆、濯溉ノ溉、駬騄

ノ騄、髑髏ノ髏、瑚璉ノ璉、襁緥ノ緥、叶洽ノ汁、㵧

柯ノ柯、鰅鱅ノ鱅、橘紳ノ縉、陽樸ノ樸、幅娥ノ

媢、環餅ノ餅、韜凌ノ凌、蹊徑ノ徑、炮格ノ烙、

陟岵ノ岵、桮棬ノ棬、爛漫ヲ爛、枯槹ノ槹、

喫詬ノ詬、摎悍ノ悍、餑餠ノ餑、憮僊ノ僊、

櫨鑪ノ鑪、幅幘ノ幘、嬈饒ノ嬈、躪轢ノ轢、

瑞堙ソ湮、櫎糊ノ糊、猛榛ノ榛、結襘ノ襘、躊

駮ノ騎、紕謬ノ謬

布袋　渠負明兩子（延喜十六年）入滅、空海ヨリ八十二年後ナリ古

阿彌陀佛御布袋ニ似タリ

脚色　役者、後打捨

難波江　岡本保孝

嗚呼ハ烏ハ呼ニヒカレテ口ニ从フコトトナル

烏呼乎矣、也ナリ字音ニアラズ

馬、萬葉ニ往々誤リテ烏ニ作ル助字ナリ

齋宮ハ即位年ヨリ翌年七月マデ齋院ニヰテ八月野宮（西嵯峨ニ近シ）ニ入リ次年九月伊勢ニ下ル

齋院ハ三年齋院ニ居テ野宮（本院ナリ加茂神社ニ近シ）ニ往ク

大歌所ハ拾芥抄宮城部ニアリ岡本云案去トハイカナルコトカアラン古今集巻二十ニ大歌所御歌アリ猶聴ニ云ク神楽風俗等ノ如キ物ヲ司ル雅楽寮ノ外ニ

アリキ拾芥抄ハ西宮記ニヨリテ書ケルモノナリ

御書所ハ拾芥抄宮城部ニアリ和名抄ニ蘭林房、
今分為御書所、打聴云、秘書ヲ蔵スル所ナリ

雨布川ハ万葉以下アリ大和ノ吉野郡ナラム飛瀑ト云
説從ヒ難シ
内藤心齋、稲荘明、小十人組、雨布川ノコト問ヒシ人
ナリ

筋木 僊山ノ飛瀑トスルハ八雲御抄ナリ信濃トスルハ契

沖勝地 吐懐編ナリ

イチヒ、櫟 飛瀑ノニテ篇ム云ん イチヰハアララギナリ

廣東新語ノ水松ナリ柳庵筆記イチヒノイチヰトナレルハ音ノ
譌ナラム 和名抄別ニ櫟、佐久木、木可為笏也アリ

御 俗謂貴女為御、蓋取夫人女御之義也、本朝文粋註

齋 倩水漫臥之ニ從フ藤居翁ハ御息所ノ略トス

平仲 桓武—口—茂世王—好風—貞文 字平仲
貞文一作定文、平仲一作平中、余説ハ定ヲ正トス

オホツフネ 後撰作者 和名抄徴賤類、奴僕、豆布祢アリ

女中 ツボネ コレヨリ出ヅマロネスルヨリ云フカ 椛斎説

慕景 一作京 集 太田道灌家集の名也 白氏六帖巻一、桑楡
景暮、世説傷逝注引韓詩外傳、冥景之間、志在流

水、文選巻廿八樂府豫章行、促々薄莫ノ景、サ
レバ暮景集ハ
二人允和抄ハ親行、定家作ルト荒木田盛徴類字假
名遣序ニアリ
ムツキ　正月ソ　古今集、後撰集ノ端書、萬葉集五、武都
紀、同十八、年都亍、詞花集賀部、伊勢大輔ノ歌ハ
正月ノムツキヲ睦ノムツキニカケタリ
ツヒユ、ツハリ　ツヒユ、谷川云卒消ソ、新撰字鏡瘠、豆比由、レ
ツハリ、谷川云衛張ソ物ノヤウ一萌チユク二　新撰字鏡
膆、豆波利乃登支、榮花花山ニツハリアリ、源氏蓬
生ニ未摘花ノ女房侍従ガツヒエタル由云フハ瘠ナリ
徒然草ニ下ヨリキサシツハルト云フハ芽ノソグツナリ　和名
抄、擇食ツハリレ梅雨、ツユ、保孝云ツヒユノ略カ
ムスコ、ムスメ　苔ムスノムス、タカミムスヒノカミノムス、ムスブノ
カミノムス、皆生ナリ　二諸源氏帚木ニアリ、ムスメ古
今賀ノ端書ニアリ
ムコ、ヨメ　日本釋名ムツマレコ、ヨワメ　和訓栞ムスコ萍の跡
ムカツメ、嫐ノ燕石雑志ムカヘコ、ヨツギノメ　源氏紅葉賀
ムコ蜻蛉モコ　新唐書回鶻列傳　半子
マケ　設、向、任ノ三意アリ

ウハモ、ミタモ、ミヒラ、ヒラオヒ　ウハモ、ミタモ上キ下キノモ之　ウハモ、
ミヒラ、ヒラオヒ皆裙ト書ス未考
太田金蔵ノ女千枝子　保孝ニ源氏ヲ問フ
カハタケ　平家　近衛院皇后多子ノ歌ニアリ
サキノタケリ　万葉開乃手乎烏為里焉　四字ハ衍
清水濱臣　保孝先師清水氏ト云ヘリ
ハキニアゲテ　古今誹諧　タナハタノ秋脛ニ上ゲテ之
菅原詩話　東山祇園ノ南門ノ前ヲマクズガ原ト云　六
如住ニケリ

10〈加製

桂林漫録　桂川中良

石敢當　五代力士、侍隠帝、劉智遠殺帝左右、石敢當死之、見于姓源珠璣、
金澤文庫　北條越後守貞顯立、
蝦蟇仙人　劉嘉誨同、劉海人、為金相、見于磵石剩談、
流月　朝鮮流月六月、流頭日六月十五日、廿七日沐髪、
燕澤碑　鎌倉円覚寺祖元佛光禅師立、溫亭讀、
落首　略頌前太平記ノ論
節用集　環翠撰、清原業忠、號環翠軒宗翁、或此、
新撰字鏡　僧昌住撰、寛平中人、

轂轆　アゴノ手

瓦　糊紙ノ反ルヿ

篠崎維章　平娯、称金吾、號東海

春田永年　静甫、函人之

埴輪　袁枚ガ孫子不語ニ土人ト書ス

向火　背後ニツク

磁　藍紙泥金字　見于演繁露、コンシコンデイン

森助右衛門　作國学忘貝

花穣　ハリギ

呉須　子昂ノ轉倒、手ノアシキナリ

宇野元廸　中良ノ徒

相嵌　訛商嵌、出于稗史類偏、家眠之

日下部景衡　作寧居考図、

足利学校　小野篁立、儒快元中興、

灸劍　寺什ナリ出于林春斎睡餘操筆、

勾玉　拾遺記、石或以礪錫之状、

舎利　合珠カ

布語　フチヤウ

村山芝塢　筑前人、抄貝原益軒和納

10 (加製

辨卜抄　度會延經

（俗解　御宮幸和）

卜部平麿ハ伊豆国人ハ元慶五年十二月五日卒ス七十五 三代實録

中臣ノ烏賊津ノ連 日本紀 裔ニ中臣ノ紫原ノ勝村主アリ 續日本紀

兵上ハ上番下番ノ称ナリ 秉燭譚 亀卜兵上 令

寿詞ハ中臣奏ス 日本紀、式 又祝詞ヲ宣ブトモ云フ 令

殿取ハト部氏為ス賜盟條也 江家次第

吉田社ハ天児屋根命ヲ祀ル 枚岡ノ氏社ナリ 春日社ニ同ジ 吉田

家ハ其神職ナリト部氏ナリ神道ヲ偽造ス

猶熊モト部氏ナレドモ吉田ト別家ナリ

大和国高市郡鳥見山霊畤 紀ハ八神殿ノ始ナリ

春日社四座ハ建御雷 鹿島 斎主 香取 天児屋 平岡 比咩 平岡

ナリ 神名式 比咩ハ天児屋ノ妻カ

斎場ハ由基 御基ナリ 下部兼倶偽テ膽駒山、如意岳、吉田ノ

斎場ヲ云云ス

文明十八年外宮ノ火ノトキ内外宮ノ御霊吉田山ニ飛移ルト奏ス

吉田家ノ神道裁許状ニ風折烏帽子狩衣ヲ許ス 正シキハ上下トモ

浄衣ナリ（武家振ニ誤リテ白張ト云）又称ノ袍四位ヲ許シ状ニ上野

守大和守左衛門尉等ト書ス云ヲ吉田官トスフ 上野、上総、常陸ハ昔ヨリ親王任之

吉田家ノ神階ヲ社ニ置スフ櫻町院止ナラル以ズ屢請スルナリ

柳氏考　川田剛

○幾世孫トイフコト

始代ヲ加フル例　　始代ヲ除ク例

漢書表　始封君ヨリ玄孫之子ヨリテ六世トス　　前漢書　孔光ヲ孔子十四世ノ孫トス

後漢書　光武ヲ高祖九世ノ孫トス　　後漢書　劉恢ヲ梁孝王八世ノ孫トス

保暦間記　小松少将維盛ハ平将軍貞盛ヨリ九代、太政入道相国ノ孫、内大臣重盛　　将門記　将門ハ柏原天皇五、代ノ苗裔

平治物語　牛若ハ清和天皇

賢ノ嫡子　ヨリ十代ノ苗裔、六孫王
吾妻鏡　上野介平方朝臣　ヨリ八代
五代ノ孫北條四郎時政
○正成ノ氏ヲ楠木ト書スベキ例（但自署ナシ）
一、増鏡第十五
二、薩摩和田中太所蔵文書
三、正慶二年楠木合戦注文
四、岸和田氏古文書
五、光明寺蔵書残篇
六、建武年間記

七、嘉元記
八、如是院年代記
九、醍醐地蔵院日記
十、常楽記
十一、忠誓記
十二、楓軒文書纂
十三、水月古鑑
十四、三條實躬卿記
十五、花營三代記
十六、古證文

十七、天野山金剛寺古文書
十八、看聞日記
十九、季瓊日録
二十、碧山日録
子孫ノ柳ト書セシハ立入文書ノ永禄二年後ナリ
○姓ト氏トハ別ナレドモ又相通ヒテ史記高祖本紀ニ姓劉
氏トアリ
○北條ハ伊豆ノ地名、三浦ハ相模ノ地名ヨリ出デテ氏トナル 柳
木ノ地名古ク見エズ

江戸ノ市中要鑑
奈良興福寺喝食蓮宗 徳川家康ノ三河ニ在ルトキ謡
初ノ蓬萊ヲ造ル 江戸ニ入ル後大久保相模守ニ於テ時ノ
大鼓ノ役ヲ命ズ 明六暮六ナリ 秀忠ノ時十二時ノ鐘
ニ改ム 元禄十三年保田越前守ヲ経テ鐘楼堂ヲ立ツルコト
ヲ乞ヒ允サル 正徳六年 柳葺トス 宝永三年 會所址
ヨリ移轉ス 鐘銭ハ家持一軒一月永一文 鐚四文收ム
右享保十巳年六月蓮宗五世ノ孫本石町三丁目時ノ鐘
役傳七書上
又本所時ノ鐘ハ三ノ橋横川通ニアリ甚右衛門、長右衛門

二人勤ム享保十年巳六月書上、但親ノ代ヨリノ事也

○

両国橋　寛文元丑年奉行芝山権左衛門、坪内藤右衛門、大工町左衛門ノ傳左衛門

○

新大橋　元禄六酉年　請負人白子屋何右衛門

○

牢屋　天正　年常盤橋外ニ在リ慶長　年従ル

○

車善七　明暦後弾左衛門ノ命ニヨリ人足ヲ出ス○弾左衛門ハ攝津池田ヨリ鎌倉ニ入リ後江戸ニ来ル○小川笙船養生所ナリ立ツ

延宝八ガ天和元

近世江都著聞集　馬文耕　宝暦七年

八百屋於七　奉行中山勘解由、出雲守カ ノ臣中山獨ガ蔵セル中山奉行日記ニヨル

小石川南縁山圓乗寺　日蓮宗ヨリ天台宗ニ　ハ上野ノ末寺ナリ碑アリ

天和三年三月廿九日秋月妙栄禅定尼トアリ

寛文中前田家ノ足軽山瀬三郎兵衛本郷追分ノ先常信寺坂下、駒込追分願行寺門前町八百屋太郎兵衛ト称ス女ヲ七ト云フ寛文八年十月生、天和元年（延宝九ナリ）丸山本妙寺火アリ太郎兵衛ノ弟円乗寺住職ナルユヘ家ヲ寄テ往ク寺ニ寄合セル山田左兵衛　旗本二千五百石山田十太夫忠貫　八縫付ヲ避テ在

一ゑんナリ七ギ十四ト通ズ太郎兵衛翌年願行寺門前ノ新店ニ
カヘル吉祥寺門番ノ子吉三郎（六地蔵ヲ立テシ吉三道心トハ別人）ストメテ放火セシム
盗賊改中山勘解由吉三郎ヲ捕フ七ヲ入牢セシム土井大炊
頭利勝十六ノ数サツ十五以下ナラズヤト問ハシム十四ト親、名主等
答フ七ハ中山ノ猶ニアヅケラル吉三郎公中感応寺（当時日蓮宗）祖師堂
ニアゲラん七ガ書十一歳ノトキノ寄贈ヲ証トス、常在霊鷲山法華
最第一、近藤寛四年春二月、本郷相七十一生番山是ナリ天和
二年三月鈴ケ森ニテ火刑ニ処ス吉三郎同刑ヘ
白子屋於熊　新材木町（名主加賀屋長兵衛）白子屋（材木商、家附ノ娘）庄三郎女熊（聟ハ）常手代（十四年前ノ事）
忠七ニ通ズ（聟ヒサみス）大伝馬町一丁目同地主孫太郎手代又四郎聟

ニ来リ（持参金アリ）家来ノ同町（新材木町）加賀屋孫兵衛ノ手代上リ加賀屋長
兵衛ニ家ヲウラジトス長兵衛諫止シテ金ヲカス常、熊、忠七相謀
リテ又四郎ヲ毒殺セントス僕長八知リテ又四郎ニ告グ（長兵衛ノ手代太作也）
テ庄三郎ニ婿ヲカヘサセ家ハ買ヒトリテ金ヲ加ヘシム常ハ婢菊ヲシテ
ノミ又四郎ヲ傷ケシム心中トイヒテ婿ヲカヘシ金ヲ得ントナリ又四郎菊
ヲ押フコレヨリ獄起ル奉行ハ大岡越前守忠相ニテ享保十二年
十二月七日落着ス熊、忠七獄門、ヒサ、菊死罪、常流罪、庄
三郎遠放、

臺灣制度考

律　漢以前ハ刑ト云フ律ノ名ハ漢蕭何ノ律九章ヨリ始マル

例　王制ノ比ノ比ナリ小大ヨリ察シテ獄ノ軽重判ル

條例ハ律文ト共ニ發布ス

則例ハ吏部、戸部、礼部、兵部、刑部、工部並ニ有リ則令ナリ

省例ハ地方毎ニアリ

示諭　一時ノ處分ナレドモ例ノ淵源トナル

○

10（加製

地目

沙洲　瀦洲ナリ

海埔　満潮点ト干潮点トノ間ノ地

魚塭　養魚又灌漑ノ用ニナス地

業主　不動産ノ主ナリ易繋辞、富有曰之大業、唐詩、別業新開水雲辺、

契字　證書ナリ

杜売盡（又絶根）ハ根コソギ売ルナリ

帰就ハ共有ヲ専有トスルナリ

退股　帰管ハ股（株）ヲ組合中ノ者ニ売ルナリ

退戸ハ租戸ガ租権ヲ他ニ移スナリ

永退耕ハ小租権ヲ譲ルナリ

譲地ハ贈与ナリ

遜譲ハ譲渡ナリ礼金ヲ受クルコアリ

付管ハ條件付ニテ土地権ヲ移スナリ

給佃批ハ田園ヲ給出シ租権ヲ生セシムルナリ　永佃批モ同じ

又永耕、永遠招贌耕ト云フ

給地基ハ宅地ヲ給出シ租権ヲ生セシムルナリ　招税地基モ同じ

招耕又招贌ハ業主ヨリ佃人（小作人）ニ付スル小作認ナリ

贌耕ハ同上ニテ佃人ヨリ業主ニ付ス認耕ハ同じ

租店ハ家ノ賃借人ヨリ賃貸人ニ付ス税層ハ同
じ
信借ハ信用貸借ナリ又借銀トモ云フ
典ハ質入証ナリ狭義ハ不動産ニ限ル動産ノ典ヲ當トモ云フ
找耕典ハ田園ノ質入ナリ
添典ハ再度ノ質入ナリ
轉典ハ質取ヨリ他人ニ質入スルナリ
胎ハ一種ノ抵當ナリ賣ハ不動産権ヲ記スル書類ノ占有ヲ債権者ニ移シ担保トシ債務者ハ利息ヲ払フナリ
閹分約ハ遺産分配証ナリ
囑ハ遺言ナリ

定界分管合約ハ土地ノ界標ヲ立ツルトキノ證ナリ
甘願ハ事著落著ノ證ナリ
纏ハ相續ナリ
找洗ハ追増金ヲ徴スルナリ
轉兑憑約ハ買物ノ数分ヲ轉賣スルナリ
越行找洗ハ轉賣ニタルトキ初ノ賣主ヨリ追増
金ヲ徴スルナリ
甘願賣堆ハ墓地ヲ賣ルナリ
給風水山批ハ墓地ヲ給出スルナリ
合約ハ契約證ナリ

魚鱗冊 又柳條冊又黄冊又ハ登冊ハ土地臺帳ナリ

丈單 土地ノ丈量ヲナシテ與フル証ナリ

執照 廣ク證書ナリ狹ク官ヨリ土地權利ヲ証スルナリ又印照ト云フ

税契 土地ヲ買ヒ納税シ契尾ヲ下付セラルルナリ

［又司單（登記券）］

過割 土地管轄ノ名義書換ナリ

大租小租 又田骨田皮又田面田根又大苗小苗又地骨地皮トモ云フ Obereigenthum Untereigenthum ト譯ス

墾首佃戸ノヨリ変ジ来ル佃戸ノガ地主トナリテ現耕佃人ヲ小作人トス コレヨリ大租ニノハ租穀ヲ受クルノミ

埤圳 埤ハ陂ノ訛トモ云フ灌漑設備ナリ圳ハ溝洫ナリ 埤圳ノ租ヲ水租ト云フ

股夥 又夥記ハ株主ナリ

○

銅鐳 小銅銭貨

鈸仔 小銀貨

差役 賦役義務、又執達吏

水声 銀相場

補水 上納ノ貨ヨリ大ニ鑄代フル損失ヲ見積リテ取ル銭

平餘 民間ノ秤ハ小ナルタメニ取ル増銭

捐題　義捐金

欵　勘定

定銀又言定銀　手付金

揺會　タノモシ

舗　一万八千尺

度　三十八万尺

碑　十石

擔　百斤

筦　斗ノ千分一

印契　登記濟証

10 〈加製

戳記　官給ノ印鑑

包辦　請負

一力担当　一手引受

撥出　払出

弔契　下ヨリ証ヲ出サシム

拈定　鬮ニテ定ム

扣抵　差引

配搭　配当

簽又口説　相談

10（加製